

山梨縣選出
出版業

平野力三

杉並區阿佐ヶ谷一ノ八六
八 電萩窪三四一



略歴 明治三十二年十一月岐阜縣郡山田村ニ生ル、東洋協會植民専門學校、早稻田大學專門部政治經濟科卒業○日本農民組合關東同盟宣傳部長、日本農民組合會長、産業組合時報社理事長、協同聯合通信社理事長、翼政會政調農林、商工兼務委員○當選三回(1920-21)

政見 代議士は國民と共に國民の意志を代表し常に國民の心の中に在りて眞に國事に挺身すべきものであります。己の心にもなき一時的方便に依り節操を曲げ名利と榮達のみを没頭し自己の良心と節操を曲ぐるのでは代議士の資格はありません、特に戦時上に於ける代議士の任務は極めて重大であります。不動の國策に對しては政府を極力鞭撻支持し寸毫も國家の大目的を誤らしめてはならぬと共に常に下意を上通し以て政府と國民との疎隔をなからしめ眞に一億一心、舉國一致の體制に間隙を生ぜしめざるため、其楔となるのが代議士の任務であると思ひます。故にたゞ時局に便乗して權力のみに追従し己の眞實を述べ得ざるが如き者は寧ろ唾棄すべきであります。私は過去六年間の代議士生活を顧みて眞に純潔なる愛國の赤誠を以て職責を果し來た事に對し自信を有するのであります。今後もこの私の代議士觀の信念に邁進したいと思ひます。

滋賀縣選出
銀行頭取

廣野規矩太郎

小石川區大塚仲町四一ノ
二四 彦根市江戸町二三 電彦
根一〇七



略歴 明治十八年滋賀縣ニ生ル、京都帝國大學法學部政治科卒業○横濱正金銀行入社、後百卅三銀行、近江貯蓄銀行各專務取締役、近江信託株式會社取締役、滋賀銀行、滋賀貯蓄銀行各頭取、全國地方銀行協會常任理事、大津商工會議所、彦根商工會議所各顧問、大政翼賛會滋賀縣支部顧問、翼政會政調通信、大藏兼務委員ニ任命サル○當選一回(21)

政見 元來政治と經濟とは、密接な關係にあり、政治を離れて經濟はなく、經濟を離れて政治はないのである、殊に現下の非常時に於て、昨の自由主義經濟は、到底容れらるゝところではなく、統制經濟から更に計畫經濟へと進展した今日、政治と經濟は一層緊密な關係に置かれるに到つたのである。即ち大東亞戰爭の赫々たる戦果により、着々として大東亞共榮圈建設の目的は完遂されつゝあり、新たに得たる南方資源の開發は、邪心なき政治と鞏固なる經濟力によらなければ、大なる成果は望むべくもないのである。更に長期に亘る戦時體制の維持は強大なる經濟力を持たねばならぬ。戰爭に勝つても經濟に敗れたのでは、國は立たぬ、前戦將士の勝利の報に呼應して銃後の戦士は國家經濟力の強化を圖ること、破滅を救ふ唯一の途である。光榮ある議員として議會を通して政府と協力、大東亞戰爭の目的完遂のため、粉骨碎身以て大政翼賛し奉るの決心を、此處に固くお誓ひ申し上げます。

翼賛議員銘鑑（ふノ部）

北海道第四區選出
農業

深澤吉平

北海道空知郡音江村字今
園一七
本郷區駒込千駄木町六二
大野屋旅館 電駒込一〇
三〇



略歴 明治十八年八月山梨縣中巨摩郡西南湖村ニ生ル〇明治
三十六年父龍平ニ從ヒ北海道空知郡音江村ニ移住農業ニ従事、
其ノ間音江村長、北村長、北海道廳囑託ニテ農事研究ノタメ丁
抹ヲ初メ歐米各國ヲ視察ス、北海道會議員ニ引續キ三回當選、
同參事會員、北海道拓殖計畫委員、北聯理事、酪聯理事、酪農
理事等ニ就任ス、音江村農會長、音江産業組長、北聯相談役
北海道興農會社取締役、翼政會政調農林、内閣兼務委員ニ指命
サル〇當選三回（192021）

政見 高度國防國家完成は國內の人口と職能の配分が合理的
に行はねばなりません。農業、商工業、礦業、交通其の他萬般
の職能が、その従業者が個性の特性を十分發揮して行く所に本
當の國の偉力が發揚されるのであります。百般の仕事に分れて
居りましても集むれば一體となる一有機體としての働きをなす
やうに仕組み、又商工業部面整理統合より來る轉業は本人の能
力に應じ不安なく御國のための應召と心得、希望の下に悦び勇
み行く様に各職能を配分し一人の不勞者もなく國民皆勞奉公申上げることに致さねばなりません。
要するに國民生活を合理的に再編成して戦力を擴充強化するには、議會に於てこれらの革新を推進
する國民政治力を結集しなければ駄目です。

三四〇

静岡縣第一區選出
從五位勳三等 著述業

深澤豊太郎

神田區錦町一ノ二四
電神田三四〇一



略歴 明治二十八年五月静岡縣清水市ニ生ル、明治大學ニ學
ヒ後獨逸ベルリン大學ニ學フ〇栃木縣會書記長、衆議員囑託、
農林大臣秘書官ニ被任、東京市會議員、明治大學評議員、順天
中學校理事、海外拓殖委員會委員被仰付、滿洲國ヲ視察ス、又
第三十二回列國議會同盟會議ニ參列歐米各國ヲ視察ス鐵道省委
員被仰付翼政會政調大東亞、商工兼務委員ニ指命サル〇當選五
回（1718192021）

政見 有史以來今日程舉國一體の必要なる秋はない。戦争に
は天の時も地の利も人の和に如くものはない。過去の戦争に於
ても、征韓論に反對して西郷隆盛を討つた人々も日清戦争には
悉く征韓論者でも日露戦争には悉く一致して戦ひ抜いた。政府
者も國民も一人として其過去を責めた者はない。今回も亦然り
日獨伊樞軸に躊躇せる人々も、日米交渉の妥結を希望する人々
も、將に、承諾必謹の誠を至すべき秋である。否、既に悉く宣戰の詔勅に歸一して最後の勝利を期し
て戦つてゐるのであります。敵前には寸刻の弛緩も許されぬ。若し斯くの如き虞れある時は、私は
其の解決に渾身の努力をいたすつもりであります。戦勝第一、銃後も亦皇軍の一員である。勝つて勝
ち抜く迄戦ひ續けて 皇祖皇宗ノ神靈上ニ在リ朕ハ汝有衆ノ忠誠勇武ニ信倚シ、と仰せられたる御詔
書に應へ奉らうではありませんか。

翼賛議員銘鑑（ふノ部）

三四一

翼賛議員銘鑑(ふノ部)

三四二

熊本縣第二區選出
農業

深水吉毅

熊本縣葦北郡水俣町大字
陳内一二三七
芝區琴平町三八村上旅館
電話一六六



し得られるものではない。廣大なる地域に互り歴史、宗教、文化等の異なる民族をその各々所を得せしめ生活に安んぜしめねばならぬ、彼等民族を指導錬成して資源を開発し之れを公平に分配して恩澤に浴せしめ日本が眞に東亞の盟主たるの實を擧げて、斷じて米英の轍を踏み自ら優越的態度に出で搾取的陋策をとることなく、飽迄肇國の大理念を實踐すべきである。

略歴 明治二十一年二月熊本縣葦北郡水俣町ニ生ル、明治大學卒業○熊本縣會議員、同縣會議長ニ選ハル、大政翼賛會熊本縣組織部長ヲ翼政會政調大東亞、内務兼務委員ニ指命サル○當選一回(21)

政見 一面戦争一面建設 大東亞戰は軍事的には第一期作戰を完勝し第二期作戰に突進しつゝあると確信するものである、更に此の作戰と併行して政治的經濟的乃至文化的建設と言ふ即ち一面戦争一面建設と言ふ新しい段階に入つた譯である、米英は戰鬪においてはもとより皇軍の敵ではあり得ないが經濟力と軍事生産力にも言はせて長期戰を計畫し、宣傳欺瞞に狡智に長けて居るから思想戰をもつて彼等民族の粘着執拗の特色を發揮して最後まで喰ひ下つて來ること覺悟せねばならぬので時局の前途は遼遠であると言はねばならぬ。

奈良縣選出
正五位勳四等會社社長
福井甚三
下谷區上根岸八二 電根
岸二三八〇
奈良市角振町



略歴 明治七年十二月奈良縣生駒郡富鄉村ニ生ル○生駒土地株式會社社長、城南土地、日本家禽土地、大阪商品市場、有明炭礦、炭礦商船、北鮮產業各株式會社重役、奈良縣農會長、同出荷聯盟會長、小作調停委員、大和日報社長、帝國農會特別委員、土木會議々員、國家總動員審議會委員被仰付、第二十八回列國議會同盟會議ニ日本議員團長トシテ參列ス翼政會政調内務鐵道兼務委員ニ指命サル○當選七回(14 15 16 18 19 20 21)

政見 今や議會の眞使命は清新なる新勢力が既成自由主義勢力と交替し、時艱克服に必要缺くべからざる、國民の生々たる活力と士氣とを昂揚興起せしむることにある。

要するに、國民生活を合理的に再編成して戰力を擴充強化することであつてそれが爲には帝國議會に於てこれらの國策の革新を推進する國民政治力を結集すべきである。こゝに始めて具現化するものなるが故に、政府を鞭撻し國を擧げて國策の實行に協力聊かたりとも親和を缺くが如き言論行動を戒肅し一つの搖ぎもせず大東亞戰爭を戦ひ抜き勝ち抜く爲めに凡ゆる渾身の努力を致し天業翼賛の責を果す決意を有するものであります。

翼賛議員銘鑑（ふノ部）

茨城縣第二區選出
從七位

福田重清

日立市宮田三四五三
電日立鑛山局一二二
下谷區上野町二ノ二〇飯
島旅館 電下谷九一五



三四四

略歴 明治二十二年四月茨城縣ニ生ル、中央大學法科卒業○
陸軍主計少尉ニ被任、日立市長、日本鑛業日立鑛山參事課長、
同副所長、同所長タリ、司法省委員被仰付、翼政會政調商工、
内閣兼務委員ニ指命サル○當選一回（21）

政見 大東亞戰爭開始以來の第一期即ち敵の重要軍事據點が
覆滅される迄は政治、經濟、文化の一切は擧げて武力戰遂行の
ために動員されたのでありますが、今や戰爭即ち建設といふ大
東亞戰の本質からしても、政治、經濟、文化は單に武力戰に協
力するのみでなく、夫々の自主性に於て建設戰に動員されなけ
ればならないのであります、其處に前線銃後一體の總力戰が約
束されるのであります。

今や過去の日本人が想像だにもし得なかつた程凡ての規模は
大きくまりました、即ち之等の諸問題は、大東亞共榮圈十億民族
を對象として而も其の指導的立場に於て實踐垂範の體制に整備
を對象に於ても國內諸體制の刷新は必要であり、緊急でありま
されなくてはならぬのであります、この意味に於ても國內諸體制の刷新は必要であり、緊急でありま
す、殊に痛感させらるることは行政機構の改廢官界の新體制であります、此の點政府に一大勇斷を要
望すると共に整理統合は官民跋行的現象を呈してはならぬのであります。

東京府第一區選出
新聞社長

福家俊一

澁谷區代々木山谷二〇〇
電四谷四五五



化、どんな戰爭にも耐へつらぬき、最後の勝利を得べき強力な政治を建設すること以外にないのであ
ります。皇軍の神武、それはもう申し上げる言葉もありません、私共は唯、皇天の加護に感謝する
のみであります、その感謝をして單なる感激に終らしめては、まことに神罰を恐れざるものと云はね
ばなりません。私はこの感恩の誠心を、今日から日本の新しい政治、前線の赫々たる戦果に應へ得る
やうな眞の強力政治建設のために致さねばならぬと考へるものであります。

翼賛議員銘鑑（ふノ部）

三四五

略歴 明治四十五年三月香川縣高松市ニ生ル、○滿洲事變勃
發ト共ニ渡滿、後滿洲國政府ノ樹立記念事業トシテ「新民」ヲ
發刊東光書苑ヲ創設上海ニ「大陸新報社」ヲ創設各社長トナル
南京及武漢ニモ大陸新報ヲ發刊、中華字紙「新申報」ヲ併合、
「大陸畫刊」ヲ發刊ス、佛印、泰國等ヲ再度視察、内閣情報局
委員被仰付、翼政會政調内閣委員、事務局參與○當選一回（21）

政見 忠勇なる前線の將士が、常に笑つて君國に殉ずる所以
は、その聖恩に應へまつる赤誠にある、しかも同時にその人々
がその故國に残した同胞を信じ得るからで、口に出して云ふと
云はざるとにかゝはらず、その人々は「前線は吾々が護る、内
地は君達に頼んだぞ」と遺言してゐるのであります。私共がこ
の無限の信頼に應へる途は、もとより數多いであります。然
し、その一番根本的なものは何かと云へば、結局、政治の強

翼賛議員銘鑑（ふノ部）

長野縣第一區選出
正八位會社重役

藤井 伊右衛門

長野市大字長野西之門町
九四一 電長野二一六〇
神田區三崎町一ノ八森田
館電神田三七四〇



思想國防の強化を強調す、

三四六

略歴 明治二十二年二月長野市に生ル、大阪高等工業學校醸造科卒業○陸軍少尉ニ被任、曩ニ長野市長ニ擧ケラル、長野縣方面、同方面事業會各委員、中央社會事業協議會評議員、帝國在郷軍人會長野市聯合分會顧問、長野縣聯合保護會理事、同保護委員會副會長、大政翼賛會長野支部常務委員、長野縣酒類販賣會社常務取締役、北信酒造組合長○藍綬褒章ヲ下賜セララル政會政調大藏、厚生兼務委員タリ○當選一回（21）

政見 聖戰完遂の爲緊要なる施策は枚舉に遑あらざるも左の心構へを以つて任務の遂行に當らむとす、

一、純一無雜只管奉公の一念を以て行動す、

一、我國體の本義に基き眞に翼賛議會たるの機能發揮に協力し以て國家の要請と國民の期待とに應へむとす、

一、「物を治むるの政策」法律萬能に偏するの弊を矯め「心を治むるの施策」に一段の意を注ぎ高度國防國家建設の根源たる

佐賀縣第二區選出
正五位勳三等武道教師

藤生 安太郎

目黒區清水町三三七
電荏原三七八〇



略歴 明治二十八年八月唐津市ニ生ル、東京外語學校卒業○一年志願兵トシテ入營陸軍歩兵伍長ニ任セララル、新潟縣立村上中學校、陸軍士官學校、東京高等學校、拓殖大學ノ各教師囑託此ノ間北白川宮永久王、竹田宮恒徳王、朝香宮鳩彦王、李王各殿下ノ柔道師範ヲ拜命ス、曩ニ衆議院議院議長秘書トナル遞信省委員被仰付翼政會政調遞信、厚生兼務委員ニ指命サル○當選四回（18 19 20 21）

政見 議會は、聖旨に應へ奉り至誠を以て補翼し獻替し奉り

そこに國民の臣道實踐の強力な組織的推進力を結集しこれに基いて政治が論理的に武道的に公明に行はれる時眞實にして明朗なる政治が確立され高度國防國家建設のための諸施策が實現し得る、議會の眞使命は時艱克服に必要缺くべからざる國民の生

と士氣とは年來唱道せる政治の武道性發揚に俟たねばならぬ今日の日本の敵は米英であるがすでに大東亞共榮圈の確立は半ば出来上つてゐるのであるがまだあくまで戰勝第一主義の政策を強行して行かねばならぬ即ち國民生活を合理的に再編成して戦力を擴充強化するためには議會においてこれ等の革新を推進する國民政治力を結集すべきである、軍官民の三位一體となり強固に協力することに依つて戰勝第一主義の體制を確立し米英を最後まで打倒しなければならぬのである。

翼賛議員銘鑑（ふノ部）

三四七

翼賛議員銘鑑（ふノ部）

香川縣第一區選出
從六位著述業

藤本 捨助

芝區三田豊岡町五〇
電三田二六二〇
高松市昭和町

略歴 明治二十七年十二月香川縣引田町大川郡ニ生ル、東京高等師範學校、東北帝國大學卒業○文部省在外研究員トシテ獨英、米ニ留學ス、小學校訓導、東京高等師範學校助教授、高松高等商業學校教授、大阪商科大學講師ヲ歴任ス、大政翼賛會東部調査會委員、中央協力會議員、香川縣協力會議長、文部省委員被仰付、翼政會政調理事ニ指命サル○當選二回（20 21）

政見 大東亞戰爭完遂のため要請される高度國防國家の體制の確立には次の如き政策が必要である一、國體觀念に透徹して尊皇の臣節を奉公せねばならぬ、米英の個人、自由主義を拂拭し光輝ある日本精神を顯現せねばならぬ二、高度國防國家の建設は高度國防經濟を基礎として可能となる、資本勞力、技術を合目的に動員せねばならぬ三、大東亞共榮圈内における交通輸送政策の確立は亞細亞十億民衆共存共榮のため強く要請される四、大東亞民族政策は日本が盟主となつて八紘爲宇の大理想に基づき確立されねばならぬ五、日本を根幹として内外地を一貫する食糧の自給自足體制を確立するとは國家防衛と國民生活安定上絶対に必要である、六、中小の商工業者の整理は生産力擴充上止むを得ないが犠牲者の厚生には遺算なきを期せねばならぬ七、國家の興亡盛衰は結局人にあるから教育制度を根本的に刷新し育英に努めねばならぬ。



秋田縣第一區選出

二 田 是 儀

秋田市中谷地町四二
電秋田二九三一
目黒區平町二一工藤慎吉
方 電荏原七三八五



略歴

明治二十八年七月秋田縣ニ生ル、東京帝國大學文學部印度哲學科卒業○天王村長、南秋田郡農會長ニ擧ケラル、秋田縣會議員ニ選ハル、秋田醫療組合長タリ農林省委員被仰付、翼政會政調農林、内務兼務委員ニ指命サル○當選一回（21）

政見

國內の強力なる政治體制の確立が必要である、このことは先に翼賛議會の確立により形成され、今回の各委員制によりその具現方法が出来たと云つてよからう、由來我國には官尊民卑の風習があつた、議會人も内に不満を抱き表面強がり云ひ乍らも多年の風習により或ひは功利的考へから官界に迎合せる傾があつた、今の時局こそ官民心から融合して國家目的達成に歸一すべき絶好の機會である、即ち委員制を活用して國民の良き意味の實感を卒直に政治に反映せしめ又國策を國民に徹底せしむべきである、最後に自分は二十數年來耕地増成、並に改良等農業の實際問題に關係して來たつもりである由て食糧の増産に全福の努力を致し度いと考へてゐる。

翼賛議員銘鑑（ふノ部）

翼賛議員銘鑑（ふノ部）

三五〇

栃木縣第一區選出
正五位勳三等

船田 中

赤坂區青山南町五ノ三三
電青山一六九九



略歴 明治二十八年四月宇都宮市ニ生ル、東京帝國大學法科
大學卒業○内務屬、福島愛知各縣理事官、拓殖事務局事務官、
内閣書記官ヲ歴任、東京市助役、東京市長代理、財團法人下野
中學校ヲ創立シ終身理事、内閣總理大臣祕書官外務參與官、法
制局長官ニ被任、審議會、委員會等多數委員被仰付、第二十八
回列國議會同盟會議ニ參列歐米各國ヲ視察ス東京商工會議所理
事長タリ「地方財政研究」「選舉法令通解」ノ著書アリ厚生省
委員被仰付、翼政會政調内閣委員長、行政事務簡素化特別委員
ニ指命サル○當選五回（17 18 19 20 21）

政見 大東亞戰爭は一面米英蔣の抗戦力を撃滅すると共に大
東亞共榮圈を確立する建設工作であり、従つて日本の總戦力を
増強することが第一義であつて、その方向に向つて國內體制を
整備せねばならぬ、先づその基礎は經濟力である、經濟に付て
は永らく米英流の自由主義的經濟が行はれて來たが、現在は自給自足を原則とする國防國家體制を高
度化し、勤勞尊重、統制主義の經濟に移行した、而して金より物、物より人、即ち最も人が大切とな
つて來ました、今や皇軍の勇戦奮闘により益々戦果は舉り、廣大なる地域と豊富な資源を日本が支配
し、然も戰爭が長期化し、愈々大規模になるとすれば、何といつても國內がしつかりして居らねばな
らぬ、政治・經濟・文化あらゆる方面に於て眞に一億一心火の玉となつて總進軍することが肝要です。

岐阜縣第一區選出
會社重役

船渡 佐輔

岐阜市千手堂四ノ一五
麴町區丸ノ内鐵道ホテル
電丸ノ内二三二一



略歴 明治二十一年七日岐阜縣ニ生ル、早稻田大學商科卒業
○洞戸村長、同郵便局長、吉田倉庫銀行洞戸支店長、同監査役
岐阜縣會議員、第一合同運輸、岐阜機械工業、岐阜百貨ガイド
岐阜交通、昭和商事、船渡米各會社社長、兩福無盡取締役、
岐阜縣水産會長、同縣貨物自動車運送事業組合理事長、同信用
組合理事、翼政會政調鐵道、商工兼務委員ニ指命サル○當選一
回（21）

政見 國民生活の安定は銃後政策の重要な部門にして、限
度ある物質を以て空前の大戦に發展せる爲め、物質の不足は餘
議なしとするも國民は最底の生活に甘じ、又國家はその許さる
る限度に於て之れが確保をなすの策を樹て、安定を期する事は
緊要なれども、南洋に於ける戦果に基き獲得したる無限の寶庫
を如何に開發するか、内地産業との調整を失はざる根本的政策
の確立こそ最も必要である、従つて中小商工業對策、轉失業者
對策等に付いては、權威ある民間有識者の體驗を參酌して、眞に民意の存する所を上達し、軍、官、
民、三位一體となり、些の間隙も摩擦も惹起せしめざる體制下に、國策の圓滑なる樹立と進行とを期
待してやまないものである。

翼賛議員銘鑑（ふノ部）

三五二

兵庫縣第四區選出
計理士

古河和一郎

豊島區西巢鴨三丁目七
三九北原松太郎方
姫路市五軒町四〇ノ一
電姫路六三九



略歴 明治二十年六月兵庫縣ニ生ル○計理士ノ業務ニ従事ス
計理士會理事、大阪府計理士會長、日本連管工業會社理事長、
翼政會政調遞信、商工兼務委員ニ指命サル○當選一回（21）

政見 私らは時局の重大なるに鑑みて國體を愈々明徴ならしめ、高度國防國家建設のために、その職域において、敬神、尊皇、愛國の御奉公に只管邁進し、總て世界史を創造する民族的大偉業を達成せしめることに、最大の犠牲と努力を惜しんではなりません。而も政治に於ては下から盛り上る力を形成し、軍官民たゞ一途時艱を克服すべく國民的活力を増大して之れを基底とし、戦争完遂に必要な施策に全能力を振り向けることが第一であります。然るに今日まで經濟、産業、文化などの再組織が強く要請されてゐるにも不拘らず容易に遂行し得ざりし所以のものは、實に國民政治力の結集に缺けてゐたからであると思ひます。不磨の大典たる帝國憲法に據りて國民政治力の結集すべき所は言ふまでもなく帝國議會であります。而かも自由主義的な、議會主義的思想に、歪曲せられてゐたのではないでせうか、私等は眞に國體明徴に由る學國戰時議會の性格を表現し、時局の急激なる變轉に處する戰時議會の確立に一大努力を拂はねばなりません。

廣島縣第一區選出
信用組合監事

古田喜三太

廣島市南三條町
電西二二
深川區冬木町三〇一吉川
方電深川二五八〇



略歴 明治二十一年二月廣島市ニ生ル、廣島縣會議長ニ當選スルコト四回、縣參事會會員ニ選ハル、同市會議員ニ當選ス、祇園高等女學校理事長、廣島縣海外協會理事、同移住組合理事、廣島特殊木工工業組合理事長、三篠信用組合常任監事、滿洲ヲ視察、北支皇軍ヲ慰問ス商工省委員被仰付、翼政會政調商工、大東亞兼務委員ニ指命サル○當選三回（1920 21）

政見 議會の眞使命 今日は何れも民族政治時代や往年の政黨政治と異り、凡ての政治は全國民の翼賛奉公を必要とする、國民翼賛の論理なき政治指導は良心と信念を缺いて形式に流れ、國民の活力を基礎とせざる政治指導は、何等迫力なく空虚なるものに過ぎぬ、世界に冠たる我が日本においては、長くも天皇は國家生命創造の中心原動力に在りますことは謂ふまでもない、會議は聖旨に應へ奉り、至誠をもつて補翼し献賛し奉りそこに全國民の臣道實踐の強力なる組織的推進力を結集しこれに依つても國民生活は明朗化し従つて高度國防國家の建設のための諸施設も順調に實現出来るのである、議會の眞使命は清新なる勢力が、舊態勢たる自由主義勢力と交替し、時艱克服に必要な全國民の生々たる活力と志氣とを昂揚振起せしめることにあると信ずる。

翼賛議員銘鑑(ふノ部)

岐阜縣第三區選出
從四位勳二等

古屋 慶 隆

赤坂區青山南町六ノ一〇
八 電青山三七八〇



三五四

略歴 明治十二年十二月岐阜縣惠那郡大井町ニ生ル、京都同志社及明治大學卒業○鐵道參與官内務政務次官ニ任セラル、衆議院議員選舉法改正調査會、失業防止委員會、保險衛生調査會、勞働保險調査會、資源審議會、國家總動員審議會等各委員被仰付、翼政會評議員、内務商工兼務委員ニ指命サル○當選十回(12 13 14 15 16 17 18 19 20 21)

政見 われらは不磨の大典たるわが帝國憲法に據り、國民政治力の結集すべき場所は、帝國議會であることを信ずる。今日に於ては、議會はいまだに形式的なる、自由主義的なる議會主義思想に歪曲せられ、眞に國體明徴に由るところの翼賛議會としての性格に徹底したりとはいへぬのである。由來我等は世局の急激變轉に鑑み、大政翼賛運動の一翼としての翼賛議會の確立に向つて微力を盡して來たのであるが、今こそ既成自由主義を徹底的に擊滅せしめて、高度國防國家體制下に於ける眞に搖ぎなき翼賛議會を確立し、國策の遂行に對して相呼應し、相協力して、政府との堅き楔たらんがために挺身するものである。

滋賀縣選出
醬油醸造業

別所 喜 一 郎

滋賀縣甲賀郡水口町大字
水口三三六一 電水口一
麴町區内幸町中央ホテル
銀座一三四三



略歴 明治二十三年三月滋賀縣水口町ニ生ル、八幡商業學校卒業○水口町長、滋賀縣會議長、滋賀縣町村長會長、大政翼賛會同縣支部常務委員、翼賛壯年團同縣支部顧問、大日本青少年團同縣支部副團長、内務省委員被仰付、翼政會政調大藏、内務兼務委員ニ指命サル○當選一回(21)

政見 私は政黨華やかなりし當時より心秘かに英國流の憲政常道論は、我國體の本義に照らして疑義を持ち、政權爭奪行懸りと感情に捉はれたる徒らなる黨爭、自由主義個人主義思想に基く階級闘争や職業的對立抗争を國家の深憂なりと信じて之を排撃し、億兆一心の我國體の精華を發揮する所の議會政治の實現を翹望し來つたのであります。

「政治新體制とは譬へて云へば、お祭に氏子の若人等が神輿を昇ぐやうなもので、皆が氣を合せ足並を揃へて之を昇げば重い神輿も軽く肅々と渡御するが、足並が亂れ氣合が揃はぬと擔ひきれなくなつて遂には之を墜落し破壊するに至る。國家の難局を政府と議會が相協力して擔ふことが政治新體制である」と安藤紀三郎閣下は喝破せられてゐるが、これこそ私が多年念願して居つた政治體制であり、私の政治行動の基調を爲す理念であります。

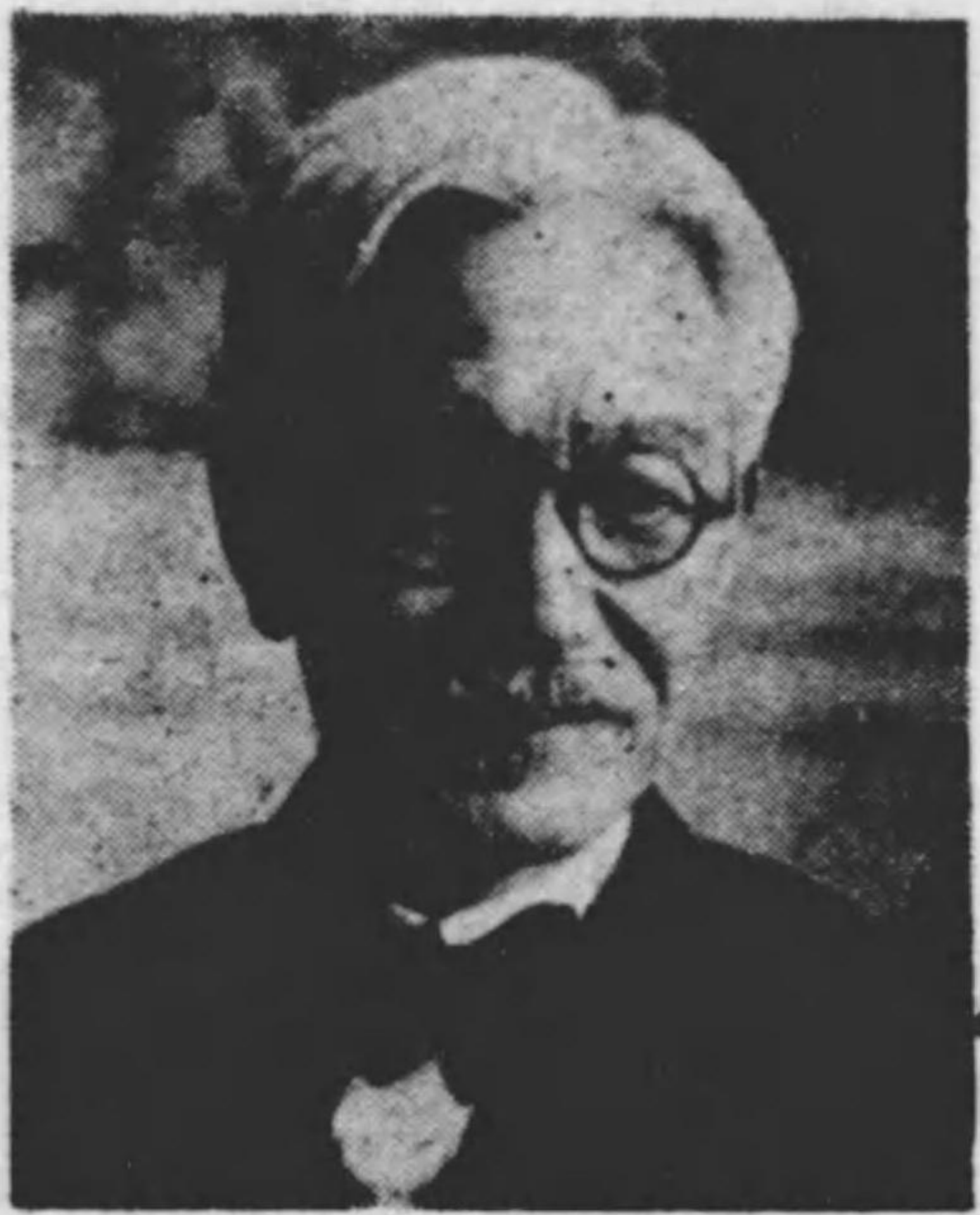
翼賛議員銘鑑(ハノ部)

三五五

福島縣第三區選出
製藥業

星

本郷區駒込曙町三
電大塚一〇〇四



て戦争目的の貫徹に邁進して居りますことは私の最も大なる喜びとなす處であります。我國の歴史に於いても、現在の如き劃期的な變動は、大化改新、明治維新にのみ比較される所のものであります。大化改新、明治維新は、共に肇國精神の再現期でありました。今の時局も正しく肇國精神の再現期であります。戦に勝ち、建設に勝ち、そして世界一の國家として世界を指導すべき雄渾無比なる民族的使命を自覺し益々協力の實を挙げたいと念じてをります。

略歴 明治六年十二月福島縣石城郡錦村ニ生ル、東京商業學

校卒業後北米「コロンビア」大學ニ入りマスター・オブ・アーツノ學位ヲ受ク、英文「日本商工便覽」「官吏學」「選舉大學」ノ著アリ○北米紐育市ニ於テ日米周報及雜誌「ジャパン・エンド・アメリカ」ヲ發刊ス、巴里開催ノ萬國新聞記者大會ニ參列ス、小名木川製藥所ヲ創立シ製藥ニ従事ス、星製藥會社、戰友共濟生命保險、低溫工業各株式會社社長、又星製藥商業學校校長、翼政會政調内閣、厚生兼務委員ニ任命○當選三回（10 20 21）

政見 日本をして世界一の國家たらしめ、その地位を永久に確保出来るやうに念願し、議會に於て私は、戰時内閣、戰時議會の必要なる所以を力説し、官吏は率先緊張して範を民間に垂れ、上下協力、以て國運の一大發展期に善處すべきであることを主張して來ました。今や大東亞戦争で一億一心の實を挙げ

岡山縣第二區選出
正五位勳三等辯護士

星

島

二郎

小石川區若荷谷五五
電大塚六〇一〇



略歴 明治二十五年十一月岡山縣兒島郡藤戸町ニ生ル、東京

帝國大學政治學科ヲ卒業○鐵道參與官、司法政務次官ニ被任岡山縣蘭草同業組合長、同學生服工業組合長、同織物染色工業組合理事長、兒島海員養成所後援會理事長、全國中學制服商業組合聯合會、全日本洋服商業組合聯合會理事長、鐵道青年會理事商業組合中央會理事、第三十一回列國議會同盟會議ニ日本議員團長トシテ出席歐米ヲ視察ス翼政會政調鐵道、商工兼務委員ニ任命サル○當選八回（14 15 16 17 18 19 20 21）

政見 一、大東亞共榮圈に肇國の大精神を根幹とする道義的新秩序を確立すること一、現内閣を支持し國民も議會も政府も一丸となつて聖戰完遂に邁進すること一、經濟は戦争完遂第一主義で進み生産力の増加を目標に進むべきこと一、占領地域指導に當るべき人物を鍊成する東亞指導鍊成機關を設置すること一、選舉法の改正を行ひ、それによつて生れ出づる氣魄ある政治家で議會を一新したい一、中小商業者の中で轉廢業者に南方進出の優先權を與へること一、遺家族優遇の方法を改善し人口問題、肺結核撲滅、公娼の廢止、婦人服改善等東亞指導者としての教育文化厚生の諸行政に大進展を期すること。

翼賛議員銘鑑(ほノ部)

三五八

北海道第四區選出
農業

星野靖之助
大森區北千束町四八八
電三八三六



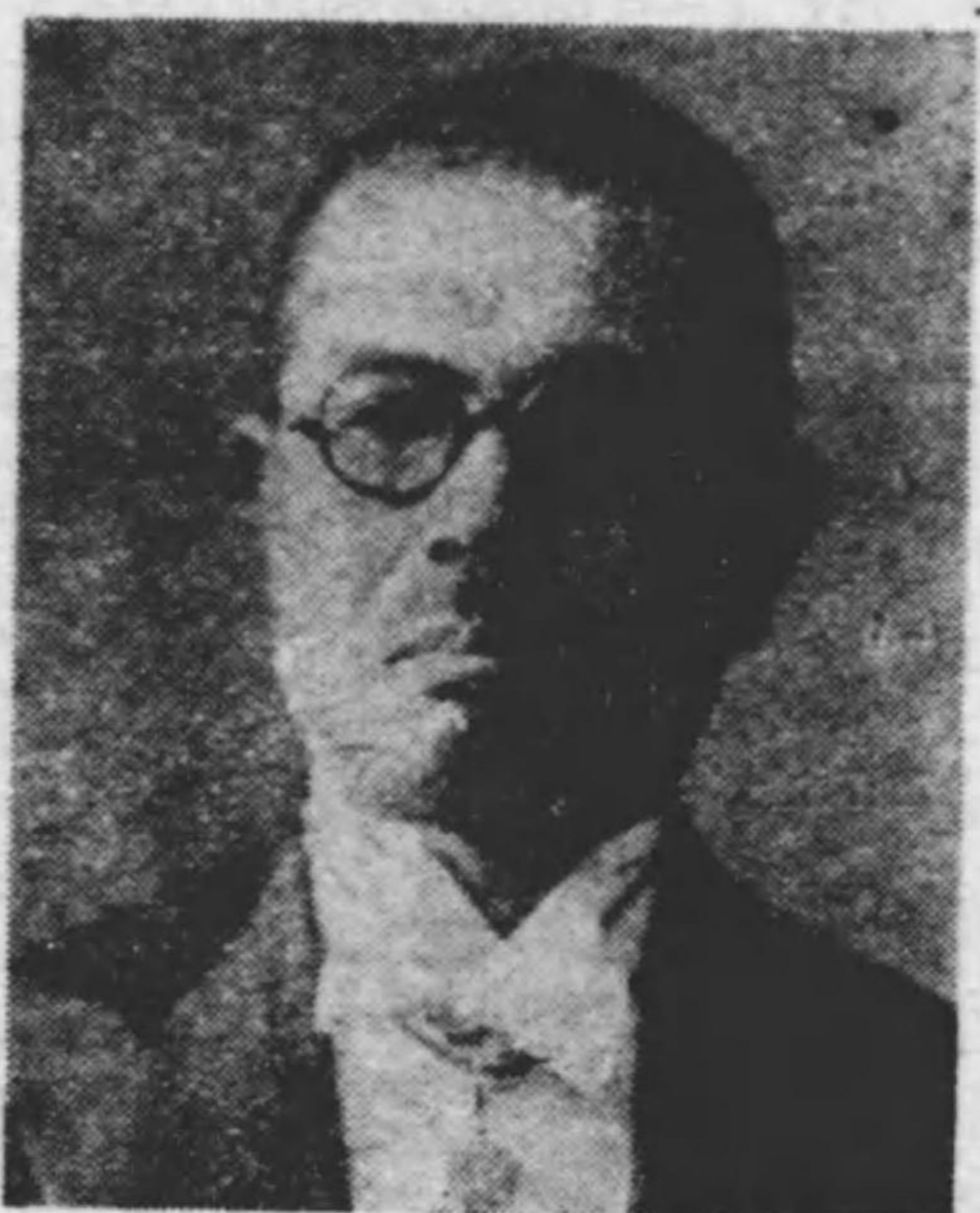
- イ 傷痍軍人並に戦歿將士遺族の生活の徹底的擁護
- ロ 産業全分野の思想的團結(日本精神の昂揚、共產主義絶滅)
- ハ 鑛、工、農の生産各部門の綜合的協力體制の確立(三者は唇齒輔車の關係にあり)
- ニ 我が北方産業地帯の擁護(民族擁護に重大な關係あり)
- ホ 國內經濟の編成替による犠牲者の徹底的救済(中小商工業者整理統合による救済)

略歴 明治三十二年一月大分縣ニ生ル、慶應義塾大學經濟學部卒業○三井鑛山株式會社ニ入社、三井合名會社ニ移勤ヲ命ゼラレ社會情勢ノ研究ニ當ル、退社後皇道産業擁護運動ノ實踐ニ乘リ出ス、内務省警保局、司法省刑事局長囑託、大政翼賛會本部政策局内政調査主任囑託、東方社常任幹事内閣情報局委員被仰付、翼政會政調商工委員ニ指命サル○當選一回(21)

政見 私は過去十五年間三井の一會社員として社會情勢の研究をやつて、最近十ヶ年間の目まぐるしい日本の社會情勢を見て、どうしても社會の各層は私益優先の自由主義的觀念を棄てて、天皇中心の國防國家を完全に打ち樹てなければ世界を指導することは出来ぬと常々思つて居たのであります。そうして國防國家とは軍備と産業と教育との三者が、確つかり手を組んで行くことにあるのです。政見の一端を示せば次の通りです。

山梨縣選出
正六位勳四等

堀内 一雄
澁谷區代々木山谷町三〇
八 電四谷一五〇六



略歴 明治二十六年九月山梨縣東八代郡黒駒村ニ生ル、陸軍大學卒業後歐米ニ留學ス○陸軍少佐ニ進ム、此ノ間甲府歩兵第四十九聯隊中隊長參謀本部付、關東軍司令部付第九師團參謀の要職ヲ歴任シ滿洲國軍ニ入り第一軍管參謀長、陸軍少將ニ任ゼラル、滿洲國總務廳弘報處長、安東省次長、兼大東港建設總處長、滿洲國協和會中央部委員、同參與、同安東省本部長、在滿十餘年勳功ニヨリ滿洲國ヨリ勳二位ニ叙シ柱國章ヲ授與セララル更ニ勳二位景雲章ヲ授與サル内閣情報局委員被仰付、翼政會政調陸軍、農林兼務委員○當選一回(21)

政見 近時戦争の特徴として戦争は第一線の將兵ばかりではなく銃後も一體とならねばならぬ、そのために戦争の延期化と共に國內諸政策を慎重に研究せねばなりません、先づ一番大切なことは國內の決戦體制を一日も早く充實することであると信ずる。即ち 大詔に仰せられてあります汝衆庶は億兆一心國家の總力を擧げて征戰の目的達成に努めねばならぬのであります、次には責任政治を確立して政治家の責任感を強化しなければなりません、政治家が無責任な言論を叶いて今は平然としてゐる者の如何に多きことか、さきの米英親善論者が今日何を考へてゐるか?

翼賛議員銘鑑(ほノ部)

三五九

翼賛議員銘鑑(ほノ部)

東京府第四區選出
著述業

本 多 市 郎

深川區森下町二ノ一八ノ
二 電本所二八八一



三六〇

略歴 明治二十八年長崎縣ニ生ル、中央大學法科卒業○直チニ復興局ノ官吏トナル、東京市會議員、同參事會員、同府會議員ニ選ハル、歐米各國ヲ視察ス、滿支大陸各地ヲ視察ス内閣技術院委員被仰付、翼政會政調文部、内務兼務委員ニ指命サル○當選一回(21)

を徹廢すべきであると思ふのである。

次に、原料資材の配給基準に付ても實績主義を固守し資本主義時代の實績に比例し減量割當をしたのでは小商工業は到底其の生活を維持することは出来ないであつて、最低生活保證主義と國民皆勞主義の建前に依つて配給制度の改善を圖らねばならぬのである。

愛知縣第四區選出

本 多 銅 治

愛知縣西加茂郡猿投村大字藤本二〇四 電學母二四四
神田區淡路町萬代家 電神田五二五



略歴 明治二十六年十二月愛知縣ニ生ル、東京京北中學校卒業○愛知縣會議員四期當選、郡農會長、縣農會副長、縣會郡部會議長ニ就任ス、同縣會議長ニ選ハル商工省委員被仰付、翼政會政調農林、鐵道兼務委員タリ○當選一回(21)

政見 從來の我が國の諸體制は自由主義に出發して居つたのであります。然るに支那事變が進行するに連れて、政治も經濟も思想も文化も國民生活も、悉く 天皇統治のもと、國家全體國民全體を基本とする所謂皇道主義に改められつゝあるのであります。

自由主義を仔細に検討すれば、多くの重大なる缺點弊害を包藏致して居るのであります。就中自分が金儲けをするためには如何なる事をしてても法律にさへ觸れなければ差支ないと考へる様に成つて、其處に道德の頹廢が現はれ、又自分の儲けた金はどの様なことにそれを使つても遠慮は要らぬと、考へる様に成つて極端なる個人主義に陥るのであります。

此の個人主義程恐るべきものはありませぬ。今後の體制は全く個人主義の排撃にその基調を置かねばならぬと存するのであります。

翼賛議員銘鑑(ほノ部)

三六一

翼賛議員銘鑑(任ノ部)

東京府第五區選出
著述業

本領信治郎

中野區高根町一 電中野
六五〇九



三六二

略歴 明治三十六年十月京都市ニ生ル、早稻田大學政治經濟學部卒業○早稻田大學講師兼學生監、同高等學院教授、歐洲ニ留學シ其ノ間歐亞諸國ヲ巡遊ス、大政翼賛會總務局宣傳部副部長、日本宣傳、日本移動各文化協會ノ創設ニ盡力ス、「青年の信條」ノ外數種ノ著書アリ、東方會常任幹事、青年部長、參與タリ外務省委員被仰付、翼政會事務局參與政調幹事、大東亞委員ニ指命サル○當選一回(21)

政見 如何に戰時中であるからとて、議會が行政に對して何の批判も加へず、監督もせず、指導も行はないなれば、それは眞の翼賛議會の名に背き、議會の役割を自ら抛つものである。今日のことき非常に際してこそ、議會は一層積極的に行政を指導監督、鞭撻激勵しなければならぬと思ふ。東條内閣の國策遂行に對して、議員中一人なりとも反對するものはなく、議會は文字通り滿場一致の内閣に對して與へてゐるのであります。それにも拘らず、なぜもつと清新な議會が建設されねばならぬといふ要求があるのか。それといふのも、我が日本は、黙々として行政の後からついて歩く議會よりも、行政に先行して、行政指導といふ政治の本質を生かし、つねに建設的な獻策を政府に對して行ふ生氣ある議會を要求してゐるのであると思ふ。議會が政治することを忘れてはいけない。議會は自力甦生して、もつと若返つた清新さを取り戻さなければならぬ。

岐阜縣第三區選出
正八位農業

間宮成吉

岐阜縣廳内大政翼賛會事務局長 電岐阜三五〇〇
岐阜縣加茂郡田原村東田原六二四



略歴 明治三十一年岐阜縣ニ生ル、上田蠶絲專門學校卒業○

陸軍砲兵少尉任官、昭和九年以降田原村長就任、昭和十四年岐阜縣會議員當選、昭和十六年岐阜縣信聯合會理事就任、大政翼賛會岐阜縣支部庶務部長、岐阜縣翼賛壯年團副團長、翼政會政調大東亞、農林兼務委員ニ指命サル○當選一回(21)

政見 今や、我が國は大東亞戰爭の赫々たる戰果と共に、飛躍的發展を遂げ、この新事態に即應せしめるように、政治、經濟文化等、國內の凡ゆる體制を刷新整備し、その強化を圖り、以て、大東亞共榮圈建設の基礎を確立致さねばならぬ時期に到達したのであります。申すまでもなく、現下の時局に於て最も速かに實現せしめなければならぬ施策は、政治力の強化を圖ることにあると信じます。この政治力の強化とは、翼賛政治體制の確立に他ならないのであります。その基礎をなすものが、翼賛議會そのものであります。従つて、今日、最も急務とするものは、この翼賛議會の確立にあると信じます。各層を代表する議員を以て構成されなければならぬこと勿論でありまして、それらの人々を通じ民間の創意と民意が國政の上に反映せしめるように致さねばならないのであります。

翼賛議員銘鑑(まノ部)

三六三

佐賀縣第一區選出
從四位勳三等海軍少將

眞 崎 勝 次

世田ヶ谷區松原町四ノ一
四九 電松澤三二三三



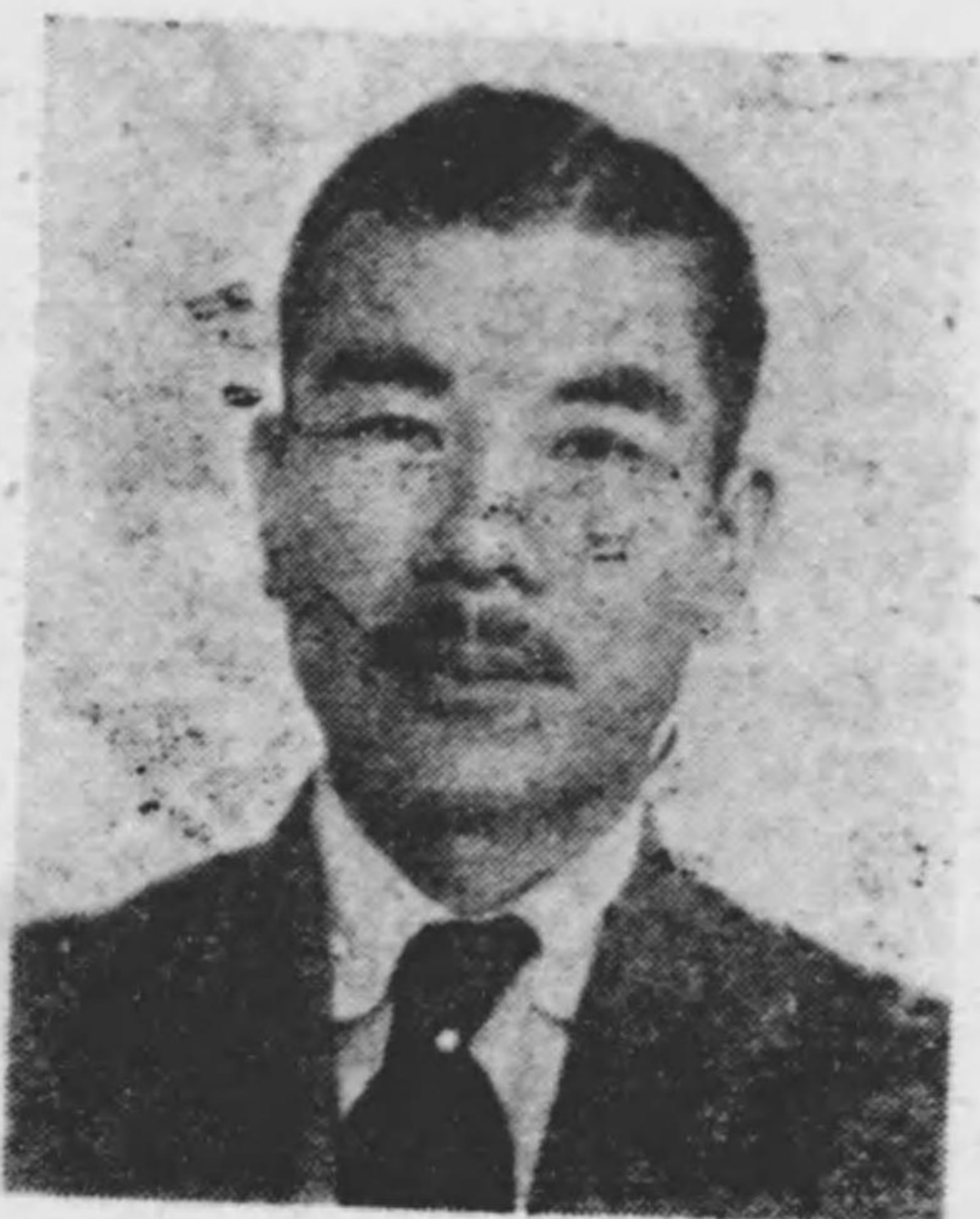
略歴 明治十七年十二月佐賀縣神崎郡境野村大字境原ニ生ル
三十九年海軍兵學校ヲ卒業○明治四十年海軍少尉ニ任官シテ以
來累進シテ昭和八年海軍少將ニ進級ス、此間海軍大學卒業、軍
令部參謀、西比利亞駐在、露國大使館付武官、隱戸艦長、大湊
要港部參謀長、山城艦長、横須賀鎮守府人事部長、警備戰線司
令官大湊要港部司令官等ヲ歴任シ昭和十一年豫備役ニ編入サル
外務省委員被仰付、翼政會政調海軍、外務兼務委員ニ指命サル
○當選一回(21)

政見 大東亞戰爭勃發以來今日まで陸に海に連戰連勝而も枚
舉に違なき武勳と神業に等しき武人の功績は全世界を驚倒せし
めつゝあるに拘らず支那事變もまた解決せず尙前途豫測し得ざ
るは諸種の事情、原因に基くものとは言へ多くは是政治家にし
て軍事を解せず又政治家の最も必要とする宗教、哲學、思想問
題に對する造詣の乏しきに因するもの大なるものがあると思ふ。
終の戦局を結び以て國民幸福を増進せしめんとするには、結局思想問題を透徹し、軍事を理解する政
治家を政治に當らしむる外ないのである、先づ議會を淨化し、更らに議會を強化し、議會をして眞に
大政翼賛の實を擧げしめねばならぬと思ふ。

東京府第四區選出
正五位勳三等會社重役

眞 鍋 儀 十

深川區住吉町二ノ二七
電本所二三〇〇



略歴 明治二十四年九月長崎縣壹岐郡箱崎村ニ生ル、明治大
學法科卒業「新選舉法解釋」「府縣制通」「通俗哲學」「滿洲
大觀」等ノ著書アリ○遞信省囑託、遞信參與官ニ任セラル、政
府貸付金處理委員會、米穀配給調整中央委員會各委員被仰付、
城北電線株式會社社長、東京露店燈取扱株式會社取締役タリ、
皇軍慰問ノ爲北滿ヘ派遣セラル遞信省委員被仰付、翼政會事務
局參與政調海軍委員ニ指命サル○當選五回(17 18 19 20 21)

政見 一、國內態勢整備の根本方針 國家の總力を擧げて各般
の施策を戰爭遂行目的へ強化集中すること。二、重要國防産業
の擴充 先づ既存設備を最高度に活用し、更に優秀企業に對し
ては重點的に資材勞力を供與すること。三、中小商工業對策
整理統合の方針は單なる實績主義によらず、規模の適限、技術
の保存等を考慮して、其の運営に過誤なからしむること。四、
共榮圈建設の根本方針 大東亞各國家及び各民族をして、皇道の下、各々其の所を得しめ、豊富なる
資源の開發に力むること。五、大東亞自給體制の確立 重要資源を開發して戰時資材の需給を充足す
るは素より、食糧問題に對しても、内地に増産獎勵の外、豊富なる南方諸地域との交流を圓滑にする
こと。六、圈内交通運輸問題 資源の獲得、開發と併行して、速かに、造船、機帆船、外國船の利用
船員の養成など、交通運輸對策を早急に樹立すること。

翼賛議員銘鑑(まノ部)

三六六

香川縣第一區選出
著述業

前 川 正 一

高松市藤塚町
芝區櫻川一〇エビヤス
方 電芝一八六二



る、一、國民年金制を確立する。一、育英金庫を設け將來性ある有能なる子弟は國費を以て教育する。一、議院法を改正し帝國議會の性格を日本的ならしめること、選舉法の改正、官吏の再教育と優遇法、生産、配給の一元的統制と此の線に沿ふ轉失業者の處理等。

略歴 明治三十一年高松市ニ生ル、同志社大學ヲ中途退學、普選運動、農村運動ニ挺身ス前回の總選舉ニ當選以來、重要産業國家統制強化、農業災害保險、農産物増産獎勵施設、國民保險施設軍機保護法、兵役法改正、家賃小作地代ノ停止等ノ實現ニ努力ス翼政會政調内務、農務兼務委員ニ指命サル○當選二回(2021)

政見

一、米英的思想文化で歪められ日本の政治産業思想文化を日本的たらしめ八紘爲宇の肇國大精神を顯現せしめ此の精神を個人の日常生活に浸透せしむべきこと。一、眞の戦争國家體制確立は旺盛なる生産力に基礎をおくべきで資本、科學、技術を總動員し、農村、工場、鑛山と學校、軍隊、兵營と計畫的に結合させ戦争一元國家體制を作ること。一、日本民族の強さは血の純潔にある、故に土と血を連結するため農民は世襲制適正規模の自作農とし農道精神を振起し兵農兩全の方針を樹立す

北海道第二區選出
農業

前 田 善 治

旭川市六條通一八丁目左
九號 電旭川三〇七〇
本郷區湯島天神町一ノ六
八花水館 下谷三三五〇



略歴

明治二十六年五月北海道ニ生ル、農業ニ従事ス、大藏省委員被仰付、翼賛政治會政調内務、商工兼務委員ニ指命サル○當選一回(21)

政見

一、大東亞戦争必勝體制の強化並に大東亞共榮圈建設の推進を圖ること。

二、内閣の政治力を強化し、政治機能の最高度化を計り且つ國民活動を、十分伸暢せしめ得らるゝ様、官界新體制を確立すること

三、國民の政治知能と創意と要請との總動員體として、至誠翼賛、政府協力を旨とすること。

四、國家の實たる國民の、教育鍊成の完全を期し、教學の作興、施設の擴充、教員を尊重し待遇を改善し、他方、英才は國費を以つて最高の教育を受け得るの途を開くこと。

五、銃後援護施設の萬全を期すること

六、大陸政策と海洋政策との調和統一を計ると共に寒、温、熱三帯に亘りそれぞれ、適應する國土及産業、文化等の開發政策を樹立實施すること

七、獨伊と樞の誼を厚くし、東亞盟邦と親善を深くし進んで、蘇聯と外交其他適當なる方法を以つて北方暗雲の根基を艾除すること、その他

翼賛議員銘鑑(まノ部)

三六七

翼賛議員銘鑑(まノ部)

三六八

兵庫縣第二區選出
勳三等電工聯理事長

前田 房之助

赤坂區新町三ノ三九
電赤坂六八〇



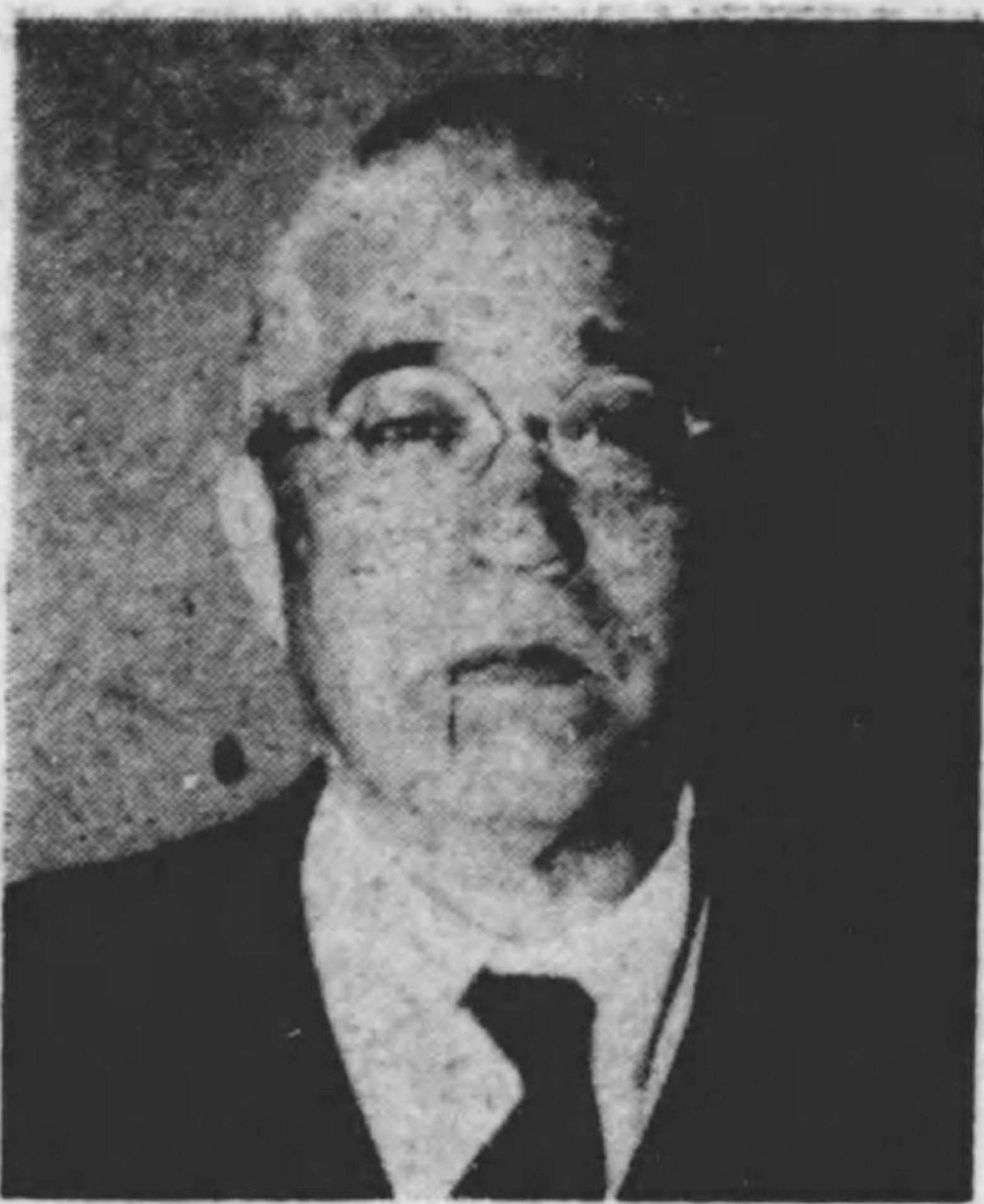
略歴 明治十七年九月西宮市中前田町ニ生ル、明治四年四月
神戸高等商業學校卒業○武庫郡會議員、大社村長トナル、寶塚
尼崎鐵道株式會社々長外數會社ニ關係ス、大藏參與官、遞信政
務次官ニ任セラル、大正十四年九月、ワシントン並ニオツタワ
ニ開催サレタル萬國議員會議ニ出席シ、歐米各國ヲ視察ス、昭
和二年四月衆議院請願委員長ニ當選、内閣與亞院委員タリ、大
東亞省委員被仰付、翼政會政調遞信委員長ニ指命サル○當選七
回(15 16 17 18 19 20 21)

政見 一、船舶對策——大東亞戰爭の遂行上船舶の急造は焦
眉の急を要する問題であるから造船にあらゆる手段を講ずべき
こと。一、戰時財政經濟政策——財政は軍事費第一主義、經濟
は増産第一主義で進むべきであることは言を俟たぬ。一、戰時
食糧の對策——堅實なる農村人口の維持と主要食糧品の自給自
足計畫を樹て、日滿支を通ずる方策を不動ならしむること。一、大東亞教育體制の確立と教育の機會
均等——日本國民の大多數がその良智良能を發揮し得る教育制度を速かに確立すべきこと。一、官界
新體制の樹立——事務の迅速化、吏道の刷新、親切心を保たしめること。一、翼賛政治體制の確立——
皇國独自の日本の性格を有する翼賛議會を速かに確立すべきこと。一、翼賛政治體制の確立——

東京府第六區選出
從三位勳一等

前田 米藏

麻布區筈町九八
電赤坂
一三三



略歴 明治十五年二月和歌山縣伊都郡高野山口町ニ生ル、中
央大學卒業○法制局長官、商工大臣、鐵道大臣ニ被任、文政審
議會、行政審議會、資源審議會、人口食糧問題調査會、中央統
計委員會、國有財産調査會、特別都市計畫委員會等各委員、經
濟審議會幹事長、資源審議會副總裁、内閣參議タリ、大政翼賛
會總務翼政會常任總務鐵道委員、議院協議會協議員ニ指命サル
○當選九回(13 14 15 16 17 18 19 20 21)

政見 國內體制強化の重要部門の一つとして、先づ考へなけ
ればならぬ事は、不磨の大典たる帝國憲法に定められたる帝國
議會をして、眞に日本的なる翼賛議會の本領を發揮せしめるこ
とであります。しかして翼賛議會とは、長くも 天皇陛下の議
會として、大政を翼賛し奉る議會本來の姿に還へるのでありま
す。従つて翼賛議會は政府の御用議會ではありません。政府に
唯々諾々、追従これ事とする因循姑息のものではありません。議員たる者は、長くも 陛下の議會の
構成員たるの光榮に感激して、堂々たる權威を保ち、烈々たる氣魄を以つて、清新潑刺として、國家
本位の本義に立つて、舊來の西洋流の議會の運営を脱却して、政府の樹てた政策を眞劍に検討し、皇
國興隆の線に添ふ正しき民意を暢達し、一面に行政各部門を嚴正に監視し、その運営の適正を期し、
眞に議會と政府と協力して、大政翼賛の實をあぐるにあらざります。

翼賛議員銘鑑(まノ部)

三六九

翼賛議員銘鑑(まノ部)

三七〇

東京府第五區選出
正五位勳四等辯護士

牧野 賤男

澁谷區鉢山町三
電澁谷二六三三



戦争が何年續いてもこれに堪へて行く、まさに躍進日本の姿である。

大東亞戦争勃發して、日本人は自覺を新にした。この新なる政治意識が議會に反映して、翼賛議會體制を作る、戦争の眞只中に總選舉が行はれたのは、この意味であつた。大東亞戦争完遂の爲めの翼賛議會であり、翼賛政治體制確立の爲めの翼賛選舉であつた。結局戦争目的達成の爲めの選舉であつたことを銘記せねばならないのであります。

岐阜縣第三區選出
從四位勳三等辯護士

牧野 良三

穂町區二番町四
電九段三七



略歴

明治十八年五日岐阜縣大野郡高山町ニ生ル、東京帝國大學法科卒業○逓信省爲替貯金局證券課長、文部大臣秘書官、商工參與官、逓信政務次官被任、又辯護士ヲ開業ス、商工審議會、航空事業調査委員會、其他ノ委員會委員被仰付、第三十四回列國議會同盟會議並第二十三回萬國議院商事會議ニ日本議員團長トシテ參列、司法省委員被仰付、翼政會政調連絡、事務局參與、外務兼務委員ニ任命○當選八回(14 15 16 17 18 19 20 21)

政見

大東亞戦争の策戰構想が、雄大であると同様、大東亞建設の政治的構想も亦雄大でなければならぬ。國民は、宣戰の大詔を拜して、大東亞建設の雄大なる政治的構想に直面して、日本の政治は、正しく蘇へることが出來た。過去十數年にわたり、わが國の政治は、全くその指導性を失ひ、國民と遊離し、國策に信念なく混沌たるものがあつたが、今や舉國一體、大東

亞戰に臨み、これを戦ひ抜くべき政治的構想と指導力は、その全貌を明確にするに至つた。國家はいま、深き自信の下、この雄大なる政治的構想を實行に移しつゝあるのである。陸海軍をして雄大なる策戰構想を實現せしめた國民は、政府當局をして雄大なる政治的構想の實現に苟も遺憾あらしめてはならぬ。今こそ、全國民は、一切の過去を捨て、一場の行きがかりを棄て、一切の感情を捨て、軍と、官と、民とが一つ心に溶け合つて、ただ大業達成の一路を邁進すべきである。

翼賛議員銘鑑(まノ部)

三七一

翼賛議員銘鑑(まノ部)

三七二

福島縣第二區選出

牧原源一郎

福島縣北會津郡館ノ内村大字
伊和保乙八七〇
電荒井五
目黒區上目黒町五ノ二五八
牧原源藏方 電澁谷二三三〇



略歴 明治三十年四月福島縣ニ生ル、會津中學校卒業○株式會社津銀行監査役、同會津銀行ノ合併新設シタル株式會社東邦銀行監査役トナル、保險責任福島縣信用組合聯合會監事、同聯合會ヲ解散ノ上新設シタル保證責任福島縣信用販賣利用組合聯合會監事、縣翼賛壯年團副團長タリ、翼政會政調内務、農林兼務委員ニ指命サル、○當選一回(21)

政見 一、米英の利己的立場より仕組みたる所謂世界舊秩序を清算し、神の命に給ふ至善、至高なる新しき秩序に基く世界を建設し、全人類の眞の幸福をもたらす爲め時を得て蹶起せる我が日本民族大進軍に當り一億一心の結束を強固ならしむる爲め旗振りの役目を果さんとす二、大東亞戰完遂の爲め軍作戦上必要とする人的並に物的資源の造成に遺憾なきを期する爲め國內諸體制の整備三、就中農村部面に於て擔當する國家要請の目的達成上急速なる施策の確立と其實行(1)食糧問題 農地問題の解決、資材の供與、技術の研究並に指導、經營の改善(2)農村勞力調整に關する問題 機械、畜力の利用、經營の協同化、最低勞力の確保(3)健民給源地としての農村對策(4)南方圏域を含む將來の農業對策勿論國防本位に重點を置き經濟を考慮し周到なる對策が必要である四、戰勝に對應する國民生活の刷新運動五、行政機構の一部民間委任に依る簡略化六、國民鍊成機關の徹底

北海道第一區選出
運輸業

正

木

清

札幌市北一條一ノ一五
電札幌六二五二
神田區美土代町一〇ノ一
美土代旅館電神田二〇五



略歴 明治三十三年福島縣石城郡好間村ニ生ル、神田大原簿記學校卒業○札幌市會議員、北海道々會議員各二回當選、北海道產業報國會議事、北海道荷馬車運輸業組合聯合會理事長、北海道車橋工業組合顧問、札幌燃料商業組合顧問、北海道產業報國會勤勞營業對策協議會、產業報國會勞働者作業衣配給中小商工業資金融通、損失補償審査各委員商工省委員被仰付、翼政會政調鐵道、農林兼務委員ニ指命サル○當選一回(21)

政見 國內に於ける政治經濟其他の體制を現段階の時局に對應する様に革新致しまして此の非常時局下に於ても、銃後に於ける國民の生活の最小限度を確保し、戦線と銃後の關係を更に強化し、以て聖戰完遂に邁進することが絕對に必要であると存じます。従つて政府に於ても、政治經濟其他の分野各般にわたつて相當に思ひ切つた一大革新を斷行して來ておるのであります。がさて私共一億國民の中には、未だ米英的自由主義の殘滓がある様でありまして誠に残念でなりません。私共一億國民は今こそ此の思想を排除して歴史的に大轉換をなしつゝある世界の現状並に大東亞戰爭の現段階を直視し、其れに對應する新しい構想による世界觀の明徴が必要であると思ひます。尙大切なことは我が建國の大理想たる八紘一宇の大精神を基本とする皇道世界觀の闡明が、より必要であると思ひます。

翼賛議員銘鑑(まノ部)

三七三

新潟縣第四區選出
勳三等著述出版業

増田 義一

小石川區原町一二五
電大塚八九



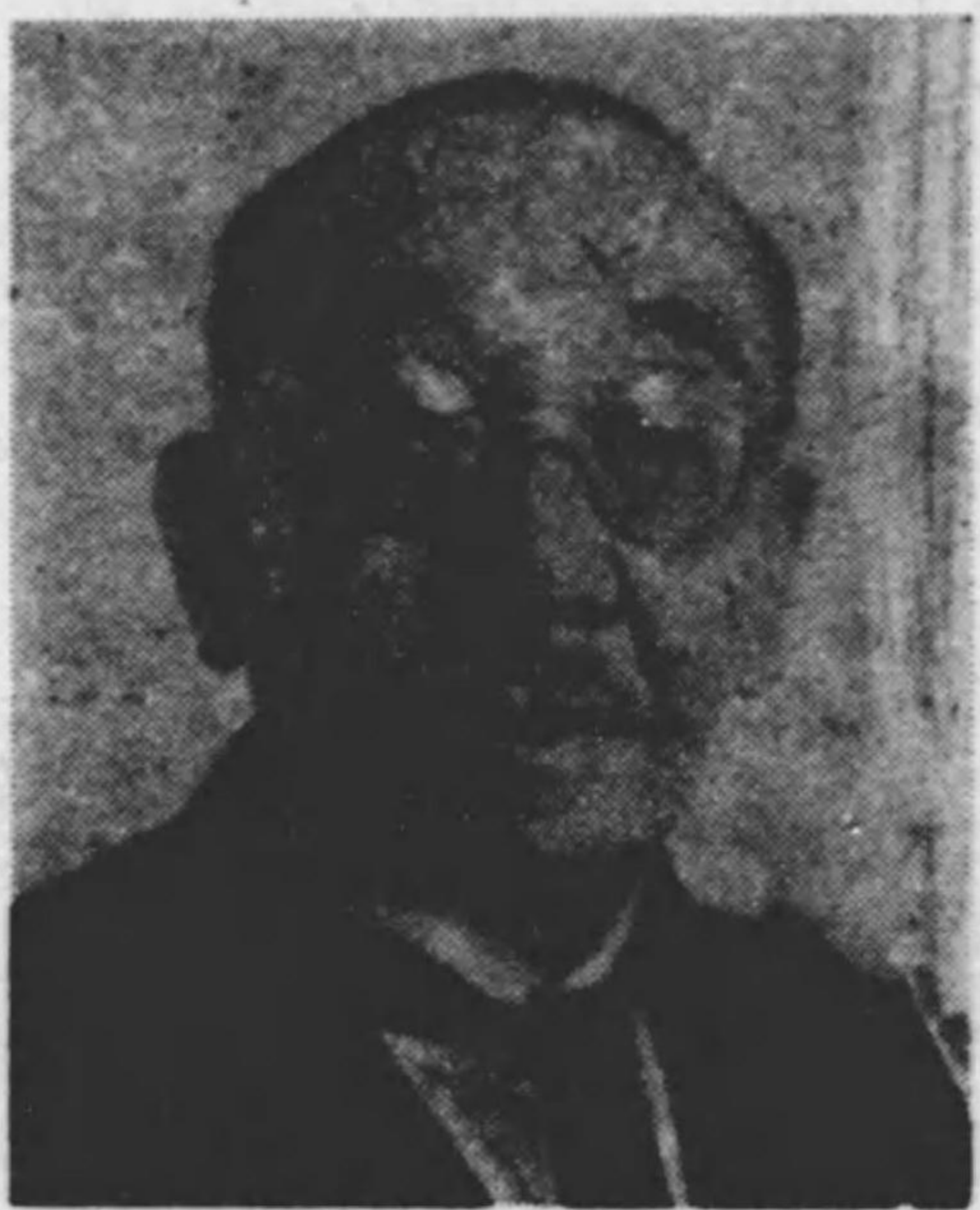
略歴 明治二年十月新潟縣中頸城郡板倉村ニ生ル、早稻田大學卒業「青年と修養」其他著書數種アリ○嘗テ讀賣新聞記者タリ、且多年「實業之日本」其他數種ノ雜誌ヲ發刊經營シ又圖書ヲ出版ス、現ニ實業之日本社長タル外數會社ノ重役ヲ兼ネ、早稻田大學理事タリ、臨時國語調査會、國有財産調査會、小作調査會、國際貸借審議會、文政審議會、鐵道會議々員、國語審議會、著作權審査會各委員、歐米各國ヲ視察ス○曩ニ衆議院副議長タリ内閣情報部參與被仰付、翼政會會計監督、評議員、政調大藏委員ニ指命サル○當選八回(11 15 16 17 18 19 20 21)

政見 國民が南方に對する心構へとしては(第一)日本人の偉大性は必要である。如何なる民族をも包含すると云ふ雅量を示すこと。(第二)正義と親切が必要で、何處迄も正しくして曲つたことをせぬこと。(第三)進歩的であること。則ち世界に遅れない様に、何時でも世界強國の一である所の實力を所有してをることである。實力の内には武力が最も必要であり、その次には經濟力である。南方の資源を開發して益々經濟力の發展を計ること勿論である。我國民は前途の希望を楽しみに、目前の艱難苦痛は之を忍んで、所謂堅忍持久は是からだとの堅い覺悟を持たれんことを切望する。

秋田縣第一區選出
正三位勳一等

町田 忠治

牛込區南校町七三
電牛込二五〇六



略歴 文久三年三月秋田市ニ生ル、東京帝國大學法科大學卒業「財政學」「憲法評論」其ノ他數種ノ著書アリ○嘗テ東洋經濟新報ヲ創刊ス、日本銀行取締役、山口銀行總理事、大阪銀行集會所委員長、報知新聞社長、農商務省參與官、農林大臣、商工大臣、大藏大臣、特ニ前官ノ禮遇ヲ賜ハル、小作調査會、米穀委員會、各會長、社會政策審議會、關稅審議會等ノ各委員、再度歐米各國ヲ視察ス、翼政會顧問ヲ委囑サル○當選十一回(11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21)

政見 政治の情勢は時と共に移る、唯 明治天皇の 皇宗皇祖の遺訓を詔述して欽定し給へる、帝國憲法の嚴として存するあり、其運用は時運と共に宜しきに從ふを要すと雖も、其根本の大義は炳乎として紊るを許さぬ、今日國家の隆昌、繫りて立憲政治に負ふ所、絶大なるを考へねばならぬ、將來、大東亞の建設も亦、基調をここに置くを要するソ聯の政體は云ふに及ばず、獨、伊の模倣も亦、米英の政治と共に、我國體に適合せざるは言を俟たぬ、我欽定憲法の運用を彌々、濟美にし、以て新時代に適應して、國家の隆昌を圖るは、これ一億國民の責務である、私は國家憲政の爲めに、一身を捧げて努力する覺悟である。

香川縣第二區選出
農業

松 浦 伊 平

豊島區西巢鴨四ノ一三
電大塚三二〇二
香川縣綾歌郡山村大字
青梅



略歴 明治二十三年香川縣ニ生ル、縣政界ノ重鎮ニシテ元縣
會副議長タリシコトアリ、帝國農會評議員、大政翼賛會香川縣
支部顧問、縣農會長、同農業協力會議長、同副業協會長、同養
雞組合聯合會長タリ、鐵道省委員被仰付、翼政會政調農林委員
ニ任命サル○當選二回(2021)

政見 一、日本國民は神意の動くところ今後戦争が五十年否
百年續くともびくともするものではない、大東亞戦争は消耗戰
でなく戰ひつゝとんどん建設して行くのである、日本の獲得せ
る輝しい現段階と洋々たる將來を想ひ見て今や勝利の爲に翹望
されるものは必勝の信念と潑刺たる政治力である。二、農は國
の本なり、歴史は常に敗戰國の悉くが食糧難のために苦杯を嘗
めたことを教へるのである「兵農兩全」の我國では食糧の増産
と農民生活の安定は戰時國內政策の第一義であることを銘記す
べきである。三、「戦ひの生活とは大御心を奉戴せる生活なり」
との信念を確立して現下の經濟統制に堪えねばならぬ、統制の強化は覺悟の上である。四、重要國
策工場が都市に集中することは國防上の寒心すべきである地方に分散せしめよ五、國家の發展は専ら
青年教育の充實にある、殊に高等學府が都市に獨占され地方有能の青年より遊離する如きは遺憾であ
る、宜しく精神教育と科學教育の振興を計り東亞の指導に任すべき日本人を鍊成すべきである。

北海道第二區選出
木材商

松 浦 周 太郎

豊島區雜司ヶ谷二ノ四九
○電牛込四五七八



略歴 明治二十九年五月北海道茅部郡落部村ニ生ル、○美深
町會議員、北海道會議員、美深消防組頭ニ擧ケラル、合資會社
松浦木工場代表社員、樺太ベニヤ株式會社社長、北海道製鉛株
式會社取締役タリ、支那事變ニ際シ皇軍慰問ノ爲滿洲國へ派遣
セラル、逓信省委員被仰付、翼政會事務局參與、政調農林、逓
信兼務委員ニ任命サル○當選二回(2021)

政見 我々は輝ける三千年の歴史を汚してはならない。この
課せられた大使命を如何にして果すべきかいふまでもない國防
國家の體制を確立して一意戰爭完遂のための手段に移るべきで
ある。即ち自分は大東亞戦争に於て同胞の流した血を仕上げよ
と叫びたい、先づその施策を項目別に擧げて見よう。

イ、大詔を奉戴した大東亞戦争の眞義を明徴にして國民精神
の昂揚振作を期すロ、國防國家の徹底建設ハ、軍需産業の擴充(特に工場の地方都市分散の急あり)
ニ、食糧需給政策の確立ホ、人口増殖對策の徹底ヘ、大東亞國土計劃の樹立ト、大東亞運輸、航空計
劃の樹立チ、北方圈確立の急務リ、南方民族の指導

翼賛議員銘鑑(まノ部)

三七八

福岡縣第二區選出
會社重役

松 尾 三 藏

澁谷區原宿二ノ二〇八
電青山八一四〇
福岡縣遠賀郡香月町



略歴 明治二十一年一月福岡縣八女郡川崎村ニ生ル〇三菱合資會社ニ勤務ス、香月町會議員ニ選ハル、香月町消防組頭、福岡縣消防協會評議員及理事、遠賀郡畜産組合長、縣畜産聯合會評議員、香川町商工會長及信用組合理事、金丸鑛業株式會社取締役、久恒鑛業、田籠鑛業、三崎鑛業、九州曹達各株式會社顧問タリ、翼政會政調大東亞商工兼務委員ニ指命サル〇當選二回(2021)

政見 大東亞戰爭完遂するには支那を援けると云ふ事である昭和十二年七月七日より滿五ヶ年の長きに互り戦つて居るが之は即ち當初より支那大陸を我が國の領土とするかの如き英米の口車に乗つたからである我が國は決して支那を我が領土にするに云ふのではない。

現在僅かに重慶に餘命を保つ蔣軍は未だ誤解が解けず抗戦を續けて居るが此れでは支那國民が可愛想である蔣介石も馬鹿ではない我が帝國の眞意を解く爲め蔣介石と會見する機會を得度きものである此の機會を得る事が出来るならば我等身命を賭してでも支那を援け度いと思ふのである。

山形縣第二區選出
正五位勳三等功七級新聞社重役

松 岡 俊 三

澁谷區原宿二ノ一七〇
電青山八二八〇



略歴 明治十三年七月山形縣北村山郡稻岡町ニ生ル、宗教大學卒業後日本法律學校ニ學ブ「雪國の悲惨を語る」其他ノ著アリ〇日露役ニ從軍ス、都新聞政治記者、同副社長、雪ノ日本社ヲ創立シ其社長、曩ニ歐米ニ留學二箇年、又東部西比利亞及北部支那各地ヲ視察ス、華盛頓會議ニ參列ス、雪害對策調査會、東北振興調査會各委員、拓務政務次官被任、翼政會政調大東亞委員ニ指命サル〇當選七回(14 15 16 18 19 20 21)

政見 私が常に申して居つた「日本の建て直し」が大東亞戰爭により完結されるのであります。而して其の中心力は、たとひ世界の人がいくら嫌つても、又振り拂ふとも、日本民族によりて握られ、動かさるゝ外に致し方のないやうに自然がちやんと定めて居ることを、お互の日本人は正しく、明かに自覺せねばなりません。我等日本人はこの大自然の嚴肅なる御命令を遵奉し、着々と進んでは世界の人を幸福に導かねばならぬ、然しこの爲には、明治維新當時、一日も早く歐米の先進文明國の如く在りたいの一念に驅られて、猿が人真似でもするかやうに、日本を忘れ、日本の本質を度外し、外國の文物制度を其の儘に鵜呑み横倣した政治、經濟、教育、産業等凡てのものを綺麗さつぱりと洗ひ清め、眞の皇國日本の姿に造り上げねばなりません。日本の内政を正しく整備することが喫緊第一の要務であり又赫々たる大戦果に應へる所以であると信じます。

翼賛議員銘鑑(まノ部)

三七九

翼賛議員銘鑑(まノ部)

埼玉縣第三區選出
從七位勳六等

松岡秀夫

埼玉縣北埼玉郡忍町大字
齊條三九〇
神田區宮本町一綾部良一
方 電下谷一二三二



三八〇

略歴 明治三十一年三月埼玉縣ニ生ル、東京帝國大學農實科
卒業○陸軍中尉ニ任セラル、埼玉縣多額納稅者、忍貯金銀行頭
取忍商業銀行取締役トナリ、星河在郷軍人會々長、縣會議員ニ
選バル、翼賛會埼玉縣參與、翼政會政調文部、大藏兼務委員ニ
指命サル、當選一回(21)

政見 國民各自が時局に對する責任を分擔し、物心兩方面より
國家第一主義に透徹し、困苦缺乏以て國家目的の實現を期す
可きであります。長期大規模の戦争の結果、國內物資の缺乏は
當然であります、殊に南方經濟を加へ再編成の上戦時經濟力を
武力戦と建設戦とに振り向け、戦力を充實しながら戦ふ事によ
つて完遂せらるゝのであります、申迄も無く戦争經濟は、金、
物、人の調和整備が必要ではが爲め各部門に亘つて統制會が生
れ、充實強化を企圖致しますので、事變以來我經濟力は低下す
る處か、却つて増強されつゝあることは是れ國家總力戦を體得
し國民協力の賜で何と心強い事ではありませんか、今や三千年來の國家隆昌の殿頭に立ち、彼等米英
の功利經濟を東洋より驅逐し、安住樂土を建設する大使命を確く強く認識し、萬難を排し困苦缺乏に
堪え、現代に生を享けた國民の誇りとし、臣道を盡し、以て肇國の理想實現に邁進し、時難克服に當
る可きであると信するのであります。

佐賀縣第二區選出
大日本紙料運輸社長

松岡平市

小石川區小日向壺町一ノ
六三 電大塚七八二三



略歴 明治三十四年佐賀縣東松浦郡相生町ニ生ル、東京帝國
大學在學中上杉愼吉博士ヲ盟主トスル愛國團體「七生社」ヲ創
設爾今盟友トシテ上杉憲法ヲ祖述ス○帝大卒業後警視廳警視地
方事務官ヲ經テ世田谷高等女學校校長トナル、更ラニ滿洲國理
事官、司法科長、北支派遣軍囑託、冀東政府顧問特別稽查處長
ヲ歷任ス、現在大日本製紙原料商業組合専務理事、和紙原料統
制聯合會會長、大日本紙料運輸會社々長等ノ職ニ在リ○當選一
回(21)

政見 私は已に早く十數年前上杉愼吉博士の門弟として愛國
運動に身を投じ、今日見らるる如き旺盛なる日本精神の發揚と
英米打倒の國論歸一のためには微力ながら絶えず貢獻して行き
度いと思ひます、又過古において大陸の經營の一端に参加する
の機會を與へられたのでありますから今後の大東亞の政治建設
に參じて幾萬將兵英靈の血で購へる大戦果を眞に皇國日本の爲めに正しく意義あらしめ後生に悔を胎
さざる經略の達成に挺身する決心であります、曾つて今日あることを久しく警告せる幾多愛國者の主
張を罵倒反對し遂に國民の神聖なる議會を泥土に委したる英米流自由主義政治經歴の所有者が大先輩
の苦心建設せる名譽ある政黨を弊履の如く捨てるが如く解決し地方黨員を迷はせ國論定まると見るや
直に之れに迎合して愛國者流の口吻を眞似す如きは笑止の沙汰と言はねばなりません。

翼賛議員銘鑑(まノ部)

三八一

翼賛議員銘鑑(まノ部)

鹿兒島第一區選出
正五位勳二等會社社長

松方幸次郎

赤坂區青山高樹町一六
電青山三一七〇
神戸市須磨寺町



三八二

略歴 慶應元年十二月鹿兒島市ニ生ル、米國エール大學卒業
後英國オクス・フォード大學及佛國巴里大學ニ法律學ヲ學フ○
内閣總理大臣秘書官、神戸商業會議所會頭、川崎造船、神戸瓦
斯九州電氣軌道、川崎汽船、國際汽船、九州土地、旭石油各社
長、歐米、支那ヲ視察ス、紺綬褒章ヲ賜ル、佛國ヨリレジオ
ン・ドノール三等勳章ヲ贈ラル翼政會政調遞信外務兼務委員、
評議員ニ任命サル○當選四回(11 19 20 21)

政見 私は大日本帝國が世界列強の間に伍して國家として強
大を爲さんとすれば常に軍備を充實して生産事業を旺盛にして
積極進取の氣魄を以つて大いに國威を宣揚せねばならぬと常に
政府當局や陸海軍方面等に熱心に訴へて來た、昨年十二月八日、
暴戾なる米英に對して長くも宣戰の大詔を渙發せられて以來到
る處皇軍の大戦捷は御稜威の下、出征皇軍將兵の忠勇なる奮戰
の賜物であるが又一面過去において軍當局が軍備の充實と改装に努力した賜物である、さりながら一
億同胞は今日の戦果に酔つて慢心を起してはならぬ、大東亞戦争は漸く長期化の相貌を現して來た、
勝つて兜の緒を締めよ、我國は將來益々近代科學兵器を中心とする軍事生産事業の擴充に努力邁進し
なければならぬ、更らに眼を新版圖の經營、大東亞共榮圈の建設と言ふ處に轉ずるなれば吾人の責務
はいよいよ重大である、新秩序の經綸は吾が肇國の根本方針たる八紘一宇の大精神に依らねばならぬ

大阪府第六區選出
勳三等社會事業

松田竹千代

澁谷區幡ヶ谷本町三ノ四
八七 電四谷三五三〇



略歴 明治二十一年二月大阪府泉南郡下莊村ニ生ル、紐育大
學ニテ經濟學ヲ修ム○紐育市ニ日本人職業紹介所ヲ創設經營ス
ロンドンニテ社會事業ヲ研究、東京府有隣園經營ニ當ル、又勞
働者簡易宿泊所有隣労働クラブ經營、國際觀光、職業紹介中央
職業紹介各委員會委員被仰付、第二十九回列國議會同盟會議ニ
參列シ歐米各國ヲ視察ス、又支那事變ニ際シ皇軍慰問ノ爲北支
派遣セラル鐵道省委員被仰付、翼政會事務局參與、政調海軍外
務兼務委員ニ任命サル○當選五回(16 18 19 20 21)

政見 時艱を克服すべき要諦は、國民悉く、翼賛の理念に徹
し、臣道の實踐に精進し、下から盛り上る國民的活力を増大し
て、之を同一方面に結集せねばならぬ、現に産業經濟、文化の
再組織が強く要請せらるゝ今日、これを政府當局の立案に委し
單に批判するのみの消極的態度より脱却し、進んで對策を樹立
して、積極的に協力する態度に出で、更に結集せる國民的政治力によりて實行に移すべきであります。
今日までの議會は、自由主義的思想に歪曲せられ、眞に國體明徴による、翼賛議會としての性格に
徹底せざる憾みなしとしない、ここに一切の派閥觀を滅却し舊來の弊風を一掃し、高度國防國家體制
下に於ける、眞に搖ぎなき翼賛議會を確立し、國策遂行の徹底を期し、政府と國民その堅き楔たらん
とするものであります。

翼賛議員銘鑑(まノ部)

三八三

翼賛議員銘鑑(まノ部)

三重縣第一區選出
會社重役

松 田 正 一

中野區宮園通四ノ二
電中野七〇七七



三八四

略歴 明治十七年十二月和歌山縣海草郡貴志村ニ生ル、京都
法政大學法科卒業○古河鑛業會社和歌山納炭係、大阪市役所土
木課地理係、津市會議員、同副議長、三重縣會議員、同參事會
員、共融無盡會社ヲ創立シ常務取締役、不當廉賣審査委員會、
保險院保險制度調查會各委員被仰付、滿洲國ヲ視察ス、大藏
省委員被仰付、翼政會事務局參與政調連絡大藏商工兼務委員ニ
任命サル○當選五回(17 18 19 20 21)

政見 私は現内閣總理大臣が嘗て議會に於て「官吏が親切の
心を以て事に當り、先づ國民を信賴することに依り國民の信賴
を博して参りたい」と申されたることを聞きまして殊に感激致
しました。議會人として之を聞き、此決心を持つて實行される
ば國民又喜んで政府を支持し、挺身以て各々其職域に奉公し、
如何に長期に亘るとも屈することなく、戰の目的完遂の爲に邁
進する覺悟と決心を持ち、眞に官民一致の實を擧げ得られるのであります。之にはやはり國民に對
し政治力を持たせて、其代表者が議會に於て其實を擧げることが最も時局柄必要である。之即ち下情
上通の議會人としての責任でなければならぬ。私は此責任に於て議會人としての責任を果したく念願
してゐるものであります。

埼玉縣第一區選出
勳四等辯護士辯理士

松 永 東

小石川區江戸川町一
電小石川一二一〇



るのであります。

しかもかゝる型態の確立が早ければそれだけ國策の強力なる遂行が速かとなるのであります。我が
大東亞共榮圈の建設工作も進捗し世界新秩序の樹立にも貢獻し得る事と相成るのであります。
かくて自由主義的殘滓から脱却した清新強力なる翼賛議會顯現の國家的要請は愈々大を加ふるの
であります。

翼賛議員銘鑑(まノ部)

三八五

略歴 明治二十年十月長崎縣南高來郡北山山村ニ生ル、日本
大學及早稻田大學ニ學フ○辯護士試験ニ合格、辯護士ヲ開業ス
五期ニ亘り東京市會議員ニ選ハレ、同副議長ニ擧ケラル、武州
瓦斯株式會社ヲ設立シ其ノ取締役トナル、東京市會議長タリ、
都市計畫中央委員會、地方制度調查會臨時各委員被仰付、商工
省委員被仰付、翼政會政調内務、農林兼務委員タリ○當選四回
(18 19 20 21)

政見 現下に於ける政治理念は申す迄もなく翼賛政治の理念
であります即ちそれは強き國體觀念の高揚の下に振起せらるゝ
國民の翼賛によつて行はるゝ政治であり國民の翼賛の上に立つ
翼賛議會を通じて國政の上に最も適切に民意と翼賛の熱意とを
反映せしめんとするのであります。かゝる政治體制の下に於て
初めて國民の眞の總力が具現せられ強き政治の推進が可能とな

高知縣第一區選出
從四位勳三等海軍少將
松 永 壽 雄
麻布區并町一五九
電赤坂三八六八



略歴 明治二十一年一月高知縣香美郡山田町ニ生ル、海軍兵學校卒業、水雷學校卒業、大正十年海軍大學ヲ卒業ス○第二艦隊參謀、横須賀航空隊教官、霞ヶ浦航空隊教官、海軍省軍務局員、航空本部長、海軍大學教官、航空艦赤城副長、龍驤艦長、館山航空隊司令、赤城艦長ヲ歴任、昭和十年海軍少將ニ任セラシ、昭和二十一年一月歐米十六ヶ國ヲ視察ス、霞ヶ浦航空隊教官當時 畏クモ天覽飛行ノ機長ヲ命セラシ、大日本航空會社理事兼海洋部長、大藏省委員被仰付、翼政會政調海軍、遞信兼務委員ニ指命サル○當選一回(21)

政見 元來一國の政治なるものは國民の福祉を増進し生活を安固にし國家の富強と人類の幸福を招來する工作の連續的努力と云ふものに外ならぬのであつて、此の目的に副はぬ政治は眞の政治でなく又此の目的を完遂し得ざる政治家は以て國士たるの資格なしと信ずる。今や我國は朝野協力一心萬民補翼の大道に立還らんとする氣運が澎湃として起りつゝあり帝國議會の内部、その機構分子の素質改造は眞に刻下の急務である。大東亞戰爭は世界の人類史初つて以來の大戦争であると共に我が日本帝國の陸海空軍の擧げたる戦果は實に文字通り百戰百勝、しかも其の戦域は全地球上を掩ひ、皇軍の進む處悉く八紘の民は摺伏し肇國の大理想は今日成就を見つゝある秋、軍人精神を以て大政翼賛の一兵卒として御奉公申上げねばならぬ。

熊本縣第一區選出
從三位勳二等會社々長

松 野 鶴 平

芝區三田臺町二ノ八
電三田一〇八〇



略歴 明治十六年十二月熊本縣菊池郡城北村ニ生ル○朝鮮紡織、滿洲製麻、鯛生金山、日本電報通信社各取締役、菊池電氣軌道會社々長、内務政務次官、鐵道大臣、瓦斯事業、保健衛生調査會、阿片ノ外各種委員會委員被仰付、翼賛政治會總務、翼政會評議員、政調鐵道委員ニ指命サル○當選七回(14 16 17 18 19 20 21)

政見 政治の革正 曾て我が郷里の先覺者横井小楠先生が、「議論畢竟世に益なし」と喝破し當時の感情論行懸り論にこだわりたる學究的空理空論の無益なることを叱咤して進取改革の實學を強調されたのであるか味ふべき言葉であると思ふ。現下日本は大東亞新秩序を建設し肇國の大理想を顯現せんとする千載一遇の秋にあるのである。率直に申せば從來政治の貧困、政治の缺陷と言ふべきものがあつたのであるが昨年十二月八日と言ふ日は總べての國內情勢を超克して渾然一丸一億國民の眼の玉が唯一點に力注せしめられた日であつて、この日こそ眞に偏倚せざる全體的の意圖が政治の革正の上に織り成さるべき時であつたのである。政治の革正は申すまでもなく政治の弊害の改革ばかりでなく又國策運施の刷新のみでなく我國體の根髓に遡つて政治復源を行ふにありと考へる。今日の狂瀾怒濤の如き時局に當面しながら舊き組織に泥み現狀に固着して偷安姑息の消極的態度を持する如きは物の間に合はぬと思ふ斷乎維新的創建の積極性が要求されるのである

福岡縣第三區選出
土木組合長

松 延 彌 三 郎

福岡縣八女郡福岡町大字本
町一五五ノ一 電福島五四
杉並區馬橋三ノ三六九 松
延文太方 電中野二五九七



略歴 明治二十六年福岡縣ニ生ル、東京帝國大學政治科卒業
○三井物産入社、大正十三年東京市主事就任、松延製粉會社取
締役、福岡縣會議員ニ當選四回、此間二回參事會々員、鐵道大
臣官房事務囑託、福岡バス代表取締役、大政翼賛會縣協力會議
員、福岡町外十二町村土木組合長、福岡縣農工品卸商業組合理
事長、八女郡翼壯團長、翼政會政調鐵道、大藏兼務委員ニ指命
サル○當選一回(21)

政見 將來我が大日本國を親柱として滿洲國、蒙古、北中南

支、佛印、泰、ビルマ、マレー、東印度、比律賓、ニューギニ
アの一大廣域に互つて赫々たる大戦果に適應する一大建設戰が
展開せられねばならぬのでありまして、この責務は我々一億國
民全部の双肩にかゝることを確く覺悟せねばなりません。此の
有史以來の大建設戰を開始するに當りまして先づ何よりも軍官
民一致、一億一心の翼賛政治新體制が大東亞の親柱たる皇國大
日本において實現せられねばならぬと信じます。これにはわが憲法による合法的にして唯一つの上意
下達下情上通の機關でありますところの役割を果し得る議會が構成されなければなりません。清新に
して強大なる翼賛議會こそ軍官民一致一億一心の翼賛政治體制の中核を爲すものであつて大東亞戰の
歴史的建設事業を完遂するためにかゝる政治體制の確立が必須の要件となつて來るのであります。

滋賀縣選出
從六位縣農會長

松 原 五 百 藏

大津市東浦大石組六七
本郷區新岡町七 山添
寛四郎方 電小石川一
〇〇八



略歴 明治二十二年滋賀縣蒲生郡金田村ニ生ル、中學ヲ中退
○少壯郷治ニ志シ一時官途ニツキタルモ辭シ村長、青年團長、
郡農會長ニ就任ス、大正五年九月再ヒ官途ニ復シ、内務省囑託
郡長、縣理事官ニ歷任ス、滋賀縣農會長、同乳牛畜産會長、同
農業保險組合聯合會長、養蠶組合聯合會長、大政翼賛會、翼賛
壯年團各支部顧問、翼政會政調内務、農林兼務委員ニ指命サル
○當選一回(21)

政見 政治につくすには地方にあつて農村や農業に關係した

仕事にはげんで地方自治の振興に努力すること、中央に出て
國全體の政治のことを考へる二つの方法があります。私は多年
地方にあつて御國のためにつくすと言ふ途を選んだのでありま
す。それは實は多くの人材が中央に集中する傾向があり、地方
には、とかく人材が拂底するのに悩み勝ちであつたからであり
ます。然して議會の行方や政黨の動きが私の氣持ちとつくり
一致しなかつたので地方にあつて實質的に仕事をやつて來たのであります。如何なる時流に際しても微動だもしない堅實さが具つてゐ
たと深く信じてゐます。然し大東亞戰爭を機會に日本の政治の様子も一變致しました。政治も日本の
姿である翼賛政治に歸つたのであります。

富山縣第二區選出
正五位勳三等農業
松村謙三
小石川區大塚坂下町
九一 電大塚三三六



略歴 明治十六年一月富山縣西礪波郡福光町ニ生ル、早稻田大學政治經濟科卒業○報知新聞記者トナル、又富山縣會議員ニ選ハル、農林大臣秘書官、農林參與官ニ任セラル、米穀委員會米穀統制調査會臨時、米穀統制委員會、農村經濟更生中央委員會、資源審議會、貴族院制度調査會、北支那開發株式會社及中支那振興株式會社設立各委員被仰付、翼政會評議員、政調陸軍委員長ニ指命サル○當選六回(16 17 18 19 20 21)

政見 凡そ、形を整ふるは易く、心を攪るは難し、政治の要諦は、國民の心を攪るにありて、その形式ではない。今日國運進展の秋、國民の退嬰、懈怠を許さない。其全智全能を傾けて、これを國家の爲めに傾注せしめねばならぬ。世間の風波、起きては復た伏す、眼前去來する光景、多く意とするに足らぬ唯 明治天皇の 皇宗 皇祖の遺訓を紹述して、欽定し給へる

帝國憲法の嚴として存するあり、其運用は時運と共に宜しきに從ふを要すと雖も其根本の大義は、炳乎として紊るを許さぬ、今日國家の隆昌、繋りて、立憲政治に依る處、絶大なるを考へねばならぬ、將來大東亞の經營も亦基調をこゝに置くを要する。私は身を以て憲政に竭し、國民と共に、大政を翼賛して 皇謨を恢弘する覺悟である。

栃木縣第二區選出
正五位勳三等會社重役

松村光三

澁谷區鉢山町三九
電澁谷一九三五



略歴 明治十五年十二月栃木縣下都賀郡栃木町ニ生ル、東京高等商業學校專攻科卒業後伯林ニ留學經濟學ヲ修ム「貨金論」其他數種ノ著書アリ○古河合名會社參與、大日本人造肥料、旭電化工業、八戸水力電氣各株式會社監查役、日光登山鐵道取締役、又内務省健康保險第二次審査員、協調會社會政策學院講師社會政策學會員、日本會計學會評議員、南洋、支那及歐米各國ヲ歴遊ス、商工參與官ニ被任、度量衡制度調査會、統制委員會貿易審議會等各種ノ委員被仰付、大藏省委員被仰付、翼政會政調大藏委員長、行政事務簡素化特別委員に指命サル○當選六回(16 17 18 19 20 21)

政見 戰爭完遂と共榮國建設の爲め、内外生産力を重點主義に由て擴充するの必要が愈々痛切となり、第二次物動計畫が雄大なる構想の下に練られ、物資、勞力の綜合的活用は益々強化され、生産、配給、消費は各種統制會及物資管理營團を中核體として、強大の權限に由る最高の生産能率を擧ぐることとなり、就中造船業の發展強化は、啻に焦眉の急務たるのみならず、將來世界の水域を支配すべき我基本の國策として、最も絶叫せらるゝ所となつた。他方に産業設備營團を活用して劣弱企業の整備を強化し、殊に中小商工業の整理統合は時局の齎せるやむなき政策であるが、要は審さに其實情を考慮し、慎重に之を指導し、其救済に向つては遺憾なき對策を期せねばならぬ。

長野縣第一區選出
從四位勳三等著述業

松本 忠雄

麴町區九ノ内仲通三號館
電丸ノ内三六〇〇



略歴 明治二十年七月長野縣上水内郡北小川村ニ生ル、東亞同文書院卒業○やまと新聞記者トナル、内閣總理大臣祕書官、外務參與官、同政務次官ニ任セラル、又東京市助役トナル、法制審議會臨時、選舉制度調査會、貴族院制度調査會、對支文化事業調査會、阿片委員會ソノ他ノ委員會委員被仰付、第二十五回列國議院同盟會議ニ參列歐米各國ヲ視察ス、外務省委員被仰付、翼政會政調外務委員ニ指命サル○當選七回(15 16 17 18 19 20 21)

政見 新東亞の建設は其巨歩を踏み出して居る。私共現代に生をうけて、此世界歴史上に於る、空前にして絶後とも云ふべき、皇軍の大勝を目のあたりに見、新しき大東亞の建設を現實に體驗し得ることは、何たる歡びであり、光榮であり、仕合せであらうか。

然し私共は、袖手傍觀して、獨り此光榮と歡喜とに均霑して居つたのでは相濟まぬ。各其分に應じ其職域に従つて、此偉大なる事業に、寄與貢獻するの責務を分たなければならぬ。私は政府の要請に應へて、自ら大東亞建設に、一身を捧げて、眞劍に協力する覺悟である。

福岡縣第一區選出
土木建築請負業

松本 治一郎

赤坂區田町一ノ一〇
電赤坂二三六〇
福岡市馬出町



略歴 明治二十年六月福井市ニ生ル、山東省に歴遊語學ヲ修ム○福岡市堅粕消防組頭トナル、部落民解放運動ニ參加ス、全國水平社執行委員長、中央委員會議長、滿洲及支那山東省地方ヲ視察ス、商工省委員被仰付、翼政會政調商工、厚生兼務委員ニ指命サル○當選三回(19 20 21)

政見 現下の我國の至上要請である高度國防國家完成のための絶對要件たる「勤勞國家體制の確立」とは「仕事のために汗を流し」軍官民各々のその職域において一層最善の努力を捧げて行くこととあります。「人のために涙を流せ」とは私を滅して國家の大業を完成するため血の出る如き銃後の努力を果す國民の生活問題、即ち戰時社會政策の徹底を意味します。「御國のために血を流せ」とは一死君國に奉ずる大政翼賛、臣道實踐の決意を披瀝したものであります。大東亞戰完遂と言ふ未曾有の時局に際會して誰れか國に殉ずる決意を有しないものがあるませう。以上述べましたことは眞實の翼賛議會確立に挺身致す私の旗印であります。不肖ながら政治の革新を志すものとして國體精神を奉持し積極的に建設的な立場より全體としての政治の強化と調和とを圖ることを目標として邁進し職分を全ふしたいと思ひます、徒らに時局に便乘し權力の庇護をたのんで一時的の旗上げをなす如きは政治革新者の採るべき道でありませぬ。

翼賛議員銘鑑(まノ部)

和歌山縣第一區選出
正五位勳三等會社重役

松山常次郎
澁谷區千駄ヶ谷五ノ八
三五 電四谷七六一〇



略歴 明治十七年三月和歌山縣伊都郡九度山町ニ生ル、東京帝國大學工科大學卒業、後米國ニ於テ橋梁學ヲ研究ス○東京府土木課員トナル、陸軍工兵少尉ニ任セラル、川佐農場及大正水利組合技師長トナル、黄海社及南海拓殖會社、鮮滿開拓會社ヲ創立シ開墾水利事業ニ従事ス、外務參與官、海軍政務次官ニ被任、宗教制度調査會、對支文化事業調査會各委員被仰付、皇軍慰問ノ爲滿洲及支那ニ派遣セラル、内閣技術院委員被仰付、翼政會政調外務、農林兼務委員ニ指命サル○當選七回(14 15 17 18 19 20 21)

政見 近時帝國憲法に對する認識を一般に新にすると共に議會政治の重要性が確認せらるゝ様になつた。是に於て議員といふ位置の重要性が再認識せらるゝ事となつたのである。近頃選舉法改正が論ぜられ、又候補者推薦制度の實施せられた等は議員の位置に對する重要視の結果なりと見るべきである。この意味に於て一部識者が議員内容の改良に乘出した事に意義がある。國家の政治を行ふ憲法上の機關は内閣と議會とである。更に嚴密に云ふならば國務大臣と議員とだけが國家の政治を取り行ふ要素である。

今や大東亞戰爭の最中である。此時に當りては、第一、大東亞戰爭の完遂 第二、學國一致態勢の整備 第三、東亞共榮圈の確立 第四、高度國防國家の建設 を行はねばならぬ。

青森縣第一區選出
從四位勳三等

三浦一雄

黒區三田二〇五
大崎三九二八



略歴

明治二十八年青森縣三戸郡五戸町ニ生ル、東京帝國大學法科大學卒業○農商務省山林局奉職、青森及熊本營林局事務官、農林省畜産局事務官、農林大臣官房書記官、畜産局畜政課長、山林局監理課長、經濟更生部總務課長、企畫院調査官、企畫院第四部長、農林次官ヲ拜命、内閣委員被仰付、翼政會企畫部長、政調理事、議院協議會協議員ニ指命サル○當選一回(21)

政見

大東亞戰爭下に於ける農林、經濟政策の重點は國民食糧を初め必需物資の確保、農山漁村の維持發展並に東亞共榮圈内に於ける經濟産業の調整の三點にあると存じます。食糧問題は總力戰の勝敗の鍵とも申しませう。今日の戰果によつて南方資源が確保され、長期戰に於て食糧に不安なしの觀念を益々的確ならしめました。又一面南方資源の豊富なることが却つて日本農村に壓迫を加へる結果となりはしないかとの杞憂を抱く方もあるやに聞きます。然し米麥や諸類の如き主要食糧は日滿を通じて自給自足することが大切でありますから將來益々増産に努めることが必要であります。それには肥料並に生産資材の確保が先決問題であります。同様に水産業、畜産業、林産業の一層の發展を圖り必需物資の確保とこれが産出に從事する人々の經濟的向上が必要で、殊に馬産は前線に重要な機動力を供給し、銃後産業にも亦不可欠な動力であるから今後一層良馬増産と品種の改良を圖らねばなりません。

翼賛議員銘鑑(みノ部)

翼賛議員銘鑑(みノ部)

三九六

宮崎縣選出
正五位勳三等
三 浦 虎 雄
澁谷區幡ヶ谷本町一ノ
四七 電四谷五三三八
延岡市岡富甲三八九五



略歴 明治十六年五月東京市ニ生ル、京都帝國大學政治學科卒業○海軍主計中佐ニ任セラル、日獨戦争、尼港事變ニ從軍ス横濱市隣保館長、厚生政務次官、延岡市名譽市長ニ選ハル、衆議院ヲ代表シテ國際議員會議、國際商事會議ニ出席ス、社會事業視察ノタメ世界各國ニ出張ヲ命セラル、支那事變ニ際シ皇軍慰問ノタメ北支ヘ派遣サル、中央社會事業委員會委員等各種委員被仰付、翼政會政調海軍委員ニ指命サル○當選五回(16 17 19 20 21)

政見 國論は歸一せり 今や米英との開戦を劃して國論は歸一したのである。生活には統一ある計畫性が附與されて、始めて此處に資本主義時代の勞力消費、動力の無駄が排除せられ、勞力資材動力をあげて戦時下の急速を要する軍需産業に振向けられた。又社會不安を一掃する貧富の差別なき國民生活の水準が生れた。貧富に拘らず、衣服は年百點以内、食は米を作る農村人と言へども配給規定量以外の消費は許されない、住居は三十二坪二合五勺以上は許可を必要とする金融は國家の許可を必要とするに至つた。支那事變五年にして國內體制は一應軌道に乗つたのである。今後に残されたる問題は、之を運用する人の問題であつて、國民の生活の安定と思想の安定を謀りて、社會不安の發生を防止することに在る、更らに東亞の諸民族を率ゐて起つにふさはしき國民性を涵養するにある。

德島縣第二區選出
富士造機社長

三 木 武 夫
豊島區目白町二ノ一六
五三 電牛込七〇八八



略歴 明治四十年三月德島縣板野郡御所村ニ生ル、明治大學法科商科ヲ卒業、米國ニ留學シ、カリフォルニア州アメリカン大學ヲ卒業ス○歐米各國ノ政治並經濟事業ヲ視察シ、支那事變ニ際シテ皇軍慰問ノ爲北支那ヘ派遣セラル、商工省委員被仰付翼政會政調幹事、外務委員ニ指命サル○當選二回(20 21)

政見 大東亞戦争の完遂、八紘爲宇的世界經綸の斷行は一億一心に凝結した現今政治の根本義であります事は最早是非の論はありません。輝しき戦果の下共榮圏域は明確となつて來たが此の偉大なる軍功に追隨して南方圏の經營は吾が道義的民族有史以來の試金石と存じます。戦争は益々相互國家の總力長期戦となりましたから日本としては廣く大東亞圈内の人的物的資源を含めた内外諸機構の整備統一強化は一層高度化されねばなりません。臨戦態勢から決戦體制へ、之れあつて我々は米英の呼號する所謂長期經濟戦なるものに絶對的優位を占め得ることが出來ると信じます。

近來翼賛と言ふ事が言はれて居りますが之は皇國民のみの誇有する世界無比の臣道倫理でありまして即ち國體の精華であります。翼賛精神の振起と徹底とは今後益々盛んならしめねばならぬのであります。今日政黨は解消したとは言へ議會は無爲消極であります。が議會もよく政府の意を體して眞實翼賛の實を擧げねばならぬと信じます。

翼賛議員銘鑑(みノ部)

三九七

香川縣第一區選出
前報知新聞社長

三 木 武 吉

牛込區若松町一四
電牛込二〇〇四



略歴 明治十七年八月高松市ニ生ル、早大法科卒業、判檢事
登用試験ニ合格、司法官試補ヲ命セラル、辯護士トナル、牛込
區會議員、東京市會議員、帝都復興院評議員ニ擧ケラル、大藏
參與官ニ任セラル、支那、滿洲方面ヲ視察シ、丁抹開催ノ列國
議員同盟會議ニ參列シ更ニ佛國開催ノ同會議ニハ議員團長トシ
テ出席ス、報知新聞社長タリ、内閣情報局委員被仰付、翼政會
政調内閣委員ニ指命サル○當選七回(13 14 15 16 17 18 21)

政見 大東亞戰爭遂行のためには武力戰と政治戰、つまり戰
略と建設の二つが恰も車の兩輪の如く併行して進まねばならぬ
然るに軍事行動の方は皇軍將兵の勇戰敢闘に依つて多大の戰果
を收めたに拘らず一方政治の中核體たるべき議會が貧弱では國
民に對して又前線の勇士に對しても申譯なき次第である。議會
がかくも低調無氣力であつたかと言へば之は組織に非ずして實
は人にあつたのである。議會を構成してゐる人がよく時代を洞察し、明敏なる卓見を有したならば臨
機應變いかなる事態にも即應することが出来るのである。中には有能なる智識を持つたものもあるが
所謂インテリで勇敢に戰ふ勇氣の無い人々であつた。大東亞戰爭遂行にふさはしい政治を建設するた
めには民間から有力なる識者が登場せねばならぬ、人の心を掴むことは政治の要諦である。自分勝手
の考へを強行するは獨善で獨善は離反と摩擦を生ずるが故に此處に政治家の重大なる使命がある。

德島縣第二區選出
會社重役

三 木 與 吉 郎

日本橋區江戸橋三ノ七
電日本橋三二〇六
德島縣板野郡松茂村中喜
來字中須二



略歴 明治三十五年十二月德島縣板野郡松茂村ニ生ル、慶應
義塾高等部ヲ卒業○日本合成染料、石原精工、維新化學工業、
三木商店、大阪化工、阿波製紙、大明化學工業、西原商事、滿
洲西原商事、滿洲三木商店、等ノ各會社取締役ニシテ德島縣柔
道有段者會々長、松茂村尙武團長、翼政會政調農林委員、商工
兼務委員ニ指命サル○當選一回(21)

政見 大東亞戰爭の勃發以來政府において國內體制の整備強
化を圖り着々實踐して居る、即ち産業經濟の再編成、中小商工
業者の編改も斷行され、戰時食糧の確保についても夫々の政策
が鋭意努力せられてゐる、以上の如く我國防國家體制の經濟的
基礎は既に確立して居るものと見て良いのであるが、この新經
濟體制の下に更に強力なる政治體制の確立が強く要請される、
大東亞戰下全國民を政治的に指導し動員する政治體制のみは現
下の時局に相應せぬ形態のまま取殘されてゐる憾みがある、斯
くては將來において大東亞戰爭を完遂し東亞共榮圈を建設して行く重大使命達成にいさゝか缺くる處
がありこれでは幾多の異民族を一丸とする東亞十億の共榮圈確立も至難となる、此の意味において先
づ日本國內の政治體制を改編整備強化し以て天業翼賛の實を擧げねばならぬと思ひます、要するに政
治力の強化は刻下の急務であり翼賛政治體制の確立翼賛議會の建設にあると信ずるものであります。

翼賛議員銘鑑（み／＼部）

四〇〇

岐阜縣第二區選出
著述業

三 田村武夫

王子區岩淵二ノ二〇九
電赤羽二九三七



略歴 明治三十二年六月岐阜縣揖斐郡川合村ニ生ル、内務省警察講習所卒業「社會運動概説批判取締」「警察強化の研究」「非常時讀本」「皇道維新綱領」「時局國民讀本」其他數種ノ著書アリ○岐阜縣巡查、同警部補、内務屬、拓務屬ニ歴任、東方會宣傳組織部長、同岐阜縣支部長、翼政會政調海軍、内務兼務委員ニ指命サル○當選二回（2021）

政見 政治は生きものである。生きた政治は、役所の机の上にはない。政治の基礎は國民の上にある。従つて國民生活を離れて政治はない。生きた政治は國民の中にある。全國民の愛國心を揺ぶり動かすやうな政治を建設せよ。

國力の源泉は國民にある。不平も、不満も、不心得者も出ない仁愛政治を確立せよ。國民の不健全なる姿は完全なる國防國家體制ではない。國民を警戒せずして國民を信頼せよ。法律萬能の温みなきかさ／＼の政治は、國民の活力を減殺する。眞に強力なる國民的政治は、下から築き上げよ。お役所的に、上から作つたものには魂が入らないものは力にならない。國民の信頼せざるところに、眞の強力なる國民的政治力は生れない。政治家は、自ら艱難の先に起て、犠牲の先頭に起て、大東亞戦争下の今日誰でも國家のためなら命もいらぬと言ふ。しかし口で言ふことは簡單だが、やるかやらぬか問題である。言行一致は政治家の生命である。

新潟縣第三區選出
著述業

三 宅正一

府下武藏野吉祥寺町二八
三一 電吉祥寺一二五五
長岡市玉藏院九二五



略歴 明治三十三年十一月岐阜縣惠那郡靜波村ニ生ル、早稻田大學政治經濟學部卒業「青年運動論」「電氣料はいくらが正當か」「農民辭典」「木崎争議の真相」ノ著書アリ○農民組合運動ニ従事シ新潟縣ニ駐在ス、長岡市會議員ニ選ハル、醫役制度調査會委員被仰付、支那事變ニ際シ皇軍慰問ノ爲北支那へ派遣セラル、厚生省委員被仰付、翼政會政調、厚生、内閣兼務委員ニ指命サル○當選三回（192021）

政見 戦争遂行のための最大要件は

（一）軍需品及び食糧等生産力の増進
（二）國民をして安んじて職務に奉公せしむるための國民生活の保證

（三）長期の困難を意とせず必勝不敗の信念を培ふ國民志氣の昂揚にあります

さらに日本が東亞の指導國家として、東亞十億の臣を率ひて逞しき建設を行はんとするには、東亞共榮圈領域の劃定に従つて、國防資源の確保、民族政策の確立共榮圈經濟體制の樹立を圖らねばなりません。無敵皇軍の進撃するところ、印度洋は完全に我が制壓下におかれ、濠洲また早くも皇軍の威武に懾伏せんとするとき、國內における強力政治體制の確立にしてこれに伴はなければならぬのであります。

翼賛議員銘鑑（み／＼部）

四〇一

鳥取縣選出
正五位勳四等會社重役
三 好 英 之
大森區北千束町七九六
電荏原二三一三



略歴 明治十八年八月米子市ニ生ル、早稻田大學政治經濟科卒業○山陰實業銀行頭取、内國通運、山陰水力電氣株式會社各取締役、山陰日日新聞ヲ創設シ社長タリ、國際觀光委員會、臨時電氣調査委員會委員被仰付、滿ソ國境方面ヲ視察ス、陸軍政務次官タリシコトアリ、大政翼賛會中央協力會議議員、商工省委員被仰付、翼政會事務局參與、政調連絡、商工委員、議院協議會協議員ニ指命サル○當選六回(15 16 17 19 20 21)

政見 翼賛政治の諸方策 第一は大東亞戰爭の崇高なる大眼目に徹底し必勝の士氣を昂揚するにある。即ち大東亞戰爭は從來の戰爭意識とはその目的を異にして歐米流の帝國主義的意識に依るものにはあらずして、大東亞圈内の諸民族の獨立を認め之を指導して東亞共榮の實を擧げんとすることが目的である。

日本國民は世界をして日本のこの眞意を知らしめて最後の目的を達成せしむば止まざるの覺悟を持たねばならぬ。第二は戦力の擴充であるが米英が戰爭資源を失つたに反し日本は南方資源を獲得したのであるから國民は油斷なく戰爭力のあらゆる擴充と強化に努力せねばならぬ。第三は經濟戰に勝ち抜くことであるが米英は經濟戰長期戰を展開して來ることは明かであるからこの經濟戰にも打勝たねばならぬ。第四は思想戰についても米英側の謀略を打破して今次大東亞戰爭の最後の勝利を期すべきである。

熊本縣第二區選出
從七位勳三等農業者

三 善 信 房

一 澁谷區千駄ヶ谷三ノ五〇
電青山八二四〇熊
本市出水町熊本一九四〇



略歴 明治十五年五月熊本縣益城郡六嘉村ニ生ル、熊本中學卒業○陸軍歩兵中尉、熊本縣會議員當選三回、同參事會員、同畜産組合聯合會長、九州畜産會長、帝國馬匹協會理事、中央畜産會理事タリ、社會事業調査會委員、日本競馬會設立委員ヲ命セラル、馬政調査會外各種委員被仰付、大政翼賛會縣支部顧問翼政會政調厚生委員長ニ指命サル○當選四回(18 19 20 21)

政見 大東亞戰爭と食糧問題について考察する時その重要性を痛感するものである。幸ひ赫々たる戦果により豊富なる南方資源を我が手中に握ることが出来たので戦時食糧の基礎は益々強化され戰爭が永續しても食糧の不安は絶對にない。然し永久的政策としては主要食糧は之を南方に依存することなく内外地を通ずる日本帝國内に於て自給自足を原則として國內食糧政策を樹立されねばならぬ。植民地を澤山持つて居ながら國內の食糧自給の出来ない米英が如何に苦腦を経験してゐるかを見て他山の石とすべきである。農村は國民生活必需品の食糧品の給源であるばかりでなく、實に民族育成の温床である、殊に日本の農業は悉く世襲的家族的の業務であり祖先を祭り忠勇愛國の精神の下に大和魂を養ひ一朝有事の際は 陛下の御爲めに御奉公申上げる心身強健なる人的資源を涵養する大和民族の源泉である現在赫々たる戦果を擧げつゝある陸海軍將兵の多くが農村出身者であること丈けを見ても農村の重要さが理解できると思ふ。

翼賛議員銘鑑(みノ部)

四〇四

福岡縣第二區選出
天關打開期成會主宰

滿井佐吉

世田ヶ谷區羽根木町一八
六三 電松澤四二六〇



略歴 明治二十六年五月福岡縣小倉市字横代ニ生ル、陸軍幼年學校士官學校陸軍大學ヲ卒業○陸軍省、參謀本部ニ服務ノ後少佐時代獨逸ニ滿二ヶ年留學シ國防、軍事、政治經濟ヲ研究特ニ獨逸ナチス運動ト獨逸國民氣魄ノ興隆ヲ觀察シテ歸朝ス、當時滿洲事變ト上海事變直後ハ久留米歩兵大隊長ノ現職ニ在リ一ヶ年間ニ八十三回ノ國防講演ヲ行ヒ、極東大戰ノ緊迫ヲ警告シ近代の學國一致體制ノ急ヲ國民ニ呼掛ケ天下ニ注目サル、陸軍省新聞班、陸大教官ニ轉シ永田事件ニ關スル相澤中佐ノ特別辯護中二・二六事件突發シ禁錮三年ノ刑ヲ受ケ、出獄後ハ天關打開期成會ニ據リ一大愛國運動ヲ展開シタ。後同會ヲ改組思想團體天關期成會トシテコレヲ主宰ス、内閣企畫院委員被仰付、翼政會事務局參與、政調内閣、商工兼務委員ニ指命サル○當選一回(21)

政見 一、傷痍軍人をもつと優遇したい。一、出征兵士の家族の職場と臺所を守りたい。一、農村が食へるやうにしたい。一、下級官吏、教員、下級會社員等が食へるやうにしたい。一、中小工業者に暮らせる職場を與へたい。一、惟神の大道を中外に顯揚し正しい日本文化を立てたい。一、大東亞戰爭を完遂し八紘一字を完成したい。一、國民の心や氣持ちを生かす經濟を打ち立てたい。

京都府第一區選出
辯護士

水谷長三郎

麴町區一番町四ノ三
電九段一九三〇
京都市東山區川端四
條下ル



略歴 明治三十年十一月京都市ニ生ル、京都帝國大學法學部卒業直ニ經濟學部大學院ニ入學シ約三箇年經濟學ヲ研究ス「法廷に於ける小作爭議」等ノ著書及翻譯書アリ○大原社會問題研究所囑託、立命館大學講師トナル、第三十三回列國議會同盟會議ニ參列シ歐米各國ヲ視察ス、京都市會議員ニ選ハル、翼政會政調司法、大藏兼務委員指命○當選四回(16 19 20 21)

政見 先づ私共の生活に最も手近なる「仕事のために汗を流せ」とは、各人互に其の持場に於て、前線將兵の心を心とし、額に汗をながして、勤勞を以て國家に御奉公する建前を確立することでありませぬ。斯くしてこそ、我國の至上命令である高度國防國家は完成されるのであります。「人のためには涙をながせ」とは、戦時下に於ける國民の生活問題、戦時社會政策の擴張を意味するものであります。即ち戦時下に於ける國民の最低生活の確保に就いては、政府も官吏も政治家も涙ある親心を以て最善の努力を盡すべしといふのであります。最後にも「皇國の爲に血をながせ」とは現下日本國民たるもの一人残らず老若男女、前線銃後の區別なく、皆一様に心すべきであります。今更ら説明の要はありません、即ち私共は大政翼賛、臣道實踐をとほし、大東亞戰爭完遂に盡忠報國の誠を致すこととあります。

翼賛議員銘鑑(みノ部)

四〇五

翼賛議員銘鑑(みノ部)

四〇六

兵庫縣第二區選出
正六位勳四等功五級辯護士

南 鉄 太 郎

在原區豊町一ノ一二一
二電在原二三五〇
大阪市北區會根崎中二
ノ四〇 電北一六四



略歴 明治二十年三月兵庫縣三原郡賀集村ニ生ル、東京帝國大學法科卒業、更ニ同大學院ヲ修學ス○海軍主計ニ任官シ累進シテ海軍主計少佐トナル、後辯護士ヲ開業ス、東洋協會、南洋協會、有終會、大洋會、經國聯盟、恢弘會等ニ關係ス、東京辯護士會常議員、日本辯護士協會理事、司法省委員被仰付、翼政會政調海軍、遞信兼務委員ニ指命サル○當選一回(21)

政見 今日まで進言したる論策 滿洲國の治外法權撤廢と裁判用語、我國人口問題と滿洲移民、法幣流通禁止の急務、抗日政權の餘命保存の效用、經濟國策につき根本觀念の反省の點、支那の通貨に關する根本對策、司法制度改革私案、選舉肅正、現在の心境

民意を察して下情を上通し、官意を質して、上意を下達するの道を講じ議會を眞の萬民翼賛の實を擧ぐるの府たらしむること

一、先づ東亞共榮圈を確立し天業を現實に恢弘して全世界を八
絃爲宇の皇國に歸依せしめんとする。
一、政策政綱の羅列を止め専ら既定の國策に順應し機に臨み、變に應じて、創意を披瀝し、もつて當局の足らざる處を補ふの道を講ぜんとす。

埼玉縣第一區選出
正五位勳三等辯護士

宮

崎

一

浦和市高砂町一ノ一二
八 電浦和二六九



略歴 明治十九年十一月浦和市ニ生ル、東京帝國大學英法科卒業○辯護士ヲ開業シ現ニ其ノ業務ニ從事ス、曩ニ浦和町會議員、埼玉縣會議員、同議長、浦和辯護士會長ニ推薦セラル、支那事變ニ際シ皇軍慰問ノ爲北支那へ派遣セラル、司法省委員被仰付、翼政會政調陸軍、内務兼務委員タリ○當選四回(18 19 20 21)

政見 國力が國家目的の爲に集結し得る力であるとすれば、國力の盛んなる爲には其人口が多數たる事を要するは當然であります。而して其數多き人口がバラ／＼では強き國力とはなりません。支那や印度は其適例であります。然るに我日本民族は天祖一元より發展せる純血單一の生命體でありまして殆んど全國民がいざとなれば其儘其勤勞力を國家目的に結集し得る筈の國體であります。蘇聯や亞米利加は人口も多し資源も豊富ですけれども、其國民が幾多異なる人種より混成せられつゝある事に於て我日本とは全然異なるのであります。斯く考へ來たれば、日本の國力は世界無比の強さを有すべき條件を有する事は明々白々であります。然しながら此國民の勤勞力を其儘に無組織にいたしておいては日本と云へども強い國力とはならず、故に國力の創建と云ふ事が必要となるので有ります。

翼賛議員銘鑑(みノ部)

四〇七

廣島縣第三區選出
正五位勳三等大東文化學院教授

宮澤裕

大森區新井宿一ノ二三
三二 電大森二二六五



略歴 明治十七年一月廣島縣沼隈郡金江村ニ生ル、東京帝國大學法學部政治科卒業○長野縣屬、遞信大臣秘書官、内務大臣秘書官ニ任セラル、福島岩礦、東洋鐵鋼、大和サツシユ、大日本高粱酒、昭和商事、三木醬油、日東セメント等各會社取締役トナル、鐵道政務次官ニ被任、歐米支那滿洲ヲ視察ス、各種委員被仰付、上海皇軍慰問、大東文化學院教授「平易ナル思想論」外著書多數アリ、文部省委員被仰付、翼政會政調鐵道、大藏兼務委員ニ指命サル○當選六回(16 17 18 19 20 21)

政見 「御民われ生けるしあり天地の、榮ゆるときにあへらく思へば」この古歌の氣持ちを大東亞戰に際會してしみじみと感得する。眞に聖恩の有難さに感泣し、廣大無邊にして東亞十億の蒼生を露されんとする大御心の御仁慈を思念する時、私共は何事も忍んで一億一心となつて此の大東亞戰を成就しなければならぬ。今日各方面で言はれる如き物資の不足は凡そ戰爭途上にある國家は何れも經驗する處であつて日本は諸外國に比して物資の豊富な方である。

私共の終生の感激である眞珠灣特別攻撃隊九勇士の芳魂に對して眞に頭が下り敬仰措く能はざる處である。忠烈鬼神を泣かしむる決死の覺悟、深忱天地を動かしむる護國の精神に至つては肅然として襟を正さざるを得ない、これ日本武士道の精華であつて此の精神こそ眞實の皇國民の精神である。

京都府第三區選出
正五位勳四等農業

村上吉

牛込區矢來町二一 電牛込

一〇〇 京都府何鹿郡綾部町神宮寺

小字波リ畔 電綾部三二四



略歴 明治九年一月京都府何鹿郡吉美村ニ生ル、大阪府立農學校卒業○農事試験場技手、同場長、公立學校教諭、綾部町會議員、何鹿郡會議員、同議長、京都府會議員、同參事會員、又郡農會議員、同畜産組長、府農會議員、同議長、農林省囑託村上農園ヲ經營、國有財産調査會、米穀統制委員會等各委員被仰付、大政翼賛會京都府支部常務、翼政會政調農林、内務兼務委員ニ指命サル○當選六回(15 16 17 19 20 21)

政見 我國の様相は支那事變勃發以來の最近數年間に甚しく變化した。國民の精神氣分の變つたこと亦固よりであるが、尙未だ及ばざるものがある。翼賛議會の任務は政府を鞭撻して雄大高遠、世界指導の大經綸を行はしむると共に、國民をして進んで政府の經綸に協力せしめ、以て大東亞建設の大業完成を翼賛するに在りと信ずる。又衆議院議員の職責は議會の任務に膺ると共に國民の意思を體して下意上達に勵むべきは勿論、同時に強く國民を指導してその職域奉公、臣道の實踐に懈りなからしめんことを期すべきである。固く信念するものである。想ふに我國民は皇軍の赫々たる偉勳に對して齊しく心からの感激を覺へ深く應へんことを期してゐるが然らば如何にして之に應ふべきか曰く一億國民が各々その職域の奉公に専念し臣道實踐の誠を捧ぐるにありと吾々は率先躬行以てその職責の遂行に砥勵せんことを誓ふものである

翼賛議員銘鑑(むノ部)

石川縣第一區選出
辯護士

村澤義二郎

金澤市木ノ新保四番丁七
三ノ一三
神田區神保町一ノ一二
青山旅館 電神田五〇八



必ずや「清新強力なる翼賛議會」確立の爲めに勇往邁進致す覚悟であります。

四一〇

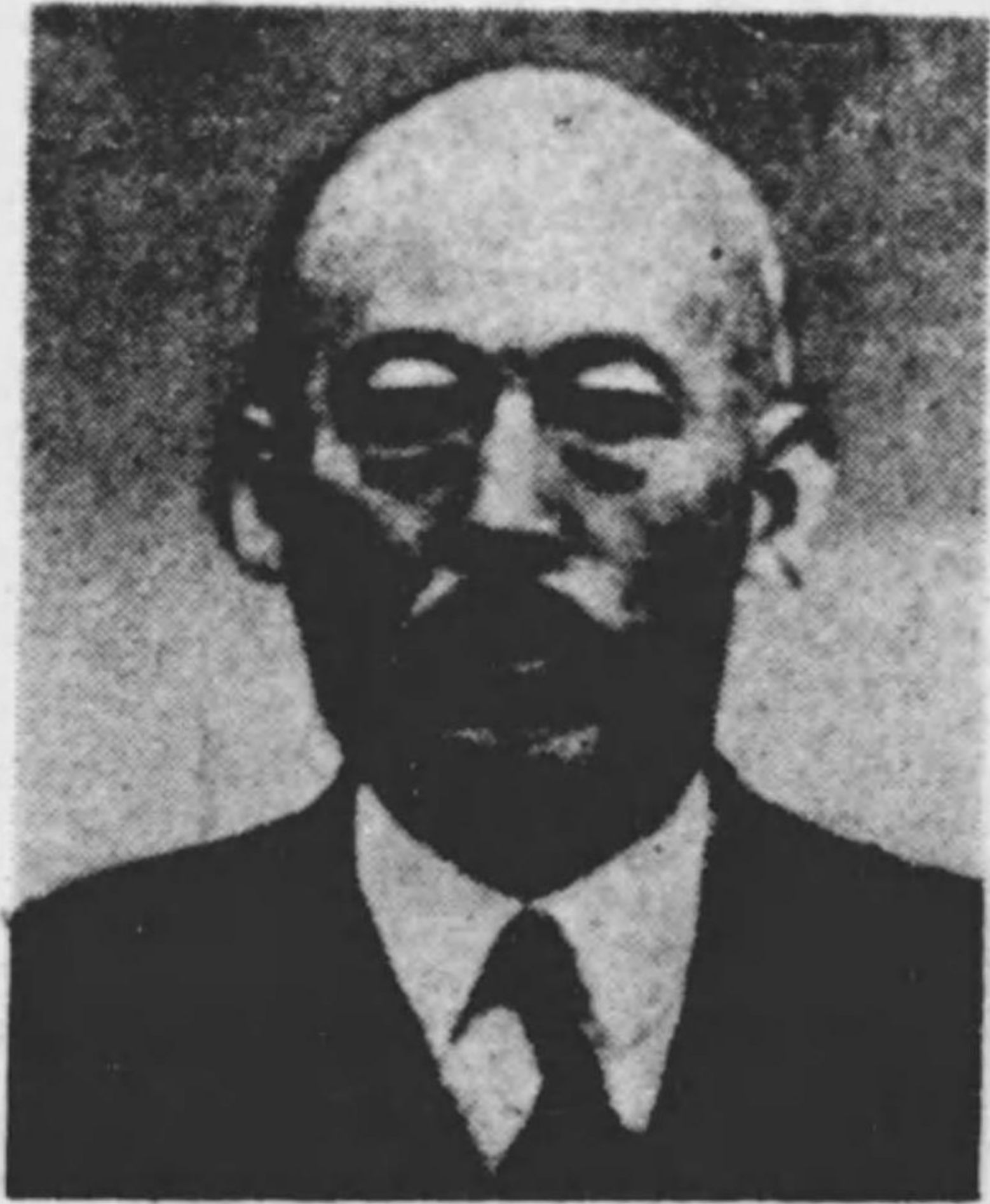
略歴 明治四十年三月石川縣ニ生ル、辯護士ヲ開業ス、翼賛
政治會政調司法、農林兼務委員ニ指命サル○當選一回(21)

政見 實に日本は今、從來の内治外交と云ふ形よりも、もつ
と雄大なる「大東亞に對する政治的指導」を行ひつゝあります
もう既に舊い政治觀念では間に合はぬ程時代は進んで居ります
御覽の様に、第一線はグン／＼と進みます。これと呼應して
政府は色々政治上の企畫と實踐を進めねばなりません。これが
爲めには新しい法律も必要でせう。豫算も必要でせう。制度の
改革も必要となります。議會はこれに協賛するのであります
が只漫然拍手して通すのではなくして、心から政府に協力し進ん
で卓拔なる工夫と研究を献策すると云ふ様にならねばなりません。
「強力なる議會をつくれ」重大なる聲であります。議員た
らん者の心魂に銘すべき聲であります。私は全國の同志と相呼
應し、祖國日本へつながらる私の感激をあふり、情熱を燃やし、

愛媛縣第二區選出
勳四等郡農會長

村瀬武男

杉並區高圓寺三ノ二一五
電中野五〇三〇
愛媛縣越智郡大井村大字
宮根甲



略歴 明治十二年五月愛媛縣越智郡大井村ニ生ル、廣島修道
學校卒業○日露戰役ニ出征、大井村助役、同村長ヲ多年ニ互リ
勤ム、愛媛縣會議員ニ屢々當選シ同副議長、議長ニ擧ケラル、
愛媛縣農會副會長、越智郡農會議員、同副會長、愛媛縣農會議
員、越智郡農會長等多數ノ公職ニアリ、翼政會政調大東亞、内
務兼務委員ニ指命サル○當選二回(20 21)

政見 昭和維新の斷行……すでに大東亞戰爭の結果我國は寒
帯、溫帯、熱帯に亘つて豊富なる資源を確保しつゝあります。
この大東亞共榮圈から長期戰を完遂するための戰爭資財と生産
資源とを適當に按配して移入し配分することに力を盡さねばな
りませぬ。この大資源を處理するためには日本國民はもつと氣
字を宏壯にし八紘爲宇の家族的國家觀に基づき大いに經綸を行
はねばなりません。足元を踏み固めて今日直面してゐる國難を
克服しなければなりません。それには國民が一致協力して恰
も先輩が明治維新を斷行した様に昭和維新を斷行せねばなりません。
亞戰爭は資源作戦の段階に入りました、南方資源地域は完全に日本の手中に歸し吾等は百年必勝不敗
の態勢成つた今日、獨伊樞軸國家と緊密に連絡し相呼應してロンドン、ワシントンで米英に城下の誓
ひをさせる事は決して難事ではありません世界の歴史は日本人の手に依つて新しく書かれてゐます。

翼賛議員銘鑑(むノ部)

四一一

翼賛議員銘鑑(むノ部)

四二二

宮城縣第二區選出
從七位勳三等辯護士
村松久義
目黒區上目黒五ノ二四
二三 電濠谷三〇七〇
仙臺市北三番丁



略歴 明治三十一年七月仙臺市ニ生ル、東京帝國大學法學部
經濟學部卒業○司法官試補ニ補セラル、檢事代理、名古屋地方
裁判所判事ニ任セラル、後辯護士ヲ開業シ其業務ニ従事ス、曩
ニ陸軍三等計手ニ任セラル、厚生省委員被仰付、翼政會政調厚
生委員ニ任命サル○當選四回(18 19 20 21)

政見 總力戦は國民の總力が結集されて、始めて可能である
ことは言を俟ちませんが、總力の結集が、どんな風にどこに結
集さるべきかといふことを解決することが問題の要點であると
存じます。この問題解決のために、不肖は、政府、國民、議會
の三位一體の政治體制の確立を圖りたいと存じます。御承知の
如く、大政翼賛會は政府と表裏一體として生れました。而して
大政翼賛會は國民組織の中核體であり、議會は國民代表の府で
あります。國民的基礎を同ふするといふ意味に於ては、議會と
大政翼賛會は、不二一體であります。表裏一體と不二一體との
繋りのうちに、政府、議會、大政翼賛會が、三位一體の新しい政治體制を確立する時に、國民と政治
の問題が解決することを信じて疑ひません。不肖は斯かる政治新體制が確立されて、以て大東亞戦争
を見事完遂さるゝ様、最大の努力を致したいと存じます。

大阪府第二區選出
正五位勳三等

紫安新九郎

赤坂區福吉町一ノ甲二
三 電赤坂三〇四八



略歴 明治六年八月兵庫縣城崎郡田鶴野村ニ生ル、早稻田大
學政治科卒業○鎮西日報主筆、萬朝報記者、後大阪市商工課長
同南區長ヲ被命、出羽石油、城東土地各株式會社取締役、又大
藏省副參政官、拓務政務次官ニ被任、宗教制度調査會、資源審
議會、預金部資金運用委員會、臨時關稅調查委員會、米穀調査
會、米穀統制委員會各委員被仰付、翼政會評議員、政調大東亞
委員ニ任命サル○當選十回(11 12 13 14 15 16 17 19 20 21)

政見 政治を行ふ方法には、いろいろあるも、政治は結局の
ところ仁愛の政治でなくてはならない。明治天皇を偲び奉る
と、その御製を拜見しても、如何にも仁愛の思召が溢れてあ
るの感に打たれる。今や世界は變革のなかに投ぜられ、轉換の
渦中にある。しかもこの變革は世界史的のものであり、この轉
換は世紀的のものである。日本はこの重大の時に於いて、曾つ
てなき重大の役割を自ら買つて出てゐる。ひとり日本みづからの運命を決定するのみならず、東亞諸
民族の死活を制しさらに世界史の動向を左右するカギを握つてゐる。局に當れる總理大臣を始め閣僚
諸君、その他官僚一般が兎や角と理窟をタテにしないで仁愛の政治を行ふといふ心掛を持つていた
きたい。そうすれば自然幅のある政治が行へる、濡ひのある政治ができる、そこに民族の發展がある
國家の興隆とは何ぞやといへばつまり民族の發展である、民族の興隆において國家の發展はない。

翼賛議員銘鑑(むノ部)

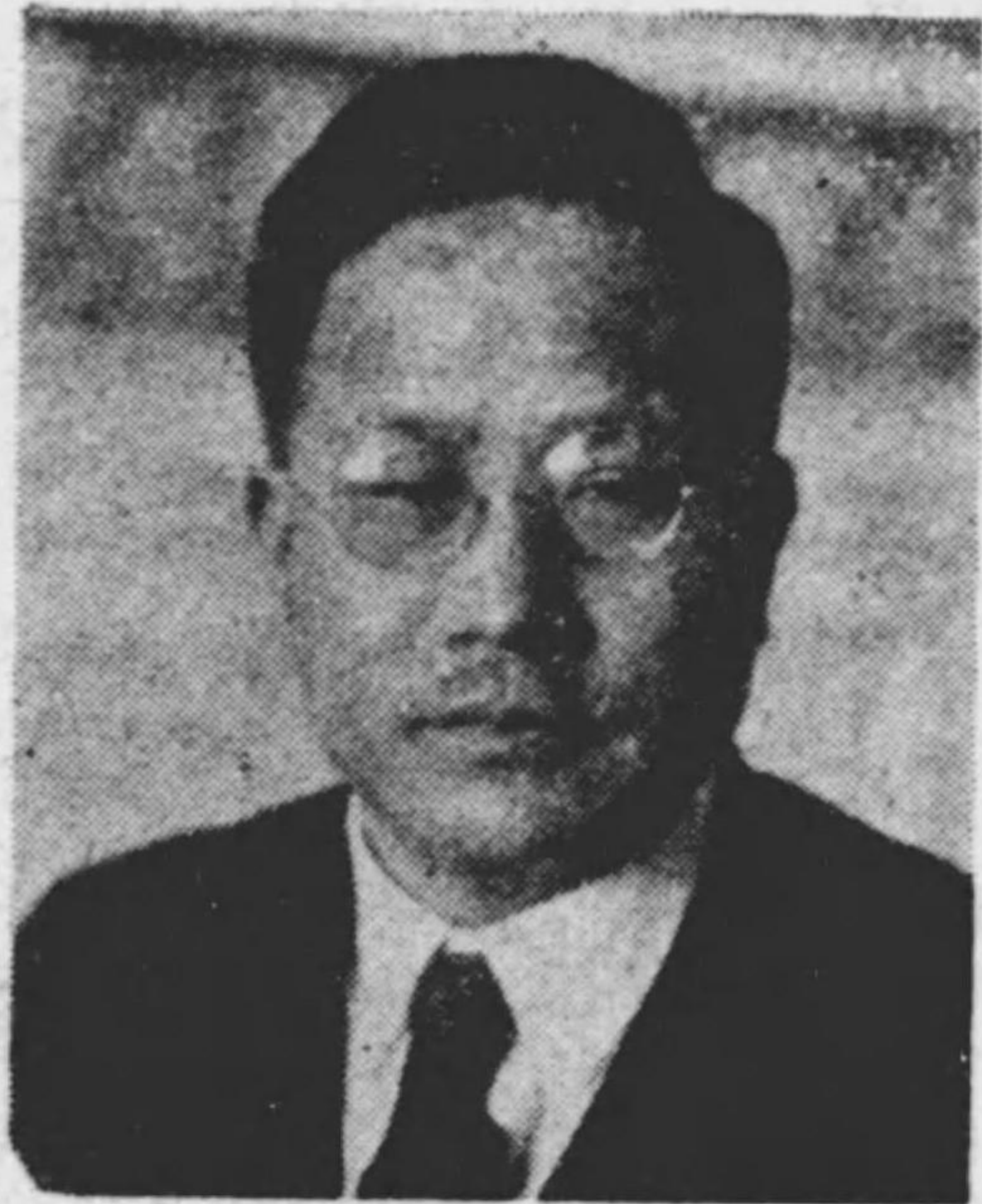
四一三

翼賛議員銘鑑(もノ部)

群馬縣第二區選出
著述業

最上政三

品川區大井龍王子町四四
三二 電大森六〇五〇



四一四

略歴 明治二十四年八月高崎市ニ生ル、中央大學法律科卒業
○萬朝報社ニ入社、日獨戰役ニ第三師團從軍記者トシテ西比利
亞ニ派遣サル、同社政治部長トナル、政治及經濟學研究ノ爲歐
米諸國ニ留學、著述業ニ従事ス、南洋方面ヲ視察ス、鐵道省委
員被仰付、翼政會政調遞信、大東亞兼務委員ニ指命サル○當選
四回(17 19 20 21)

政見 國內政治の要諦は物資の缺乏と勞力の不足を前提とし
て如何に之れを生産し、如何に之れを配分すべきかを考へ、最
小の犠牲に於て最大の効果を求めるにある。即ち軍需資材の確
保、生産力の擴充、食糧問題の解決、中小商工業者の對策、軍
事救護施設の完備等いろ／＼ある。食糧問題に就ては、我々は
當局を信頼して食糧の増産に努むると共に、消費の節約に協力
せねばならぬ。中小商工業者の整理方針に就ては、政府は之れによつて産業の合理的再編成を行ひ、
生産の昂揚と、物資配給の適正化を圖ると共に、その餘剩人員を以つて適材適職方面に轉業させ、生
産力の増強に資せんと企圖して居ります。この問題に就いては官民互に肚を割つて話し合ひ萬全の策
を講ずることこそ戦時下國民の爲すべき義務である。鈴木企畫院總裁は第七十九議會に於て、南方經
濟處理並にこれが開發方針を説明したが、それによるとこの方面に將來邦人の移住を見ることは明か
であり、南方開發と移住問題に就いては大いに研究し移住者のよき友たらんことを期して居る。

沖繩縣選出

桃原茂太

沖繩縣那覇市松山町一ノ
二 麴町區華町九ノ八 植木
屋旅館 電九段三六三三



略歴

明治二十五年沖繩縣ニ生ル、東京帝國大學法學部卒業
○東洋拓殖株式會社京城支店支配人、辯護士開業其ノ業務ニ従
事ス、大政翼賛會沖繩縣支部常務委員、翼政會政調遞信委員ニ
指命サル○當選一回(21)

翼賛議員銘鑑(もノ部)

四一五

翼賛議員銘鑑(もノ部)

四一六

宮城縣第一區選出
從四位勳二等辯護士
守屋 榮夫
龍野川區西ヶ原町七四
電駒込一〇五一
鹽釜市山寺電鹽釜一二九



略歴 明治十七年十一月宮城縣遠田郡富永村ニ生ル、東京帝國大學法科大學獨法科卒業○千葉、愛知各縣理事官、内務省監察官、地方局府縣課長、朝鮮總督府秘書官、同府參事官、總督官房秘書課長、朝鮮總督府庶務部長、社會局部長ニ歴任、又農林政務次官ニ被任、歐米各國ニ出張ス、瑞西國ジュネーブ開催第七回國際勞働總會ニ政府代表委員被仰付、海軍經理學校講師、各種ノ社會事業團體ノ幹事又ハ理事タリ、健康保險調査會、議會制度審議會、臺灣重要産業調整委員會、外多數ノ委員被仰付翼政會政調内務委員ニ任命サル○當選五回(17 18 19 20 21)

政見 宣戰の大詔を奉じて、億兆一心、舉國一體の全能力を發揮し、此の一戰を永遠に勝ちに勝抜いて萬邦をして各々其の所を得しめ、兆民をして悉く其の堵に安せしむ、と宣はせ給ふた、宏遠にして雄大なる 御聖旨を以て、やがて大東亞を、延いて全世界を光被することに在りと信じます。それが爲に、内に在りては 天子様を中心として、一億同胞が、鐵石の如き鞏固な團結を作り、各自、其の職分に應じて大政を翼賛し奉るの道を確立すると同時に、外に對しては 天子様の愛民の大御心が先づ東亞共榮圈内の民衆に、次いで世界の人類に普く行渡るやうに致さねばならぬ。此處に到つて大東亞戰爭が聖戰であり、神武の發揚であることが愈々明瞭になり全民族を擧げて 天皇政治を謳歌するに至るであります。

長崎縣第二區選出
正五位勳三等

森

肇

芝區南佐久間町 伊勢屋
旅館 電芝一六一
長崎縣北松浦郡新御厨町



略歴 明治六年十月長崎縣北松浦郡御厨村ニ生ル、東京專門學校政治經濟科卒業○小學校教員、長崎新報、長崎日日新聞編輯局長、同主筆、長崎新聞總顧問兼主筆トナル、長崎縣會議員同參事會員ニ選ハル、農林參與官タリ、都市計畫長崎地方委員會委員等外各種委員被仰付、長崎縣教育會理事、鮮滿蒙古支那ヲ視察、翼政會政調農林委員ニ任命サル○當選六回(15 16 18 19 20 21)

政見 渾身勝つあるのみ 南洋諸島の資源だけでも大東亞共榮圈自給の計には多くの足らざるを憂へませぬ、更らに印度濠洲新西蘭が此の圈内に包攝された日には自給計畫は全きのみならず、遂には生産過剩となつて來るであらう、將來は内地産業が脅威される虞れなしとはせぬ、最早我國は東亞細亞の小島國ではない、世界に雄飛する大帝國の名實を具有し大東亞の指導勢力を確保したのである。あくまで大國民の矜度を持して今後の百事に當らねばならぬ、近時國債の著増豫算の大膨脹を氣にする人もあるがそれは餘りに小さい量見であらう。日本は既に力倆絶倫の強國となつた、お互に心胸面目を一新せねばならぬ、よし國債は千億千五百億とならうとも日本國民の立働く場面は十倍二十倍に擴大されたのであるから斷じて心配することは要らぬ。要は一億一心となつて大東亞戰爭を勝ち抜いて亞細亞の諸民族を解放し日本を富強に導くことあるのみである。

翼賛議員銘鑑(もノ部)

四一七

翼賛議員銘鑑(もノ部)

四一八

和歌山縣第二區選出
會社々長

森川仙太

神田區淡路町二丁目 都賀
家旅館 電話一〇二三
和歌山縣有田郡箕島町大字
新堂一〇八四 電話箕島一



略歴 明治二十八年十月和歌山縣有田郡箕島町ニ生ル。和歌山
中學校卒業○早クヨリ實業界ニ入り帝國除蟲菊、北海除蟲菊
工業、日本除蟲菊工業各株式會社々長、日本除蟲菊工業組合聯
合會專務理事、北海除蟲菊工業組合理事長、箕島信用組合理事
商工省委員被仰付、翼政會政調商工、大藏兼務委員ニ指命サル
○當選一回(21)

政見 私の考へ方——私は元來政治は嫌ひではなかつた、し
かし從來の政黨政治のやうに、殊更らに對立して争ふやうなこ
とは好ましくなかつたのである。多少でも海外の事情でも知つ
てゐると、これで果してよいのであらうかと切實に考へること
もあつたのである。敢然と政治の中に飛びこんでやらうと言ふ
勇氣はどうしても出なかつたのである。せめて産業を通じた御
奉公を致したいと思つて産業貿易に専念してゐたのである。
此度び政黨は解消して國民の總力が結集さるべき今次總選舉に
は推薦を受けたので政界に乗り出す氣となり幸ひにして各位の御支援によつて當選することも出來た
次第である。今日の心境は舉國一體となり聖戰の完遂に一路全力をあげて邁進するのみである、議會
の一員としてその責務を果し得れば此の上ない幸甚であると思つてひたすら精進を續けてゐる。

静岡縣第三區選出
從七位勳五等(旭)

森口淳三

麴町區丸ノ内東京鐵道ホ
テル 電丸ノ内二三二一
静岡縣引佐郡氣賀七二
電氣賀四三



略歴 明治三十年十月静岡縣引佐郡氣賀町ニ生ル、濱松商業
卒業○陸軍歩兵中尉、帝國在郷軍人引佐郡聯合分會長、縣會議
員、同副議長當選、支那事變ニ應召支那各地轉戦ス、氣賀町長
就任、遠州鐵工機械工業組合理事長、静岡縣農林水産物價格形成専門
長、商工省雜品物價専門、農林省一般農林水産物價格形成専門
各委員會委員、縣大政翼賛會顧問兼協力會議員、郡壯年團々長
翼政會政調幹事、内閣、農林兼務委員指命○當選一回(21)

政見 今日的情勢は昔日の場合とは大いに其の趣を異に致し
まして假令自己に多少の抱負經綸ありとするも一人一個の政策
に依つて活動し得べき時勢ではありません。軍備の充實行政の
刷新生産力の擴充戰時財政の調整國民教育の振興さては大東亞
の開發等々萬般の政策は懸つて國家政府の意圖に協力し軍官民
渾然一體と爲つて眞に牢固たる翼賛體勢の下に國運の伸展を計
るべき重大時局であります。斯の秋に方り世上の舊慣に泥んで
得意氣にも呶々發表する一個の私見抑も何程の價値あらんやと思ふのであります。時局の要請する所
を見誤らず眞に聖業の前送に必要なりと認められる政策に關しては、これを飽くまで支持すると共に
その實現に率先努力すべきであり、これを阻む障害は敢然排除しなければなりません。權力に屈し利
益の誘惑に迷つて所信を枉げ不利を思ふて自らの責任を回避するが如きは斷然慎しむべきであります

翼賛議員銘鑑(もノ部)

四一九

翼賛議員銘鑑(もノ部)

栃木縣第二區選出

著述業

森 下 國 雄

澁谷區千駄ヶ谷三ノ四
九一 電青山三三六〇



四二〇

略歴 明治二十九年六月栃木縣安蘇郡野上村ニ生ル、早稻田大學政治科卒業後歐米ニ留學ス○野州新聞主筆、同社取締役社長タリ、著述業ニ従事ス、後藤伯ト自治協會ヲ創立シ専務理事トナリ、更ニ普選準備會ヲ起シ政治ノ倫理化運動ニ挺身ス、屢々南北支那、滿蒙各地ヲ視察ス、支那事變ニ際シ皇軍慰問ノ爲現地ニ派遣サル、大政翼賛會議會局副部長、同調査委員會委員内閣情報局委員被仰付、翼政會事務局參與、政調大東亞、商工兼務委員ニ指命サル○當選三回(1920-21)

政見 大東亞戰爭は勝たねばならぬ。暴虐飽くなき米英勢力を地上より驅逐して、大東亞共榮圈の建設を完遂する迄は、如何に長期に亘らうとも、如何なる困難に會はうとも斷じて勝ち抜かねばなりません。是が爲には先づ武力戦に必勝することであり、武力戦に必勝するには前線の將兵をして後顧の憂ひなからしむることが絶対に必要である。それには眞に強力なる戦争態勢を確立することであつて、政治に經濟に、文化に凡ゆる分野に於て革新を斷行し、國民の總力を結集し、擧げて戦争の完遂、大東亞共榮圈の建設に邁進することが、翼賛政治の根本理念であると信ずる。人類の歴史はじまつて以來この雄大な建設聖戦に際會した我々國民は、生を皇國日本に享けたる光榮に感激し唯々 大御心を奉體し奉り殉國の精神を以て大東亞共榮圈建設に挺身すべきであります。

青森縣第一區選出
辯護士

森 田 重 次 郎

神田區神保町二ノ八
電九段三三三四
青森縣上北郡浦野館
村大字上野



略歴

明治二十三年五月青森縣上北郡浦野館村ニ生ル○教科中等教員ヲ免許セラレ、辯護士試験ニ合格ス、曩ニ青森縣上北郡木々内尋常小學校訓導兼校長、東京市東盛尋常小學校訓導タリ、辯護士ノ業務ニ従事ス、文部省委員被仰付、翼政會政調幹事、文部委員、事務局參與ニ指命サル○當選二回(20-21)

政見 政治といふものは横車一ぱいの親分の下に集つて、自治體を食ひものにし、それで足らなくて、組合を食ひものにし仲間丈がそのわけ前に預るものだと考へてゐる考へ方がまだ跡をたつてゐないものゝやうである。それが政治なら、さうやるものが政治なら、世の中が闇になつて、何時足をつらばはれるやらわからない不安が國の中に一ぱいになつてしまふであらう。それでどうして開びやく以來のこの國難が突破できるか。目をさまさなくてはならない。

あと一いきで國民がまぢめに働きさへすれば皆それぞれ立派に生きて行ける様な世の中になれるのだ。こゝらで迷ふ人が多ければ多い程、その國は遅れることになるのである。こゝの道理をわきまれば世の中はなんとかなるものである。政治といふものは、まぢめに働けば食へる様な世の中を作ることだ。こゝろ私は考へてゐる。

翼賛議員銘鑑(もノ部)

四二一

翼賛議員銘鑑(もノ部)

廣島縣第三區選出
正五位勳三等會社重役
森 田 福 市
品川區大井町三五四五
電大森五五八八



略歴 明治二十三年六月廣島縣神石郡牧村ニ生ル、日本大學法科ニ學フ○廣島市會議員、同縣會議員、同副議長ニ學ケラル貴族院議員ニ勅任セララル(多額)森田工業、廣島水産、日榮産業、日東鑛業、早山石油、其他十數會社ノ社長、重役タリ、廣島商工會議所會頭、帝國發明協會廣島支部長、廣島縣商工團體聯合會長、列國議會同盟會議、萬國議院商事會議ニ參列シ歐米各地ヲ視察ス○當選三回(182021)

政見 一、生産増加對策について述べます 大いなる戦争を遂行するためには生産の増加と生活の安定確保は缺くべからざる重大要件であります、今回の戦争は米英の如き持てる國を相手の戦争でありますから眞に名實の伴つた増産を期さねばなりません、

の機構に改革を加へ、増産に要する資金に融通を與へる等統制部門にも改善を加へねばなりません。而して低物價政策は必要であります。農産物の増産水産物の増獲、勞力對策等生産力増加と關連して何れも重要な意義を持つて居ります。

栃木縣第二區選出
勳七等

森 田 正 義

本郷區湯島天神町一ノ六八
花水館 電下谷三三五〇
栃木縣下都賀郡寒川村大字
押切五二



略歴 明治四十年十二月栃木縣ニ生ル、帝國大學經濟學科卒業○農業ニ従事ス、寒川村長、翼賛會栃木縣支部常務委員、同組織部長ニ任セララル、内務省委員被仰付、翼政會政調内務、農林兼務委員ニ指命サル○當選一回(21)

政見 政治力を強化し翼賛政治の理想を實現する爲めには先づ清新にして強力なる議會を必要とします。議會は國民が大政を翼賛し奉る憲法上の機關として清新でなければならぬことは勿論であります。同時に時代の要求する強力なる議會でなければなりません。それには議會に送られる人物が如何に立派で有能でありましたもその人達が思ひ思ひにバラ／＼な形で國民を代表したのでは、決して強力な議會とはならないのであります。議員が組織の規律と統制ある行動によつて國民の政治組織を通じて結集された國民の翼賛意志を代表してはじめて強力な議會を作ることが出来るのであります。従つて眞に強力なる

議會とは國民の政治組織たる大政翼賛會翼賛壯年團と結び付けられた議會でなければなりません。

翼賛議員銘鑑(もノ部)

翼賛議員銘鑑(もノ部)

岡山縣第一區選出
會社重役

森 谷 新一

日本橋區吳服橋二ノ一七七
名館電日本橋一七七
岡山市門本町四八一七電
岡山三七〇二



略歴 明治三十六年岡山縣和氣郡日生町ニ生ル、早稻田大學電氣科に學フ○朝鮮ニテ電氣會社ヲ經營ス、後郷里ニテ製綿業ヲ營ム、兒島窯業株式會社社長トナル、和氣郡日生町長ニ就任ス大政翼賛會縣支部常務委員、同組織部長ヲ依囑サル、縣翼賛壯年團副團長、同事務局長タリ、翼政會政調内閣、商工兼務委員ニ指命サル○當選一回(21)

政見 眞の政治家とは、政治と言ふものはなかく厄介な仕事であると思ふ、例へば此處に一臺の電車があるとす、混雑した電車の中で兩足を踏ん張つて他人の席まで新聞を擴げて讀んでゐるものもある。車掌は入口に立つて中の方へ詰めて呉れと大聲で叫んでばかり居る、どなる民衆、わめく彌次馬、混雑はますく混雑するばかりである。此の時一人の人間が出て来て、自ら老人や子供の手を曳き車内を良く整理して乗客を満足させたとしたら此の人こそ眞の政治家である。此處に政治の要諦があり且又大東亞戰爭を完遂せんため國家總力戰の最も強烈に要請される。現代日本に必要な政治家の性格である。

然しながら残念なことに電車の入口に立つて只叫び廻るだけの仕事をやつてゐる電車の車掌の如き評論家的政治家の多い現實を深憂せざるを得ないのである。

福岡縣第一區選出
農業

森 部 隆 輔

福岡縣朝倉郡大福村大字
長淵五八四電大福七
赤坂區田町二丁目對翠
館電赤坂一一五八



略歴 明治二十四年一月福岡縣朝倉郡大福村ニ生ル、私立東京農業大學ヲ卒業ス○福岡縣會議員ニ當選以來引續キ五回當選同縣會副議長ニ當選ス、帝國耕地協會理事當選、縣農會長トナル、福岡縣農業協會理事長、福岡縣養蠶組合聯合會會長、内務省委員被仰付、翼政會政調内務、農林兼務委員ニ指命サル○當選一回(21)

政見 第一、一億一心、一君萬民の推進力たらん、即ち大東亞戰爭は長期化を覺悟せねばならぬ、米英は必ずや經濟、武力思想戰において大規模の報復戰を挑んで來ることは明かであるから、一君萬民、一億一心となつて敵性謀略に乗せられることなく、力強い翼賛體制を確立堅持して行かねばならぬ。第二、國民生活、地方事情を中央に反映せん、即ち如何なる政策もよく國民の實情に即してゐることは何より必要なことである。殊に地方實情の明確なる認識に基く國策にして、始めて強

力なる國民的支持が得られるのである。第三、國民食糧の安全確保を期すること、即ち皇軍の赫々たる戰果で南洋の食糧資源が日本の手中に歸したのであるが食糧の自給計畫はあくまで自主的なものでなければならぬ。

翼賛議員銘鑑(もノ部)

翼賛議員銘鑑(ヤノ部)

山口縣第二區選出
百貨店社長

八 木 宗 十 郎

山口市上字野令西白石二
三六三 電山口二四〇
麴町區華町九ノ八 植木
屋旅館 電九段三六三三

四二六

略歴 明治三十二年九月山口縣山口市中市ニ生ル、明治大學
商科ヲ卒業ス○縣會議員ニ當選、同參事會員ニ就任ス、山口市
體育會長、株式會社ちまきや社長、山口縣纖維製品配給統制會
社長、商工省委員被仰付、翼政會政調商工、内務兼務委員ニ指
命サル○當選一回(21)



政見 政治の國防化——滿洲事變から支那事變に亘り内外幾
多の國家的體驗を通じて國防政治體制の確立の急務なることを
痛感する、殊に聖戰はこれが完遂の必然的要求として米英勢力
破碎の大東亞戰爭にまで飛躍發展致したる今日、これに應ずる
處の政治の國防化は切に急を要する處であると思ふ、滿洲事變
以來幾多の困難を克服して議會の國防政治力は強化されたとは
言へ尙完全と言ひ得るかどうか、議會の國防的性格を更らに昂
揚する要ありと信ずる。

米英は彼等の豊富な資源によつて抗戦力を擴充し緒戦におけ
る惨敗を挽回すべく今や必死となつて國內再編成に狂奔してゐると外國電報は傳へてゐる、されば日
本國民は緒戦の戦果に酔ふことなく米英の抗戦を徹底的に撃滅破碎するまで斷じて戦ひ抜かねばなら
ぬ、政治、外交、經濟、文化の各方面に亘つて國民は協力して創意と工夫を要すると思ふ。

静岡縣第一區選出
正五位勳五等

八 木 元 八

静岡縣榛原郡相良町相良二
六二ノ二二
麴町區永田町二ノ七三 山
王ホテル 電銀座五七〇一



略歴 明治十六年二月静岡縣榛原郡相良町ニ生ル、厦門瀛華

書院卒業、外務省留學生ヲ命セラレ露都聖彼得堡ニ留學ス○厦
門、奉天、香港、九江、漢口各領事館在勤、米國紐育總領事館
副領事、北京、天津、青島ノ公使館等經テ總領事ニ任セラレ哈
爾賓ニ勤務、日支兩國政府合辦鴨綠江採木公司理事長被仰付、
滿洲國安東省聯合商工公會々長、滿洲國協和會安東省本部委員
帝國在郷軍人會安東支部顧問、外務省囑託、鴨綠江製材合同、
鴨綠江林業、安東土地建物各株式會社社長、外務省委員被仰付
翼政會政調外務委員ニ指命サル○當選一回(21)

政見 衆議院議員たるものは、現下の時勢の要請を議政の府
に反映せしめ政治外交經濟文化の各方面に於て高邁なる國策の
具現に努め、常に國際政局の歸趨を明察して眞に聖業の前途に
必要なる政策は飽く迄之れを支持すると共に、之れを阻む障害
は敢然排除しなければなりません。私が衆議院議員として努力
せんとする所は、第一に翼賛政治體制を議會に確立すること、第二に大東亞戰爭を完遂するため國民
總力の結集とその活用に遺憾なきを期すること、大東亞共榮圈に新秩序を建つる爲め國民の創意と工
夫を勉めて採用する事、而して官民一致の實を擧げ自由主義個人主義を一掃し皇國精神の昂揚を期し
以つて聖業達成の方途を誤らぬ様大政翼賛の誠を盡さんとするにありませぬ。

翼賛議員銘鑑(ヤノ部)

四二七

岩手縣第一區選出
正四位勳二等(旭) 功五級

八角三郎

芝區高輪北町四八
電高輪 五九八四



略歴 明治十三年十二月盛岡市ニ生ル、海軍大學校卒業○海軍少尉ヨリ累進海軍中將ニ被任、其間日露戰役ニ從軍、又海軍軍令部、遣支艦隊各參謀、支那公使館附武官、軍艦利根、三笠盤手、金剛各艦長、第一第二水雷戰隊各司令官、海軍水雷學校長、大湊要港部司令官ニ被補、大戰後ノ歐米視察ヲ命セラル、各種委員被仰付、拓務政務次官タリ○支那共和國ヨリ三等文虎章及二等嘉禾章、伊太利國ヨリ「コンマンドル・クロンヌ」勳章ヲ贈ラル、翼政會評議員、政調海軍、外務兼務委員ニ指命サル○當選四回(18 19 20 21)

政見 戰時下にありては行政權の強化さるゝは至當である。

然しながら其のことは國民の政治翼賛を輕視するを意味するものではなく益々國民の力強き翼賛あつてこそ我國のみ獨り持つ萬邦無比の君民一體の政治の眞姿が顯揚さるゝものである。吾國の政治は外八紘一字の皇謨即ち萬邦をして各々其の處を得せしめらる大御心、内は生成化育の大愛たる億兆をして悉く其の堵に安んぜしめらるゝ大御心の達成徹底でなければならぬ。大東亞戰爭は此の肇國の皇謨達成に向つて邁進しつゝある。其の完遂と戰後の經營こそは我國民に課せられたる責務であり益々國力の結集發揮を要する、又天地大愛の大御心の徹底には、軍事、内政、經濟、財政産業、教育等凡る部面に於て軍官民眞に一心一體となり大政翼賛の不拔の體制を確立せねばならぬ。

東京府第七區選出
從四位勳三等(旭)

辯護士

八並武治

麻布區霞町一
電赤坂三五五〇



略歴 明治十二年十二月大分縣下毛郡鶴居村ニ生ル、東京帝國大學法科大學獨法科卒業○逓信大臣祕書官、司法參與官ニ任セラル、再度司法政務次官に被任、大禮使典儀官、米穀調査會臨時、法制審議會、選舉制度調査會、司法制度調査委員會各委員被仰付、大政翼賛會本部參與、翼政會評議員、政調司法兼務委員ニ指命サル○當選七回(14 15 17 18 19 20 21)

政見 我が國は君民一體億兆一心の國がらであります萬民翼

賛の政治と申しますのも國體のまゝなる政治に外なりませぬ我等一億國民が打つて一丸となり 天皇に絶對歸一隨順し、我を捨て私を去り「海行かば水漬くかばね山行かば草むすかばね」の赤心を政治の上に具現し天壤無窮の皇運を扶翼し奉ることあります。かくしてこそ全政治力が結集せられ強力なる政治が行はれるのであります。

今や皇軍の勇戦力闘により米英蘭多年の東亞侵略の據點は覆滅し大東亞全域より敵勢力は全面的に驅逐せられ大東亞新秩序建設の大いなる朝の訪れも期して待つべきものがあります。實に大東亞新秩序を建設し東洋永遠の平和を確保しよつて以て世界の平和と人類の福祉に貢献せんとするは帝國不動の國策であり亦一億國民の確き決意であり尊き使命であります。

香川縣第二區選出
正五位勳三等會社重役

矢野 庄太郎
目黒區三田五
電大崎四〇五六



略歴 明治十九年一月香川縣仲多郡十郷村ニ生ル、明治大學
法科ヲ卒業ス○文官高等試験ニ合格、臺灣總督府屬ヲ振出シニ
香川縣警部、同警視、香川縣木田郡長ノ職ヲ歴任ス、勝光山ク
レー合資會社代表社員タリ、國產振興委員會委員仰付、内閣企
畫院委員被仰付、翼政會政調大藏委員ニ指命サル○當選五回
(17 18 19 20 21)

政見 大東亞戰爭を完遂するためには官民と言はず、上下と
言はず、鐵石の團結と火の玉の如き熱意とを以つて眞に舉國一
體となり先づ國內體制の整備と強化を行はねばならぬ。即ち政
治、産業、經濟、思想、文化等の各部門に亘り大々的に改革刷
新をなさねばならない、吾々が政翼賛の聲の揚るや數十年の
歴史ある政黨を解消し斷乎舊套を脱し舉國一致の體制に就いた
のも國家的最高の良心に立脚せる公正にして明朗なる議會を實
現せんと企圖したに外ならぬ。大東亞戰開始以來南方に對する皇軍の赫々たる戰果が餘りに迅速偉大
であつたことに陶醉して今にも平和來を想像し内地に物資が氾濫するであらうと見る如きは大きいなる
間違ひである、かゝる事では長期戰に堪え得ることは出来ない益々自力の培養に努め眞に臣道實踐職
域奉公を心すべきである。従つて議會も大東亞戰の完遂大東亞共榮圈の確立に伴ふ時局の新段階に對
應すべき體制確立を期するため清新強力でなければならぬ。

栃木縣第一區選出
正八位酒造業

矢部 藤七

栃木縣上都賀郡西方村大
字本城五二三 電金崎七
本所區横網町 相馬柳平
方 電墨田五三一



略歴 明治十八年七月栃木縣ニ生ル、栃木中學卒業○陸軍歩
兵少尉ニ任セラル、村會議員、在郷軍人會分會長、消防組頭、
郡會議員、屢々西方村長、栃木縣會議員ニ選ハル、同縣會副議
長ニ選ハル、縣農會長、縣馬匹畜産組合副會長、産業組合栃木
支會副會長、縣信用購買販賣利用組合聯合會副會長、縣農業協
力會々長、農林省委員被仰付、大政翼賛會縣支部常務委員、翼
政會政調農林、内務兼務委員タリ○當選一回(21)

政見 大東亞戰爭完遂の爲め食糧の増産確保は喫緊の要務た
り、是れが爲めあらゆる方策を講じつゝありと雖も未だ其完壁
を期し難きを遺憾とす。即ち
一、農地問題の根本的對策
二、農産物價對策の全面的再檢討
三、農家生活の安定と農村人口保有問題
四、大東亞共榮圈内に於ける農業政策の確立
等は國家の基礎を爲す農業を確立する爲め是非其解決を要すべき重要問題なり、更に當面の問題とし
ては速かに農業諸團體の統合を實現して農村の指導を統一せしめ増産確保に邁進せしむるを緊要なり
と信ず。

翼賛議員銘鑑(ヤノ部)

岐阜縣第二區選出
農業

安田 桑次

岐阜縣安八郡和合村大字
津一九二
神田區錦町三丁目
旅館 電神田九五
松屋



略歴 明治三十年五月岐阜縣安八郡和合村ニ生ル○農業ニ従事ス、安八郡和合村役場書記ニ就職ス、同和合村長ニ就任ス、岐阜縣會議員、同參事會員、同副議長當選、大政翼賛會縣支部常務委員、同安八郡協力會議長、同翼賛壯年團長、同縣壯年團協力委員、農林省委員被仰付、翼政會政調厚生、商工兼務委員ニ指命サル○當選一回(21)

政見 過去の政治の實際を判断しまするに思ひ半ばに過ぐるものがあります。例へば農業生産品は國民食糧でありますので一日も無くてはならないものであります。之が生産に就ては各種の方途を講じて増産に全力を擧げておるも尙一段と是が研究を必要とする部面も多々あるのであります。

配給に當りては其の方法機構に就て尙充分研究の餘地が残されて居りますから特に慎重を期せねばなりません。

企業の整備に伴ひ商工業者の轉廢業等は國家として重大なる政策であり業者自身に取りては尙一層大切な問題である事は論を俟たざる處で之が實施に當りては特に周當なる用意と萬全の準備を整へて業者をして充分時局を納得せしめる要特に緊要なりと信ずるのであります。軍官民一億の總進軍の體制を整ふる事こそ現下の日本に喫緊の要務であり大政翼賛運動の主旨も茲に在るのであります。

四三二

和歌山縣第一區選出
會社役員

山口 喜久一郎

和歌山市關戸三一
電和歌山一三一
麴町區永田町山王
テル 銀座五七〇一



略歴 明治三十年長崎縣ニ生ル、早大中途退學○和歌山縣海草郡ヨリ三度縣會議員ニ當選、同縣會議議長ニ就任、更ニ縣會議長ニ再任ス、大政翼賛會和歌山縣支部常務委員、同支部顧問、和歌山重工業會社取締役、翼政會政調商工委員ニ指命サル○當選一回(21)

政見 東條首相はその政見の中に清新にして革新的な信念を持つ人材を求める旨述べられてゐるが此際國民にして志あるものにして御奉公を志すものは萬難を排して戦ふべきであります。すなはち政府の要請に應じて國民一億の聲に合致する事を自ら信ずるものは進んで出で、時局の擔當に當るべきであると信ずる、大東亞戦争は即ち、世界を英米中心の體制から日本を中心とする世界新秩序を建設するものであつて吾々國民より重大なる「風當りの強い」立場に立つのであります、茲において高度國防國家の建設とその前進飛躍は足許から即刻實施して行かねばなりません、これは日本の運命であらう「たと前進と革新の一途あるのみ」これが日本の政治の方向なのであります、自ら正しくば千萬人と雖へども我行かむやである、はるか太平洋の波濤幾千里、祖國のために戦へる勇士の心に感激の報恩を感じ祖國統後政治力革新のために努力したい。

翼賛議員銘鑑(ヤノ部)

四三三

翼賛議員銘鑑(ヤノ部)

神奈川縣第三區選出
産組中央會理事

山口 左右平

世田ヶ谷區經堂町二九八
電世田ヶ谷五一三二
神奈川縣中郡高部屋村上
粕屋七五三 電伊勢原二



四三四

略歴 明治三十七年六月二十八日神奈川縣中郡宇部屋村ニ生
ル、京都帝國大學經濟學部卒業○産業組合中央會ニ奉職、同會
主事、同會企畫課長トナル、同滿洲開拓協力協議會幹事、帝國
農會農政事務ヲ囑託セラル、農林省委員被仰付、翼政會政調大
東亞、農林兼務委員ニ任命サル○當選一回(21)

政見 私は自己の経験から出發して自然と日本の農山漁村に
思ひを致すのであります、申すまでもなく農村は強兵の母胎で
あり食糧の倉庫であります、國家が常に民族の血液を源泉とし
て健康なる農村を保持し、國民の基礎食糧を自給し得る農林漁
業を確保しなければならぬことは今次大東亞戰爭の経験が最も
明瞭にこれを示してゐます、此の眞理たるや如何なる時代をも
貫くものでありまして、今後南方農業の開發の後におきまして
も何等變ることのなきものと確信します、南方農業と日本農業
とは相互にその發展を助け合ふものと言ふ角度から將來の農村
對策は施策さるべきものであると思ひます、農村漁村の問題と關係してその文化的經濟的中心として
の地方中小都市における中小業者整理等の問題を考へざるを得ないのであります、人口産業の地方
分散を必要とする國土計畫の進捗により明朗なる農漁山村とその文化經濟の中心たる健實なる地方都
市は建設さるべきでありませう。

静岡縣第一區選出
從六位勳三等(勳) 農業

山口 忠五郎

巖谷區種田二ノ二九
電青山七〇一九
静岡縣志太郡西益津
村大字田中



略歴 明治十五年一月静岡縣志太郡西益津村ニ生ル○村長、

村會議員、郡會議員、縣會議員、同參事會員、同副議長同議長
ニ舉ケラル、縣農會長茶業組合中央會議員、縣茶業組合々頭
縣畜産組合聯合、縣木炭組合聯合各會長、郡柑橘同業組合長、
帝國農會議員、縣消防組合聯合會常議員、遠州銀行、藤相鐵道
静岡新報各株式會社ノ取締役タリ、静岡縣防空委員會委員被命
支那事變ニ際シ皇軍慰問ノ爲中支那へ派遣セラル、翼政會評議
員、政調内務委員タリ○當選五回(16 18 19 20 21)

政見 八紘爲宇の肇國の大理想が、脈々と日本民族の血液の
中に躍り、歴史の中に生々發展して二千六百餘年、吾々は如何
なる困難に遭遇するとも斷乎此の戦ひを勝ち抜き、大東亞共榮
圈の確立、肇國の大理想現に邁進せねば止まぬのであります
また忠勇義烈なる護國の神靈を仰ぐ吾人の責務として大東亞建
設の爲め、みづから有てる全智能を傾倒して總努力せねば相
濟まぬのであります、私は議會に於ける職域に於て政府を援け長期完勝不敗の國內體制を確立し、戦
時國民生活の凡ゆる部面に於ても強靱鞏固の組織を完成し、國民の士氣活力を彌が上にも昂揚興起し
なければならぬと考へて居ります、盛り上る民意を正しく議會に反映せしめてこそ、始めて政治力は
強化され、高度國防國家體制の整備が成し得ると確信するのであります。

翼賛議員銘鑑(ヤノ部)

四三五

翼賛議員銘鑑(ヤノ部)

大分縣第二區選出
農業

山口馬城次

大分縣宇佐郡麻布村大字
山口二六三
麴町區麴町一ノ六 半蔵
門ホテル 電九段五九六



略歴 明治二十五年八月大分縣宇佐郡麻生村ニ生ル、早稲田大學卒業○中津銀行、久恒鑛業會社各監査役、宇佐郡農會長、大分縣會議長、大政翼賛會大分縣支部庶務部長、翼政會政調内務委員ニ指命サル○當選一回(21)

政見 地方制度の強化 我々の如く地方に定住して之を墳墓の地として生活するものにとつては地方制度は重大なる關心事であつて且又國家を構成する部分としても極めて重大なる問題であると思考する、殊に最近の如く國家の統制が強化せられ國策を地方までも侵透せしめることが必要となつて來た今日においては地方制度の刷新強化は一日も等閑に付すること出来ないのである。然るにかゝる問題は常に地方問題として中央的思考によつて左右せられ勝ちで、兎角地方の實情や輿望は輕視される傾向にあると感ぜられる、特に大東亞戰下において國家總力戰が唱道され、中央と地方とを問はず各種の機關が綜合的に運營される見地から見て、地方自治力を強化するため、地方に積極的に有爲の人材を配置すること並に地方吏員の待遇を改善することが急務である、且地方財政に強力性を與へる政策を實施すべきことは急速に解決せらるべき問題であると信ずる次第である。

福岡縣第三區選出
從三位勳一等

山崎達之輔

牛込區東五軒町一四
電牛込一二五〇



略歴

明治十三年六月福岡縣三潯郡川口村ニ生ル、京都帝大法科卒業○臺灣總督府屬、同參事官、文部書記官、文部省實業學務局長、同普通學務局長、文部政務次官、農林大臣(二度)遞信大臣ヲ兼任ス、中央衛生會、恩給審査會、學校衛生調査會等各種委員被仰付、現ニ翼賛政治會常任總務、同政務調査會長議院協議會協議員タリ○當選七回(15 16 17 18 19 20 21)

政見

敵米英は緒戰において大敗を喫したるも、豊富なる資源と金力を動員し軍備の擴張に狂奔し日夜戰備の充實に躍起となつてゐる、彼等は舊秩序を維持せんと最後の執拗なる態度を續けることは明白であるから皇國は既に獲得したる戰略要地を整備して必勝の戰略態勢を確保し、速かに南方資源を開發することに依つて戦力と國力の増強を期すると共に國家總力を最高度に發揮し、敵をして一切施すの術なからしむる國內體制を急速確立すべきである、かくするためには凡ゆる派閥的對立を拂拭して皇國本然の姿である大政翼賛の精神を根幹とする翼賛政治體制を建設することが最も大切である、清新にして強力なる議會が建設され、政府と議會と國民とが一心同體の靱帯に依つて結ばれ、長くも宣戰の大詔を遵奉して大東亞戰爭の完遂に邁進するなれば始めて必勝の國內體制は絶對優勢なる戰略態勢と相俟つて米英を撃滅し大東亞建設の歴史的大事業を完成する事が出來ると信ずる。

翼賛議員銘鑑(ヤノ部)

愛知縣第一區選出
文房具製造業

山崎常吉

麴町區平河町一ノ三ノ
四電九段四六二四ノ
名古屋市中區中ノ町三
ノ六 本局二七二三



略歴 明治二十四年一月高知縣香美郡夜須村ニ生ル○愛國從
業員組合總聯盟會長、愛國勞働組合全國懇話會中部地方委員長
トナル、愛知縣會議員ニ選ハル、支那事變ニ際シ皇軍慰問ノ爲
滿洲國へ派遣セラル、翼政會政調厚生、文部兼務委員タリ○當
選二回(2021)

政見 一、國體明徴の徹底化

二、老人尊重と老人銃後奉公制度の制定

三、勤勞を尊重し強國建設

四、中小商工業者の轉廢業に希望を持たせ祖先の名譽を子孫に

殘せ

五、醫療醫藥の國營斷行

六、勤勞者住宅の増設と公營

七、教育制度の改革

八、多産婦人の保護表彰制度の制定

九、乳幼児保健局の設置

等此れが私が今日迄叫んで來た政見であります。幸にして私の主張は年と共に着々政府の實現する處
となつて居るのは、内心秘かに快哉を叫んで居るのであります。

東京府第六區選出
醫師

山田清

葛飾區下小松一三九五
電江戸川五九二



ぬ事柄と確信するのです。

私は此の世界興亡の歴史を、あらゆる角度から考へて居るのです。其處には生命を賭して政治家と
して戦はねばならぬことの多きを深く感じてゐるのです。個人の誤りは改めればよい。然し國家の誤
りは改めたのでは遅いからです。我々は祖國を泰山の安きに置かねばならぬ爲に斷乎諸君と共に誤り
を避けねばなりません。

略歴 明治二十三年八月千葉縣市原郡高瀧村ニ生ル、東京慈
惠會醫科大學卒業○東京市會議員、同參事會員、東京府會議員
ニ選ハル、自動車製造業委員會委員被仰付、全國自動車業聯合
會長、東京自動車業聯合會長、大政翼賛會東京市常務、翼政會
政調厚生、鐵道兼務委員ニ指命サル○當選二回(2021)

政見 特に最近の日本は、米英を叩かなければ彼等から押し

潰される運命にあつた。幸ひ押し倒しはしたが、今後日本は愈

々自戒健全體を作り、軍備を充備し、肇國の精神を發揚して大

東亞諸民族の信を繋ぎなければ榮位の保持は困難です。

嘗て海に覇を稱へたポルトガル衰へ、スペイン退化し、和蘭

亡滅し、支那に興亡常なく、印度五千年の文化は跡形もない。

今また米英將に轉落せんとする此の原因、その理由は何れにあ

るか、他山の石、此の秋こそ軍官民一億日本人の夢忘れてなら

翼賛議員銘鑑(ヤノ部)

静岡縣第一區選出
齒科醫師

山田 順 策

目黒區綠ヶ丘二九
八 電 花原七一六三
静岡市北安東町



四四〇

略歴 明治二十年二月静岡縣庵原郡西奈村ニ生ル、東京齒科
醫學專門學校卒業○東京齒科醫學專門學校助手ナル、静岡市
會議員、同縣會議員ニ選ハル、縣齒科醫師會長、同會健康保險
部長ニ推サル、静岡市商工會議所議員、社團法人日本乗合自動
車協會副會長、静岡縣乗合自動車協會會長、静岡運輸事務所管内
構内自動車營業組合長タリ、商工省委員被仰付、翼政會政調厚
生委員ニ指命サル○當選二回(2021)

政見 戰爭完遂の爲め國內整備は、元より政治の一點張では
ない。政治を通じて經濟あり、教育あり、文化あり、凡ゆる國
民の生活面に即して最強最善の整備を圖らねばならぬ。國民の
食糧を外地から運ぶことも軍作戰の一部であると大本營では云
ふて居る。寔に心強い限りである。従つてこゝに舊殻を脱して
清新潑刺たる翼賛會を確立し、大政扶翼の任を全ふし、以て宸
襟を安んじ奉ることは政治に志すもの、第一の信條でなければならぬ。私は過去五年の議會生活に於
て、政治を通じての戰爭、戰爭を通じての政治、そして是等を根幹とする國策の全面に觸れたが、何
としても日本は日本としての生ける歴史の姿に蘇らなければならぬことを知つた。經濟生活の面に於
ても自由色を拂拭して國家の統制に歸一する。それが生活を確實にし、戰爭を勝利に導く所以であり
政治の狙ふ所と總てその道を一にして居るのである。

東京府第四區選出
勳八等

山田 竹 治

東京市本所區石原町一ノ
一八 電 墨田四八九



略歴 明治十八年三月愛知縣豐橋市ニ生ル○日露役ニ從軍シ
陸軍輕重兵特務曹長ニ任セラル、本所區會議員、東京府會議員
當選五回、同市部會副議長、同市會議員當選三回、同府會議長
東京商工團體統制後援聯盟顧問、自動車業ヲ經營ス、翼政會政
調大藏、内務兼務委員ニ指命サル○當選一回(21)

政見 我等一億國民は益々一致團結し未曾有の大國難を克服
し、大東亞共榮圈の確立と全アジア民族永遠の幸福の爲には徒
に緒戰の大戦果に酔ふことなく國家總力を擧て最後迄勝抜く決
心を持たねばなりません。

一例を挙げれば銃後の國民が徒に私利慾の爲遺憾千萬なる買
溜賣惜等の行爲をなすに於ては武士道の國日本國民として洵に
深憂を禁じ得ない次第であります。兎に角日本人は戰場に於て
赫々たる武勳を樹てることのみを以て足れりとするの感ある如
くに考へられるが日常生活に於て戰爭に必要な方面に努力することに付ては未だ認識が充分でない
と私は思ふものであります。又今更謀々を要する迄もなく時局下の急務として考ふべきは中小商工業
者の問題であります、國家總力戰の今日に於て其の業と別れねばならぬ破目に立到つたことは一抹の
寂しさを感じるのが人情でありますが當局に於ても其の緩急宜しきを得て人的、物的の交流を回滑な
らしむる様努めなければなりません。

翼賛議員銘鑑(ヤノ部)

四四一

翼賛議員銘鑑(ヤノ部)

福島縣第三區選出
農業

山田 六郎

足立區千住三ノ七五
電足立二五〇四
福島縣双葉郡上岡村本正



四四二

略歴 明治六年三月福島縣雙葉郡上岡村ニ生ル○郡書記ニ被
任、屢々上岡村會議員、福島縣會議員ニ選ハル、三度上岡村長
ニ就任ス、曩ニ輸出羽二重製造事業ニ従事シ、富岡羽二重、雙
葉製絲株式會社ヲ創立、各専務取締役トナル、雙葉郡養蠶業組
合長、全國養蠶業組合聯合會議員、福島縣養蠶業組合聯合會長
同郡農會長、日本蠶絲中央會議員、信用組合聯合會監事、帝國
耕地協會理事タリ、翼政會政調農林、商工兼務委員ニ指命サル
○當選二回(2021)

政見

- 一、大詔を奉戴、征戰の大義を明徴し國民精神の高揚振作を期す。
- 一、國民の總意を基底とせる清新強力なる翼賛議會の確立を期す。
- 一、日本國土計畫を樹立し戦力資源を確保高度國防國家の完璧

を期す。

- 一、戰時食糧の確保及農産物増強の緊急及永久對策を實現せしむ。
- 一、世界政治の指導原理として、八紘爲宇の皇道を宣布し、米英民主々義思想を東亞より追放し民族共存共榮の新秩序を建設す。

愛媛縣第二區選出
會社重役

山中 義貞

愛媛縣宇摩郡土居村大字入
野一七八 電入野五
麴町區永田町二ノ七三 山
王ホテル 銀座五七〇一



略歴

明治三十年愛媛縣宇摩郡土居村ニ生ル、慶應義塾大學
理財科修業○藝備銀行取締役、伊豫鐵道株式會社監査役、愛媛
縣青少年團副團長、同宇摩郡青少年團長、同郡土居村農會長、
同警防協會理事、同司法保護委員會參事、大日本武徳會愛媛支
部常議員、大政翼賛會愛媛縣支部常務委員等、翼政會政調内務
農林兼務委員ニ指命サル○當選一回(21)

政見

皇國曠古の大業である聖戰完遂、大東亞共榮圈建設の
ためには

- 第一、敵の戦力を壊滅し
- 第二、敵の政治力を粉砕し
- 第三、敵の經濟産業上の支配力を驅逐し
- 第四、敵の思想を清算すべきであり、如上の目的を達成するた
めの基根は國內態勢の強化就中政治力の再建強化に俟たねばな
らぬ、政治力の強化再建は敵國思想の影響を受けたる自由民主

々義思想を排撃し、從來の對立抗爭は之を和衷協力主義に無責任なる批判のための批判は之を建設的
進言に轉化指向し、政權獲得をのみ狙つた政爭は一掃しなくてはならぬ、かくして高度國防國家は確
立し一億一心の態勢を成就して經濟産業を振起し以て聖戰の完遂を期し得るものと確信する、議會も
亦清新潑刺たる活動を要求してゐるので國民の總意を結集する議會が形成されなければならぬ。

翼賛議員銘鑑(ヤノ部)

四四三

翼賛議員銘鑑(ヤノ部)

大阪府第三區選出

山野平一

大阪市北區都島本通一ノ三〇
麴町區永田町二ノ七三〇
山王ホテル 電銀座 五七〇一



四四四

略歴 明治二十年八月大阪市ニ生ル、八尾中學校卒業○大阪
市會議員、同市會副議長、都島警防團長、同教育會長、大阪裁
判所調停委員、在郷軍人分會都島分會顧問、都島町會聯合會長
軍事援護會北區聯合會理事長、在郷軍人會都島分會後援會長、
大政翼賛會大阪支部常務委員、翼政會政調商工、海軍兼務委員
ニ指命サル○當選一回(21)

政見 日本に再び昔のやうな政黨を作らしてはならぬと存じ
ます。憲法發布の御詔書に炳として明瞭でありますやうに、日
本政治の特色は 陛下の大御業を翼賛し奉るのみであります。
新國民組織として事變後誕生した隣組のやうに相互に協力し、
相互に奉仕し、全體のために盡す又は産業報國會のやうに、勞
資が一體一心となつて國家の生産増強に協力するやうに國內的
な派閥は許さるべくもありません。以上の理由から、大政翼賛
法の制定を第一に期し度いと存じます。大政翼賛會及び之が下部組織に法的根據を與へ、之が協議機
關たる協力會議を通じて活潑に下情を上通し、上意を下達し、萬民を一體とし、國民の間に一切の不
平不満を拂拭して歡喜して全國民を時局に邁進せしめるやうにし度いと存じます。

茨城縣第三區選出
辯護士

山本 条吉

豊島區雜司谷町六ノ一一
四五 電大塚三〇八七



略歴 明治二十六年七月茨城縣新治郡小幡村ニ生ル、明治大

學法科専門部ニ學フ○臺灣公學校教諭、辯護士試験ニ合格シ其
ノ業務ニ従事ス、東京辯護士會副會長ニ推サル、廣瀬川電力株
式會社々長、日本人造纖維、八州ホテル各株式會社監査役、日
本石油鑛業、東洋工作所、各株式會社常任監査役タリ、司法省
委員被仰付、翼政會政調司法、大藏兼務委員ニ指命サル○當選
三回(192021)

政見 利己中心の米英主義的民主霸道的議會政治を揚棄し、
眞の日本主義的翼賛議會を期し總力戰完遂の國民的熱意を政治
に發揚せしめ、以て總ゆる部面の戰鬥力を高めねばならぬ。

大東亞戰爭の最後の勝利は信念にある。戦争は絶対に勝ち抜
かねばならぬ。戦ひの最後の鍵は、最後まで戦ひ抜く國民の精
神力であり、必勝の信念である。戦ひは信念に對する信念の戦
ひに歸するのである。今後如何なる困難に遭遇するとも目先の戦果に眩惑されることなく、小成小我
に安んぜず、皇國日本の姿を世界に光被せんとする大東亞戰爭究極の使命を貫徹せずんば止まざるの
決意を強固にせねばならぬ。我等一億國民は、生をこの皇國にうけこの戦勝にめぐり合つた感激を火
と燃え上らせ、身に迫る銃後の生活の戦ひに職域奉公の誠を盡し、以て聖旨に應へ奉らねばならぬの
である。私は以上の信念を五尺の體に火と燃え上らせ身を邦家のため捧げたいと存する次第である。

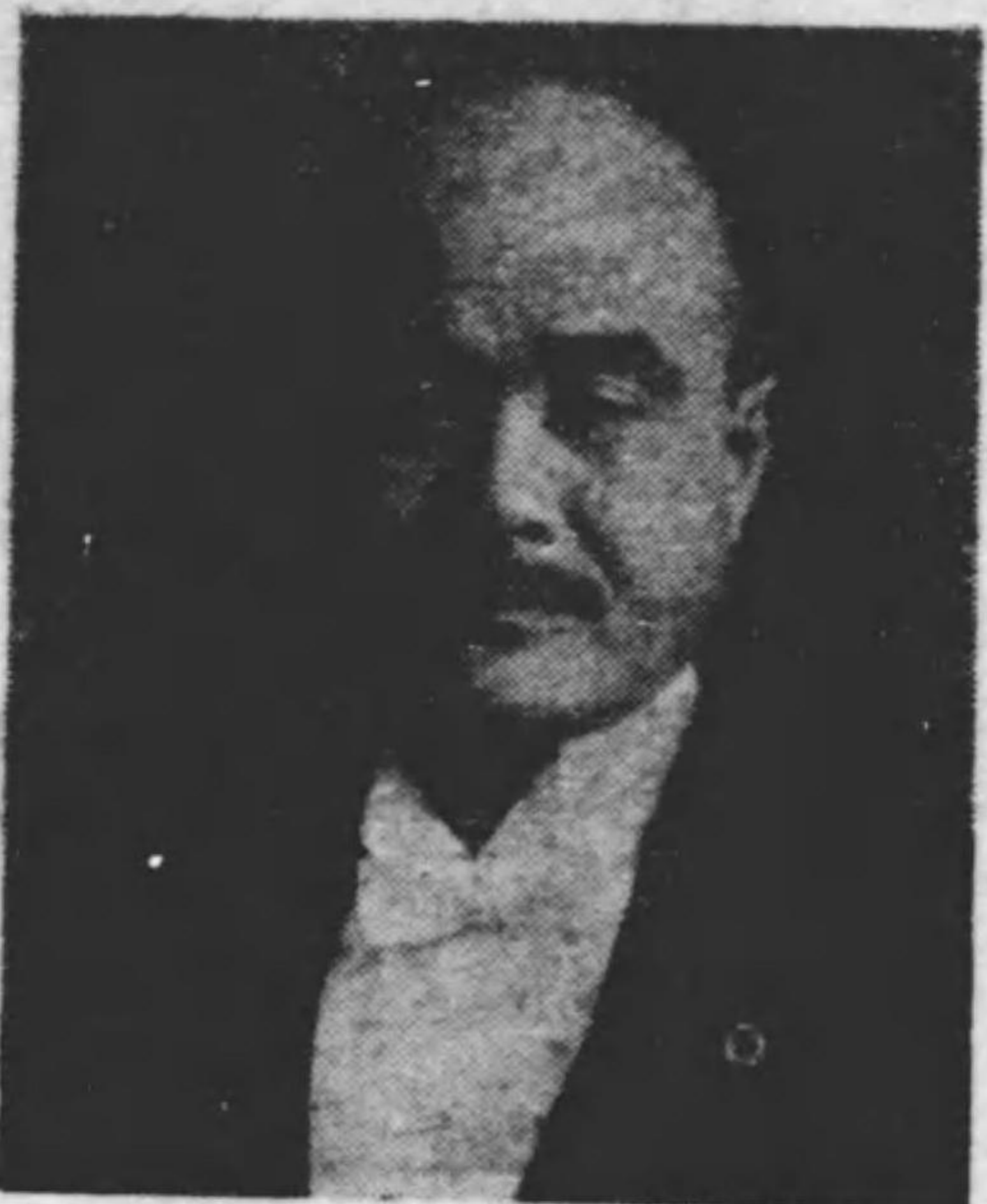
翼賛議員銘鑑(ヤノ部)

四四五

北海道第一區選出
正五位勳三等農業者海運業

山本厚三

牛込區若宮町二六
電牛込二七八



略歴 明治十四年五月飯田市ニ生ル、東京高等商業學校卒業
○陸軍三等主計ニ被任、小樽商業會議所會頭、同市會議員、同
商工會議所特別議員、同道路保全組合長、同倉庫業組合長、北
日本汽船小樽倉庫、北海道製綿各株式會社取締役、小樽新聞、
大日本乳製品、定山溪鐵道各株式會社監查役、松前造林合資會
社長、鐵道參與官、文部政務次官ニ被任、教學刷新評議會、宗
教制度調査會、教育審議會、交通事業調整委員會外各種委員被
仰付、再度支那ヲ視察ス、翼政會評議員、政調文部、農林兼務
委員タリ○當選八回(14 15 16 17 18 19 20 21)

政見 一、國政一切を大東亞戰爭完勝に集中すべし 二、腹
の底からの一億一心たらしむべし。三、それには國民生活の安
定(安易に非らず)殊に食糧満足が肝要なり。四、東條總理の
常に云はるゝ通り潤ひある政治(殊に國民に接觸する官吏の事
務取扱振が實現されねばならぬ)五、健康、有爲の人を造れ、大東亞共榮圈確立の指導的人物(急速
に、多數を)○選舉所感 一、選舉は神聖推舉は慎重公正に。二、選舉法は簡單に運動は公營化、取
締は平易に、違反は豫防、惡質のみ嚴罰主義。○議會感想 一、議會刷新は貴衆兩院並行偏重は却て
害あり。二、全體より見て議員の勉強、研究足らず。三、圖書館研究室を擴張完備せよ。四、もつと
論議を盡せ、現在は餘りに國務に不親切、無責任。五、議員の視察研究旅行(内外)盛に實行せよ。

大阪府第二區選出
正五位勳三等辯護士

山本芳治

大阪市浪速區草町一
五七電櫻川五〇八二
芝區琴平町二朝陽館
電芝三〇四四



略歴 明治十四年九月兵庫縣加古郡八幡村ニ生ル、姫路中學
卒業後第六高等學校ニ進ミ、東京帝國大學獨法科ヲ卒業ス○司
法官試補トナリ後辯護士ヲ開業ス、大阪辯護士會長、大阪市會
議員、同參事會員ニ當選ス、厚生參與官拜命、支那滿洲ヲ視察
ス、社會事業調査委員會外十數ノ委員被仰付、翼政會事務局參
與、政調連絡、海軍、司法兼務委員ニ指命サル○當選五回(15
18 19 20 21)

政見 一、政治力結集 日本には軍人も官吏も民間人も一丸
となつて國政を推進する、結社なきことを遺憾とする、政黨に
代つて民意を反映し暢達する機關の存在を必須とする、私は國
家内外の情勢に鑑み凡ゆる階級を網羅せる一大政治結社の結成
を切望する。そしてその結社には血氣旺盛なる青壯年の齊しく
加入することを必要とする。

一、食糧の確保 大東亞戰遂行上言ふまでもなき重大問題であ
る。一、中小商工業者對策 中小商工業者の全國の數はその徒弟を加へて一千萬人に達する程で何れ
も國家の中堅層であり産業上軍事上、國家の大資源である従つてこれの對策は極めて慎重を要する次
第である。一、軍事援護 大東亞戰爭に一身一家を忘れて活躍する皇軍勇士の援護に對しては國民は
誠意を披瀝して之れに當るべきである。

翼賛議員銘鑑(ゆノ部)

四四八

鳥取縣選出
勳四等運送業

由 谷 義 治

中野區道玄町二二
電中野七九二〇
鳥取市西町



略歴 明治二十一年三月鳥取市ニ生ル、早稻田大學ニ學フ〇
鳥取市會議員、同參事會員、鳥取縣會議員、同參事會員ニ舉ケ
ラル、内務省囑託トナル、朝鮮關東州、滿洲國ヲ視察ス、國民
貯蓄獎勵委員會委員、議會制度調査會臨時委員被仰付、大藏省
委員被仰付、翼政會政調文部、大藏兼務委員ニ指命サル〇當選
六回(15 17 18 19 20 21)

政見 國民は總進軍 今や國民は總進軍しつゝあり銃後も前
線もない、國民の全部が皆その持場において職域を通じて實は
大東亞戰爭に従軍しつゝあるのだ、何んと言ふ名譽であり感佩
であらう、私共の仕事職務は皆戦線にあると同様に行はれねば
ならぬ、此の認識と決心の下に國民は一億一心、大政翼賛の巨
道を實踐しつゝ倒れても猶止まず七生報國の忠誠を克く果し竭
すべきは言ふまでもない。

農村も商賣も工場も鑛山も役所も事務所も一切すべてが國家總力發揮のために動員せられた今日最
早個人個人の利害得失は第二義第三義となつたのである、これからは一切萬事「安からう善からう」
と言ふ新體制原則が、國民の職域にも生活にも嚴重に實行されなければならぬ「安からう悪からう」
は舊態依然たる自由主義個人主義なのである、これこそは徹底的に打倒すべき思想戰の眼目なのであ
る、國策一切の指導精神を此處まで發展させねばならぬ。

高知縣第二區選出
正五位勳四等

依 光 好 秋

・麴町區麴町三ノ一二
電九段一一三五



略歴 明治三十七年高知縣幡多郡奥内村ニ生ル、專修大學經
濟部卒業、後更ニ東京貿易語學校ニ入學シ露語科ヲ卒業ス〇讀
賣新聞社記者、後同社政治部長トナル、朝鮮總督府秘書官、外
務省參與官ヲ歴任、外務省囑託トシテ泰國並ニ佛領印度支那ヲ
視察ス、外務省囑託、大政翼賛會調査委員タリ、外務省委員被
仰付、翼政會事務局參與、政調外務、大東亞兼務委員ニ指命サ
ル〇當選三回(18 20 21)

政見 今日政治の根幹となるべきものは大東亞戰爭の完遂で
ある、多年東亞十億民族の血を啜り骨をしゃぶつてその生命財
産を冒瀆して來た處の米英を撃滅し正義と榮光の新しい秩序あ
る世界を建設することは日本帝國に與へられたる義務であり且
又特權であると思ふ、而して斯くの如き歴史創造の大戰爭を行
ふには戦線、銃後の別なく、國民全體が打つて一丸となり奉公
の眞を盡さねばならぬ、大東亞戰爭は長期戰の段階に入つたのであるが米英の敗色は愈々濃厚となり
皇軍の勝利は最早決定的となつたと思ふ、斯くて世界新秩序は東亞に於ては帝國、歐洲に於ては獨伊
によつて建設される、大東亞戰完遂上最も必要なることは國民生活の源泉である食糧の確保である、
此のために未開地開拓助成、肥料配給の圓滑化、農産物價の合理的調整農村勞力の確保、品種の改良
倉庫の充實、冷害、水害の豫防等に依り食糧の増産を期することが刻下の急務であると信ずる。

翼賛議員銘鑑(ゆノ部)

四四九

翼賛議員銘鑑（よノ部）

四五〇

埼玉縣第二區選出
從五位勳三等農業

横川重次

豊島區池袋三ノ一三七
四電大塚五一〇一



略歴 明治二十七年十一月埼玉縣比企郡大河村ニ生ル、早稲田大學哲學科卒業後伯林大學ニ於テ社會學ヲ專攻ス○大河村會議員、同學務委員ニ擧ケラル、同信用組合長、武州本場絹織物同業、比企郡繭販賣利用各組合長、郡蠶絲團體聯合會長、第十五銀行取締役、小川無盡株式會社々長、小川本場絹織物工業組合理事長、全國乾繭販賣購買組合聯合會副會長、商工大臣祕書官ニ任セラル、滿蘇國境方面ヲ視察ス、商工省委員被仰付、翼政會政調鐵道委員長タリ○當選六回（15 17 18 19 20 21）

政見 我國は今や文化に、産業に、經濟に凡ての方面に全國民が火の玉の如くに熱し、其の總力を結集して國力の最高度を發揮せねばならぬ時であります、これが爲には國民各々が「國運隆替の責任は吾々の肩にかゝつて居る」との信念を以て、感奮興起、精魂を傾けねばなりません、戦時下に於ては、統制が強化され、行政府の權限が擴大されるのは當然の事であり、然しこの事は、國民と國政との結び付を輕視して良いと云ふのではなく、寧ろ今日こそ、國民は聖慮の萬一に副ひ奉る熱意に燃えて「國政は我々の責任」であると云ふ決意を堅持し、國民の一人一人が直接間接に大政を翼賛し奉らねばなりません、強力な政府、眞摯な翼賛議會、強靱な國民組織が三位一體となつて、始めて完全に國家の總力を發揮せしめ得るのであります。

千葉縣第二區選出
農業

吉植庄亮

千葉縣印旛郡本埜村下井
神田區駿河臺一ノ一 佐藤
新興生活館電神田三六〇三



略歴 明治十七年四月千葉縣印旛郡本埜村ニ生ル、東京帝國大學經濟科卒業○中央新聞社文藝部長トナル、開墾事業に著手シ六十町歩ノ田畑ヲ完成シ吉植農場ヲ興シ自ラ汗シテ耕ス、此ノ間生レタル歌集「開墾」ニハ京都帝國大學名譽教授村出博士ガ、農民文學農民詩トシテ前古無比現代絶倫トマデ絶賛シ、歌壇ニセンセーションを起シ夕外ニ歌集、寂光、さくら、煙霞集大陸巡遊吟、等隨筆集、馬ノ散歩、お米談義等多數ノ著アリ又歌誌「橄欖」ヲ主宰ス、内閣企畫院委員被仰付、大政翼賛會千葉縣支部顧問、同在郷軍人名譽顧問、同歌人會長等ヲ兼ヌ、翼政會政調内閣、農林兼務委員ニ指命サル○當選三回（19 20 21）

翼賛議員銘鑑（よノ部）

四五一

政見 農村十大問題の解決策 米價二重價格制の採用、米價値上問題、肥料増産を軍需材に優先せしめること、白米食の禁止、米の國營検査の斷行、米專賣斷行、玄米検査の重量制採用、白米價格の是正、統一混砂精白の禁止、米穀統制法の廢止、學生勤勞班等の農村への動員、右の各問題については新聞紙上に發表すると共に議會や協力會議に出席して常にその實現に向つて努力してゐる、すでに一部分は處によつては實施してゐる、今後も此の問題の實現に努力したい。

長野縣第三區選出

吉川 亮 夫

赤坂區丹後町一 電赤坂五〇一
長野縣下伊那郡松尾村大字松尾二〇三四 飯田一三五



略歴 明治十九年七月長野縣ニ生ル、三信鐵道會社取締役、信濃銀行相談役、長野縣多額納稅者、同町村長會長、松尾村長翼賛會縣支部常務委員、翼政會政調内閣、内務兼務委員ニ指命サル○當選一回(21)

政見 今度の大東亞戰爭が、從來の戰爭と根本的に異なる特徴は、戰爭と共に建設を行つてゆかなければならないと云ふことであります、したがつて精神的にも、經濟的にも、われ々の忍耐、努力はまだくこれからせう、更にまたわが國は、今度の戰爭を通じて米英の自由主義、個人主義思想とも戦つてゆかなければなりません、またさういふ意味で國內の體制を整えてゆかなければならぬと存じます。

世界の歴史の大きな轉換を導いてゐる今回の大東亞戰爭は、その規模に於て雄大であるだけに、この雄大な構想を實現するためには、また驚くべき忍耐努力が必要とされるであります。さういふことのひとつとして、國內の政治團體を強力にしてゆくことは重大であり、現内閣が重大な戰時下、敢て選舉を行つた所以もまた此處に存するものと信じます。

大阪府第四區選出
正五位勳三等(旭)會社重役

吉川 吉郎 兵衛

赤坂區青山南町五ノ六〇
電青山二三八〇
大阪市西成區津守町六一八



略歴 明治三年大阪市西成區津守町ニ生ル○明治二十七八年戰役ノ功ニ依リ叙勳八等授瑞寶章、明治三十七八年戰役ノ功ニヨリ叙勳七等、大正十年十二月叙勳三等授旭日中授章、大阪府西成郡津守村長、府會議員、同市會議員、陸軍參與官ニ被任、翼政會政調陸軍、商工兼務委員ニ指命サル○當選八回(14 15 16 17 18 19 20 21)

政見 今や正義日本の征くところ米英の世界侵略主義を覆滅し、刻々に新世界創造建立の緒に近づきつゝあるのであります。現下帝國諸般の情勢を窺知いたしますとき外交、經濟、産業、文化の推進基核たる政治部面の強化再編成は眞に重大であります、國家要請に合致する翼賛政治體制確立の清新強力なる議會建設を遂行し、國內體制の大強化を完行し内外事態に對處すべきであります。即ち國家が戰時下なるに拘らず多端を排し敢えて衆議院の總選舉を執行なすに至つたる要因もこゝに存するものと確信いたすのであります。

ものと確信いたすのであります。日本民族の大使命と責務の重大なるを痛感いたしまするとき國民たる者其の職分に應じひとしく挺身し、帝國興隆の大業完遂に敢然奉行いたすべきであります。

翼賛議員銘鑑(よッ部)

新潟縣第一區選出
新聞社長

吉川大介

新潟市西堀前通七番町九
二八電新湯一四〇五
神田區駿河臺二ノ一
昇館 電神田二七八〇



略歴 明治二十五年九月新潟縣ニ生ル○新潟縣會議員、同參事會員、同市會議員、同副議長、新潟毎夕新聞社長、翼政會政調文部、遞信兼務委員ニ指命サル○當選一回(21)

政見 私は常に議會と政府との相互關係は人體に於ける神經と腦中樞機關の如くであると考へて居ります。神經はその受けの感覺を迅速に腦中樞に傳へ、これに對し腦中樞機關は、反射的に有效な處置を命じます。斯くの如き下意上通、上意下達の間機能が完全に發揮出来るならば翼賛議會は眞に政府と國民との間に立つて、欽定憲法御發布の大御心に應へ奉ることが出来ると思ふのであります。

要するに、第一に翼賛政治體制を議會に確立すること、第二に大東亞戰爭のみならず八紘爲宇の大國策顯現の聖業を完遂する爲め、國民の總力の結集と其の活用に遺憾なきを期し道義によるアジアの解放、堅實なる國內體制刷新の斷行を計り、更に自由主義、個人主義等の非日本の思想と行動を議會は勿論、廣く國內から一掃し、皇國精神の高揚を期して聖業達成の方途を誤らぬやう大政翼賛の誠を盡さねばならぬのであります。

福岡縣第二區選出
會社重役

吉田敬太郎

福岡縣若松市老松町四丁目
四二四ノ一電若松一三三
京橋區京橋一ノ八 大野屋
旅館 京橋五一〇七



略歴

明治三十二年福岡縣若松市老松町ニ生ル、福岡縣立小倉中學ヲ經テ長崎高等商業學校ニ進ミ、東京商科大學本科ヲ卒業○三菱鑛業本社ニ勤務ス、大倉高等商業講師就任、大日本酒類醸造株式會社監査役、日滿鑛業取締ソノ他二、三會社重役、歐米各國ノ政治經濟ヲ視察ス、縣會議員二回當選、大政翼賛會若松支部常務理事、同若松市翼賛壯年團長就任、内閣對滿事務局委員タリ、大東亞省委員被仰付、翼政會政調内閣、商工兼務委員ニ指命サル○當選一回(21)

政見

純日本流議會の建設……今や皇軍の超特急の如き大躍進に對應し經濟的文化的等あらゆる國內體制を聖戰目的完遂の要求に添ひ得る様整備刷新せねばならぬ、此の中特に立ちおくれの状態にあるものは帝國議會を中心とする政治の部面であります。帝國議會は日支事變發生以來舊體制のまゝ取殘されてゐたのであります。國民は失望の餘り議會制度否認の聲をすら發せしめるに至りましたことは遺憾の極みであります、英米流の議會は我利追及私意貫徹の機關であるが我が議會は我等臣民の大政を翼賛し奉る奉公の機關であります、抑も我國の議會制度は畏くも明治大帝の下し賜へる欽定憲法に基く純日本的大政翼賛の主要なる制度でありますから議會を本來の眞面目に立歸らしめねばなりません。

翼賛議員銘鑑(よッ部)

翼賛議員銘鑑（よノ部）

四五六

兵庫縣第三區選出
辯護士

吉 田 賢 一

神戸市灘區櫻口町五ノ二
八小石川區原町三一
日進館 電大塚九五五



ことは許さない筈であります。

略歴 明治二十七年十一月兵庫縣ニ生ル、日本大學法律科卒業○辯護士試験合格辯護士ヲ開業ス、明石市會議員、翼政會政調厚生、大東亞兼務委員ニ指命サル○當選一回（21）

政見 戰時國策の目標大綱は既に不動です、即ち内に國家總力發揮の體制をと、のへ、大東亞の諸民族を指導し共存共榮のアジヤの新秩序を創建し、進んで世界建直しの大業に、皇國日本がその中核體、指導國家としての名實を備へることでありませぬ。外は樞軸諸國と連繫し米英を中心とするその處を得せしめ肇國の大精神を世界に光被せしめる大目標のもとに、一大外交戰の展開をなすことにあります、殊に南方對策については、世界の寶庫であるあの島々の、重要資源を確保し、大いにこれを開發利用して、皇國の高き文化による各民族の指導をなさねばなりません、この根本問題に付いては政治上の意見を異にする

長野縣第四區選出
全購聯常務

吉 田 正

市川市八幡下五二一八
電北八幡三一
麹町區有樂町一ノ九全
購販聯電丸ノ内三三五〇



略歴 明治二十九年十月長野縣北安曇郡池田町ニ生ル、上海東亞同文書院卒業○株式會社岩井商店ニ入り漢口支店ニ在勤四年支那貿易ニ從事シ更ニ本店ニ轉ス、後長野縣池田實科中等學校教諭、北安郡聯合青年團長、全國購買組合聯合會常務理事、同資材部長及農產部長、日本農機具配給、日本原麻各株式會社取締役、商工省衣料品消費規正、農林省農機具銘柄整理、同農業資材價格形式各委員會委員、翼政會政調農林、厚生兼務委員ニ指命サル○當選一回（12）

政見 政府が今回の總選舉を機として、翼賛議會の確立を期せらるゝ所以のものは、實に此の國家の總力を大東亞戰完遂の一點に結集せんとする趣旨に外ならないと思ふのであります。従つて今後に於ける内外に亘る經濟建設の方策は、この生産力の擴充を基本として一層急速なる整備が進められなくてはならないと思ひます。勞力、資材、資金の統制問題にしても、配給統制、價格統制、企業問題の統制にしても、何れもその基調を生産力擴充の點に確立して最善の方途が進められなくてはなりません。これが爲には國民は餘程の覺悟を必要と致します。徒に安易な途のみを希ふやうなことがあつては、この乾坤一擲の大事業を完成することは到底覺束ないと思ふのであります。

翼賛議員銘鑑（よノ部）

五五七

北海道第二區選出
從七位農業

吉田貞次郎

北海道空知郡上富良野村
字上富良野西田線北一七
九上富良野五五六
麴町區九段一ノ五
會館電九段四一〇一
軍人



略歴 明治十八年二月三重縣一身田ニ生ル○北海道上富良野村ニ移住農業ニ従事シ現在ニ至ル、退役陸軍中尉、帝國在郷軍人會、同村分會長ヲ經テ同上川聯合會長就任、村農會長、上川外四郡農會評議員、上富良野產業組合長、同村長、上川町村長會長、酪聯理事、北聯理事、大政翼賛會上川支廳支部協力會議々長、同北海道支部協力會議員、翼賛政治體制協議會北海道支部會員タリ、翼政會政調大東亞、陸軍兼務委員ニ指命サル○當選一回(21)

政見 議會が政權爭奪の場所となつたり、また徒に國政批判を以て最高の政治性を發揮するものなりと自認したりする心持ちは、根柢より之を改め昔 天照大神の御詔を奉じて八百萬の神々が天の安河原に神集ひに集ひ 神謀りに謀り給ふた其の精神を以て國事を議するの府となさねばなりません。要するに戰は是からであります。敵は粘り強い負けず嫌ひの米英兩國である。我々は三千年來傳統の忠誠勇武の眞心を發揮し、常に必勝の信念を堅持して一億一心、如何なる苦難にも斷じて屈せない不退轉の決意の下に、アジャ千年の榮光のために戦ひ抜かうではありませんか。

愛媛縣第一區選出
學校長

米田吉盛

横濱市神奈川區二本榎
四八 電神奈川九九四



略歴

明治三十一年愛媛縣ニ生ル、中央大學ヲ卒業○横濱專門學校副校長トナル、文部省委員被仰付、翼政會事務局參與、政調文部、内務兼務委員ニ指命サル○當選一回(21)

政見

高度國防國家體制の促進、大東亞共榮圈の急速なる開發國土計畫的見地よりする地方振興、配給機構整備の促進、國民生活の安定確保、中小商工業者の轉業對策、食糧増産政策の徹底、大東亞文化建設の基礎たる教育の擴充革新等の諸政策が大東亞戰完遂のために強く要請されてゐる、就中我國の中堅をなすものは農山漁民と中小商工業者であるから此等の人々の生活安定確保と新生面への轉業更生を期せねばならぬ、從來の大都市偏重は國土計畫の見地よりも又産業文化の見地からするも極力避けるべきで都市施設の地方分散計畫を實施せねばならぬ又以上の如き政策を具現する爲には物的、心的、人的に政府の行政的方策に俟つのみでなく進んで國民の政治意識の發揚による活潑なる翼賛政治が行はれなければ意味を爲さぬ、議會人たるものも從來の如き消極的態度を一擲して滅私奉公の精神を以て聖旨に副ひ奉るの赤誠を積極的に致さねばならぬと確信する。

翼賛議員銘鑑(ろノ部)

四六〇

群馬縣第二區選出
正四位勳三等著述業

蠟山政道

中野桃園町三八
電中野四三四九



略歴 明治二十八年群馬縣高崎市ニ生ル、東京帝國大學法學部卒業○同大學助手、助教、教授を歴任ス、東京商科大學、陸軍、海軍各經理學校、海軍大學校、九州帝國大學法學部各講師、選舉法改正、地方制度、學生思想問題各調査會、東京都市計畫地方委員會各委員、選舉肅正中央聯盟理事、產業組合中央會參與、東京市政調査會評議員、國際關係研究會常務理事、東亞研究所專門委員、內務省委員被仰付、翼政會政調理事○當選一回(21)

政見 申すまでもなく、帝國議會は公選の機關として大政翼賛の大道に通ずる最も重要な國家機關であり、現下の時局に於いて最も速かに實現されねばならぬ施策は、この議會體制の刷新強化であつて、所謂政治力の結集問題も議會を度外視しては行はれ得ないのである。然るに、過去五ヶ年間國內諸體制の再編成が着々として進捗しつゝあるに拘らず獨り議會のみは舊態依然たる存在を續けて來た、清新強力なる翼賛議會の確立はこの際最も重要な國家問題と申さねばならぬ、議會の權限と機能とは憲法上自ら限定されては居るが、この翼賛議會を通じて私は左の三綱の政見に遵つてその政治的實踐を行ひたいと思ふのである、第一は、大詔を奉戴して大東亞戰爭の目的完遂を期す。第二は戰時下國民生活の安定確保を期す。第三は、東洋の永遠の平和を確立するに足るべき世界新秩序の構想を樹立す。

沖繩縣選出
嶺山業

湧上 聾人

那覇市上泉町二ノ二〇



略歴 明治二十一年沖繩縣ニ生ル、早大高師ヲ中途退學ス○大正十四年沖繩縣會議員ニ當選シ爾來三期十三年間ヲ縣政ノタメニ盡クス○當選一回(21)

政見 半農半學の教育の斷行、機械化農業に依り農學校、中學校、高等女學校、高等農林學校、高等學校等の生徒學生をして、自ら農業に従事經營せしめ、全く父兄より學費を受けることなく、富者、貧者の別なく、平等に中等、高等の教育を受けしめ、以つて全國一般の教育程度を引上げると共に實生活に即した勤勞によつて心身を鍊成して、富國強兵の、基礎を強化し大東亞の建設のため、急速に半農半學を斷行せしむべきである尙水産學校工業學校にも之れに順應せしめるため左の如き原則を行ふ。

一、土地の改良と機械化農業の促進、交通政策の促進、醫療國營の促進、南方國策へ絶対に協力
右の半農半學主義、農業機械化を併せ斷行すれば國益實に計るべからざるものあり、二十五馬力のトラクター一臺を使へば農民四百名に匹敵する程の能率を發揮するものである、かくすれば農村の勞働力は甚だしく改善される結果となり食糧の増産の如きは易々として實現し得ると信じ切に此の對策の具現を祈るものである。

翼賛議員銘鑑(わノ部)

四六一

翼賛議員銘鑑（わノ部）

茨城縣第一區選出
正八位勳四等醫師

渡邊健

茨城縣東茨城郡渡里村堀
下谷區池ノ端茅町 孔雀
莊 電下谷六六四八



四六二

略歴 明治二十七年七月茨城縣ニ生ル、千葉醫專專門學校卒業
業○陸軍々醫少尉ニ任セラル、橋田病院ニ研究後獨立シテ内科
醫師ヲ開業ス、翼政會政調厚生、農林兼務委員ニ指命サル○當
選一回（21）

政見 聖戰完遂に向つて邁進する皇國大日本の姿の尊さ、一
億一心火の玉となつて米英撃滅に體當りする痛快さ、この秋こ
の際區々たる論議に捉れて居るべきではなく、誰も彼れも第一
戰に苦闘する皇軍勇士の心を心として挺身奉公の至誠を捧げね
ばなりません、私は水戸學の研究者ではありませんが水戸學の
精神は多少存じて居ります。

幕末の國難に尊王攘夷を立唱し實行した偉人烈公の烈々たる
氣魄に心をうたれます、しかも烈公があらゆる方面に率先範を
示して居ることに自ら頭が下ります、重ねて申上げますが、こ
の重大時局を乗り切るには區々たる論議に捉はれて居る場合ではなく、自ら實行し、自ら進んで火の
玉の中に燃え續けてゆかねばなりません。

東京府第三區選出
勳八等會社重役

渡邊善十郎

日本橋區兜町一ノ五
電茅場町三一二一



略歴 明治十六年東京府ニ生ル○父ノ業ヲ繼承シ、東京株式
取引所仲買人トナル、渡邊保全合資會社代表社員、株式會社丸
水渡邊商會取締役社長、同第三銀行監査役、東亞煙草株式會社
取締役、帝國在郷軍人會日本橋聯合分會顧問、日本橋區衛生會
會理事、同區會議長、大政翼賛會東京府及東京市協力會議員、
商工省委員被仰付、翼政會政調商工、大藏兼務委員ニ指命サル
○當選一回（21）

政見 東亞の指導權を握る皇國は、現今の國際情勢に鑑み、
高度國防國家の完成を第一義的國策とし、政治も經濟も産業も
教育も國內諸般の體制悉くが、此の線に沿つて革新されねばな
りません、高度國防國家を完成せんが爲には科學の普及向上を
圖るは固より、生産力の擴充増強を期せねばなりません、而し
て生産力擴充には技術と勞働力との充實を圖らねばならず、即
ち茲に強兵健民の國策を樹立することが今日の急務であります。政治機構に於ては從來の批判的態度
を清算して之を協力形體に再編成し、所謂、公を以て私を滅する政治の道徳性を發揮し得るやう内閣
議會、行政の各機構を結集しなければなりません。殊に國家興隆の根本的動因をなす國民教育の問題
に至りては、明治以來助長されたる畫一的、個人主義的弊風を一掃し、大東亞の指導的地位に立つ皇
民の鍊成を眼目とすべきであります。

翼賛議員銘鑑（わノ部）

四六三

翼賛議員銘鑑（わノ部）

北海道第三區選出

渡邊 泰邦

鎌倉市扇ヶ谷三〇六
電鎌倉一七〇一



四六四

略歴 明治二十四年八月函館市ニ生ル、早稲田大學ニ學フ○
函館區會議員、同市會議員ニ選ハル、支那及歐米各國ヲ視察ス
關稅調查委員被仰付、商工省委員被仰付、翼政會政調商工、大
藏兼務委員ニ指命サル○當選四回（17 19 20 21）

政見 いま、戦争は一億國民の双肩に負はされてゐる。この
遅しき使命感を意識的體系によつて個々の國民生活にまで滲透
せしむる指導力こそ、新しき政治の力である。政治とは在來選
舉、煽動、請託、妥協、苟合等の行爲に思惟され、それ以上の
ものと雖も機構、法理等の統治的意識的な理念とされてゐた。
いま、われ々の眼前に展開してゐる世界史の變革期に直面し
て、眞に日本の未來を想ふ者にとつては、日本政治の問題は從
來の卑俗的な或は統治意識的なものからはるかに脱却しなければ
ならない秋である。今日の如き變革期においては、日常の常識や慣習がその生活様式の規準たる地
位を失ひ、在來の價値の判斷がその方向を喪失し、かつては日常生活に處して誤らざる健全な良識で
あつた規準が、その立つところを奪はれるといふ生活秩序の動搖を不可避とするのである。この混亂
の中から、しかも積極的な未來を築く逞しき力として國民大衆を自主的に立ち上らしめることは容易
の業ではない。この困難な仕事こそわれ々に與へられた今日の政治の任務である。

大 木

操 從四位勳三等衆議院書記官長

麴町區永田町二ノ二〇官舎 電銀座三〇二七

明治二十四年十月東京市ニ生ル、東京帝國大學法科大學法律
科卒業○副検査官兼會計検査院書記官、衆議院書記官ニ歷任シ
昭和十三年衆議院書記官長ニ任セラシ、兼ニ臨時議院建築局書
記官、營繕管財局書記官、行政裁判所評定官ニ兼任セラシ、議
院制度調査會幹事、議會制度審議會委員被仰付、樺太、亞港、
臺灣、香港、比律賓、蘭領、東印度、英領海峽植民地、濠洲、
支那、滿洲國及三度歐米各國へ出張ヲ命セラシ

橋本 清之助 翼賛政治會事務局長

横濱市中區本牧大里町二〇七

明治廿七年二月東京市日本橋區ニ生ル、日本橋十思小學校卒
業○時事新報社横濱支局長、農林省秘書官、内務大臣秘書官、
農業報國聯盟常務理事、翼協事務局局長ヲ經テ翼政會事務局長就
任



翼賛議員銘鑑（衆議院書記官長・翼賛政治會事務局長）

四六五

昭和十七年十二月二十五日印刷
昭和十八年一月一日發行

定價貳拾圓

翼贊議員銘鑑

編輯兼
發行人

東京市赤坂區溜池參拾番地

工藤三郎

印刷人

東京市小石川區初音町一五

宇高峯一

(東京六九)

印刷所

東京市小石川區初音町一五

東榮社印刷部

東京市赤坂區溜池參拾番地

發行所

議會新聞社

124K-1

